

富津市福祉に関するアンケート調査 の報告

令和8年10月7日時点
富津市

■目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 回収結果.....	2
4. 報告書の見方.....	2
II 障がい当事者以外の市民調査の結果.....	3
1. 年齢・居住地域についてお聞きします。.....	4
2. 日常生活についてお聞きします。.....	5
3. 権利擁護についてお聞きします。.....	12
4. 市の障がい福祉に対する取り組みについてお聞きします。.....	18
III 障がい当事者調査の結果.....	27
1. あなたの年齢・障がいの状況などについてお聞きします。.....	29
2. 住まいや暮らしについてお聞きします。.....	42
3. 日中活動や就労についてお聞きします。.....	55
4. 相談相手や権利擁護についてお聞きします。.....	76
5. 障害福祉サービスの利用についてお聞きします。.....	95
6. 災害時の避難等についてお聞きします。.....	104
7. 市の障がい福祉に対する取り組みについてお聞きします。.....	110

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和9年度からスタートする「いきいきふっつ障がい者プラン第4次基本計画・第8期障害福祉計画（第4期障害児福祉計画）」の策定に向けて、ご意見やご要望、生活の状況・意向などを把握するために実施しました。

2. 調査概要

	障がい当事者以外の市民調査	障がい当事者調査
調査対象者	本市在住の18歳以上の方 (無作為抽出)	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療費支給認定受給者証、障害児通所支援受給者証をお持ちの方 (無作為抽出)
調査期間	令和8年7月10日～8月7日	
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式または、WEB フォームによる回答	

3. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
障がい当事者以外の市民調査	1,000 件	532 件	53.2%
障がい当事者調査	1,500 件	898 件	59.9%

4. 報告書の見方

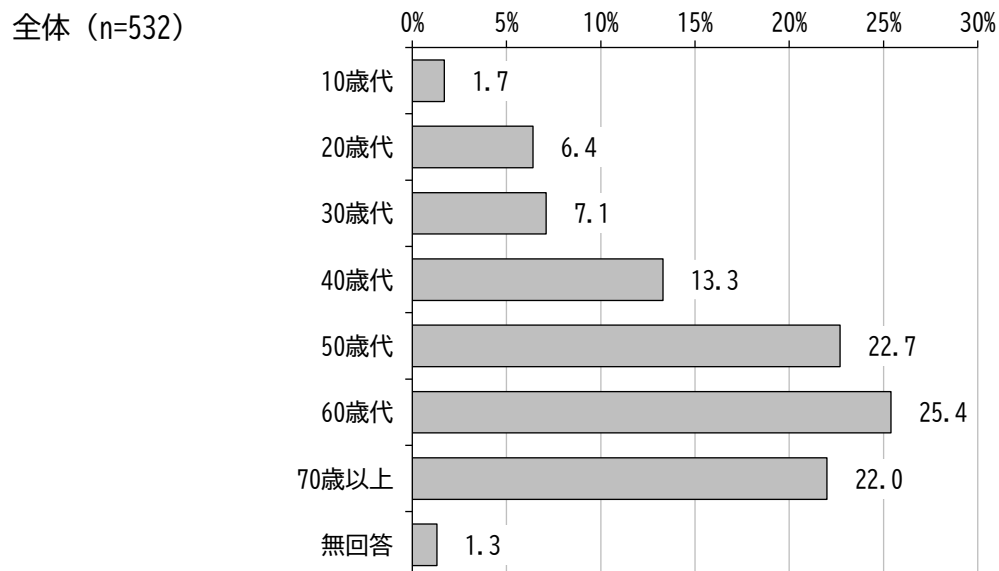
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10 件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。

Ⅱ 障がい当事者以外の市民調査の結果

1. 年齢・居住地域についてお聞きします。

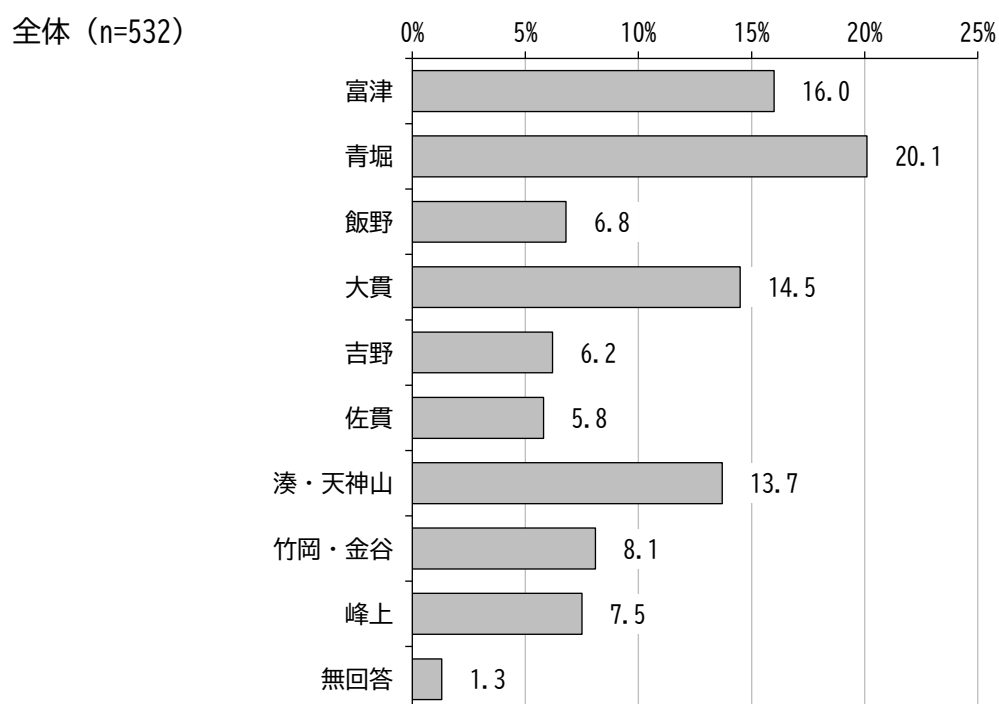
問1 あなたの年齢（令和8年4月1日時点）をお答えください。

年齢構成については、「60歳代」が25.4%と最も多く、次いで「50歳代」が22.7%、「70歳以上」が22.0%となっています。



問2 あなたがお住まいの地域はどこですか。（○は1つだけ）

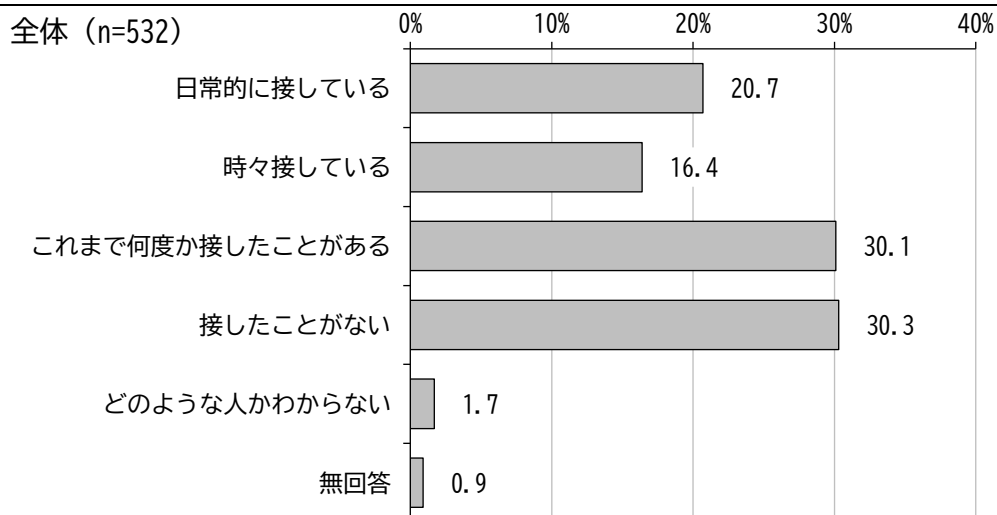
居住地区については、「青堀」が20.1%と最も多く、次いで「富津」が16.0%、「大貫」が14.5%となっています。



2. 日常生活についてお聞きします。

問3 あなたは、日常生活において、これまで障がいのある人と関わったことがありますか。(○は1つだけ)

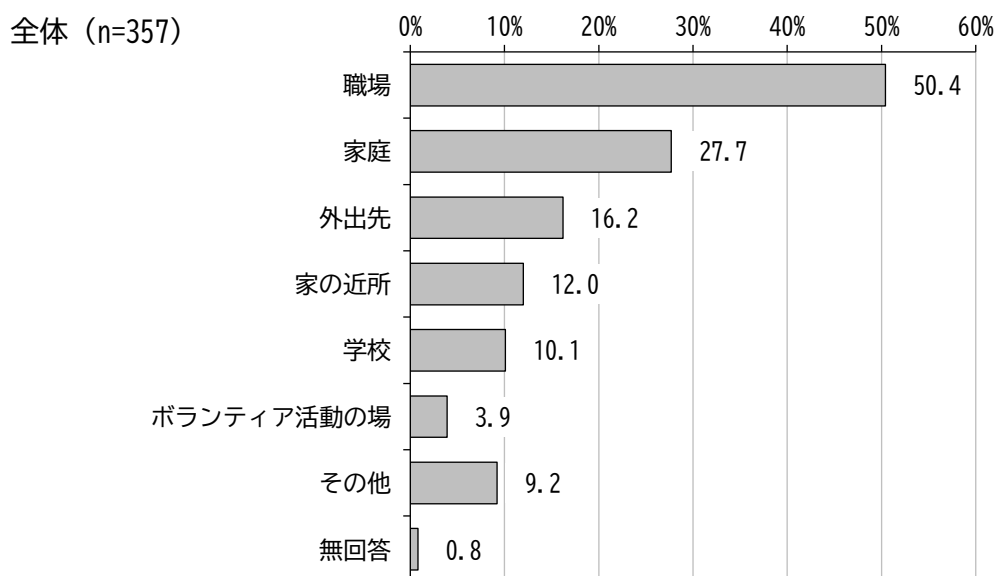
日常生活における障がいのある人との関わりについては、「接したことがない」が30.3%と最も多く、次いで「これまで何度か接したことがある」が30.1%、「日常的に接している」が20.7%となっています。



【問3で「日常的に接している」「時々接している」「これまで何度か接したことがある」を選択した人にお答えください。】

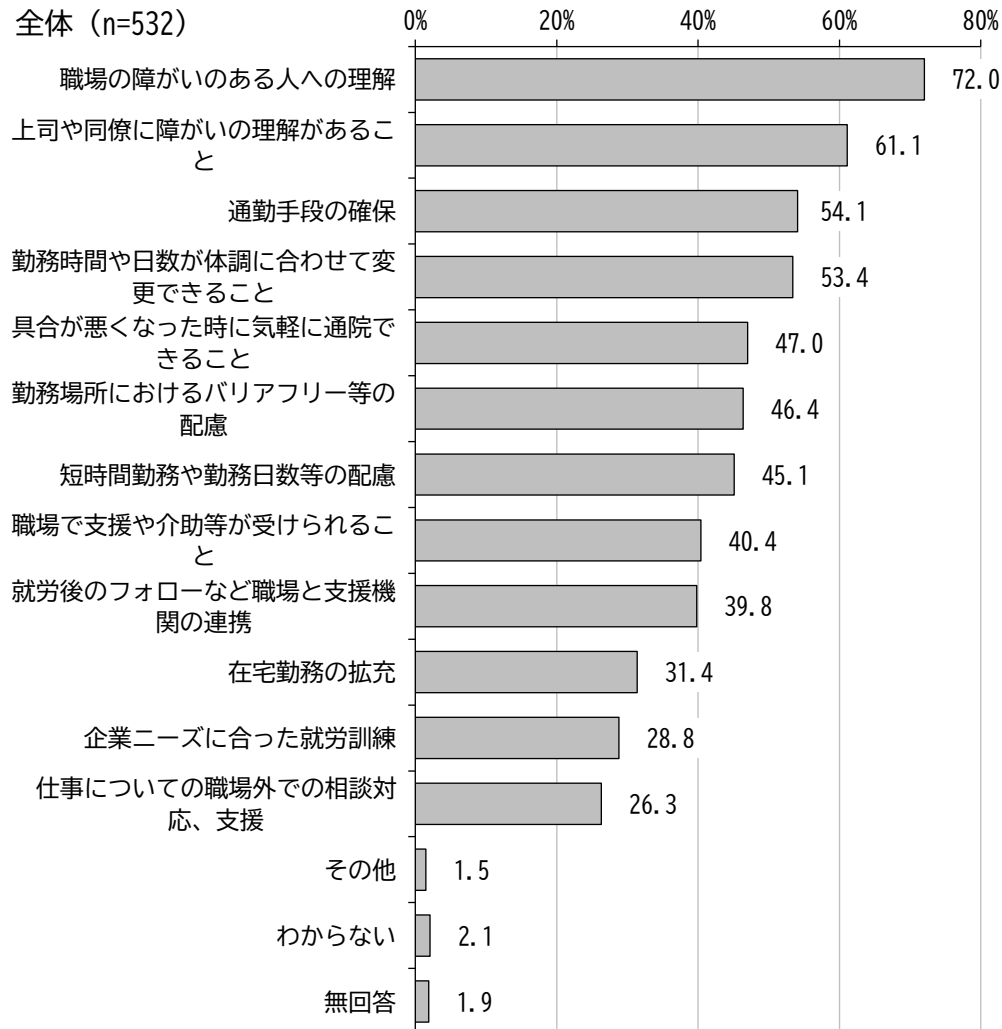
問4関わっている、または関わったのはどのような場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある人と関わっている、または関わった場所については、「職場」が50.4%と最も多く、次いで「家庭」が27.7%、「外出先」が16.2%となっています。



問5 あなたは、障がいのある人への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある人への就労支援として必要なことについては、「職場の障がいのある人への理解」が 72.0%と最も多く、次いで「上司や同僚に障がいの理解があること」が 61.1%、「通勤手段の確保」が 54.1%となっています。



■年齢別

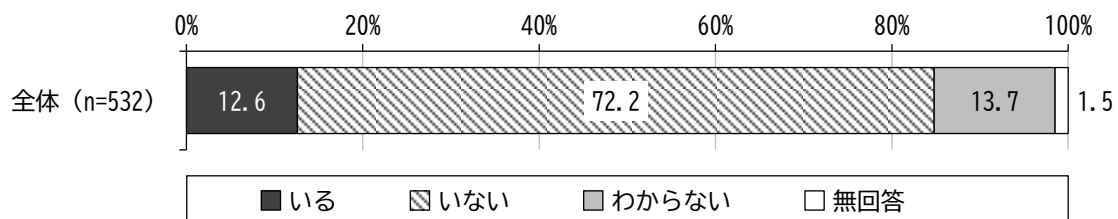
年齢別でみると、30 歳代では「上司や同僚に障がいの理解があること」、20 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「職場の障がいのある人への理解」が最も高くなっています。

単位：％		通勤手段の確保	勤務場所におけるバリア	短時間勤務や勤務日数等の配慮	勤務時間や日数ができる体調に合わせた変更	在宅勤務の拡充	職場の障がいのある人への理解	上司や同僚に障がいの理解があること	職場で支援や介助等が受けられること
全体（n=532）		54.1	46.4	45.1	53.4	31.4	72.0	61.1	40.4
年齢別	10歳代（n=9）	33.3	77.8	22.2	44.4	44.4	55.6	44.4	22.2
	20歳代（n=34）	41.2	38.2	32.4	38.2	29.4	76.5	58.8	38.2
	30歳代（n=38）	47.4	42.1	39.5	57.9	23.7	68.4	71.1	34.2
	40歳代（n=71）	69.0	52.1	52.1	57.7	42.3	77.5	67.6	38.0
	50歳代（n=121）	57.9	43.0	52.1	57.9	28.9	79.3	59.5	44.6
	60歳代（n=135）	54.8	52.6	47.4	58.5	35.6	74.8	65.9	42.2
	70歳以上（n=117）	50.4	43.6	41.0	47.0	25.6	63.2	55.6	41.9

単位：％		気軽にが通院できなくなったときに	職場と後の支援機関の連携	就業後のフォローアップ	企業ニーズに合った就業訓練	仕事の相談対応、職場外での支援	その他	わからない	無回答
全体（n=532）		47.0	39.8	28.8	26.3	1.5	2.1	1.9	
年齢別	10歳代（n=9）	22.2	44.4	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	
	20歳代（n=34）	50.0	35.3	23.5	35.3	2.9	0.0	0.0	
	30歳代（n=38）	44.7	36.8	31.6	26.3	2.6	5.3	0.0	
	40歳代（n=71）	53.5	47.9	33.8	31.0	4.2	1.4	0.0	
	50歳代（n=121）	46.3	44.6	30.6	26.4	0.8	1.7	0.8	
	60歳代（n=135）	47.4	37.8	31.1	25.2	1.5	0.7	0.7	
	70歳以上（n=117）	47.0	36.8	24.8	23.9	0.0	3.4	2.6	

問6 あなたの周りでひきこもり状態にある人はいますか。(○は1つだけ)

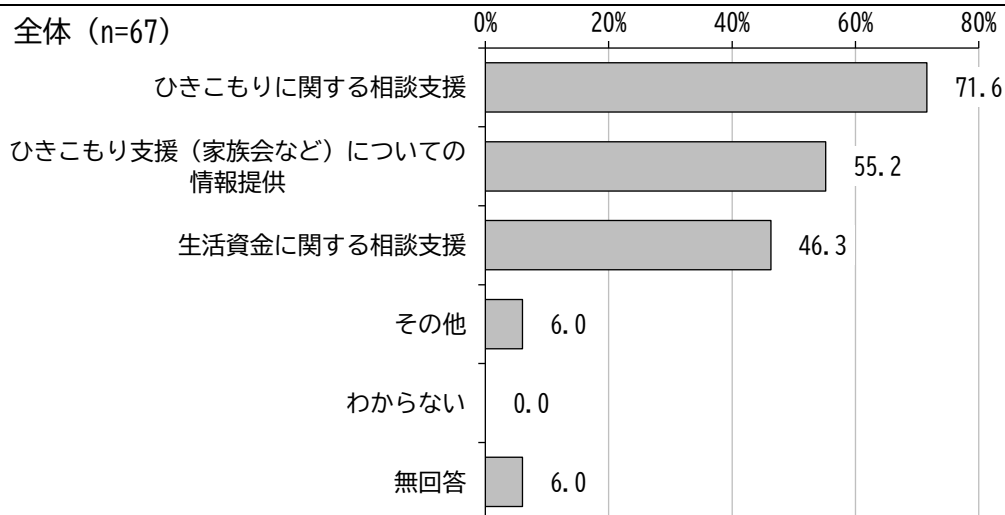
周囲のひきこもり状態にある人の有無については、「いない」が72.2%と最も多く、次いで「わからない」が13.7%、「いる」が12.6%となっています。



【問6で「いる」を選択した人がお答えください。】

問7 ひきこもり状態にある人の支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

ひきこもり状態にある人への支援として必要なことについては、「ひきこもりに関する相談支援」が71.6%と最も多く、次いで「ひきこもり支援(家族会など)についての情報提供」が55.2%、「生活資金に関する相談支援」が46.3%となっています。



問8 あなたは、次のような気持ちになることがどのくらいありましたか。

※直近 30 日間についてお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

神経過敏に感じる頻度については、「まったくない」が 42.5%と最も多く、次いで「少しだけある」が 29.9%、「ときどきある」が 19.5%となっています。

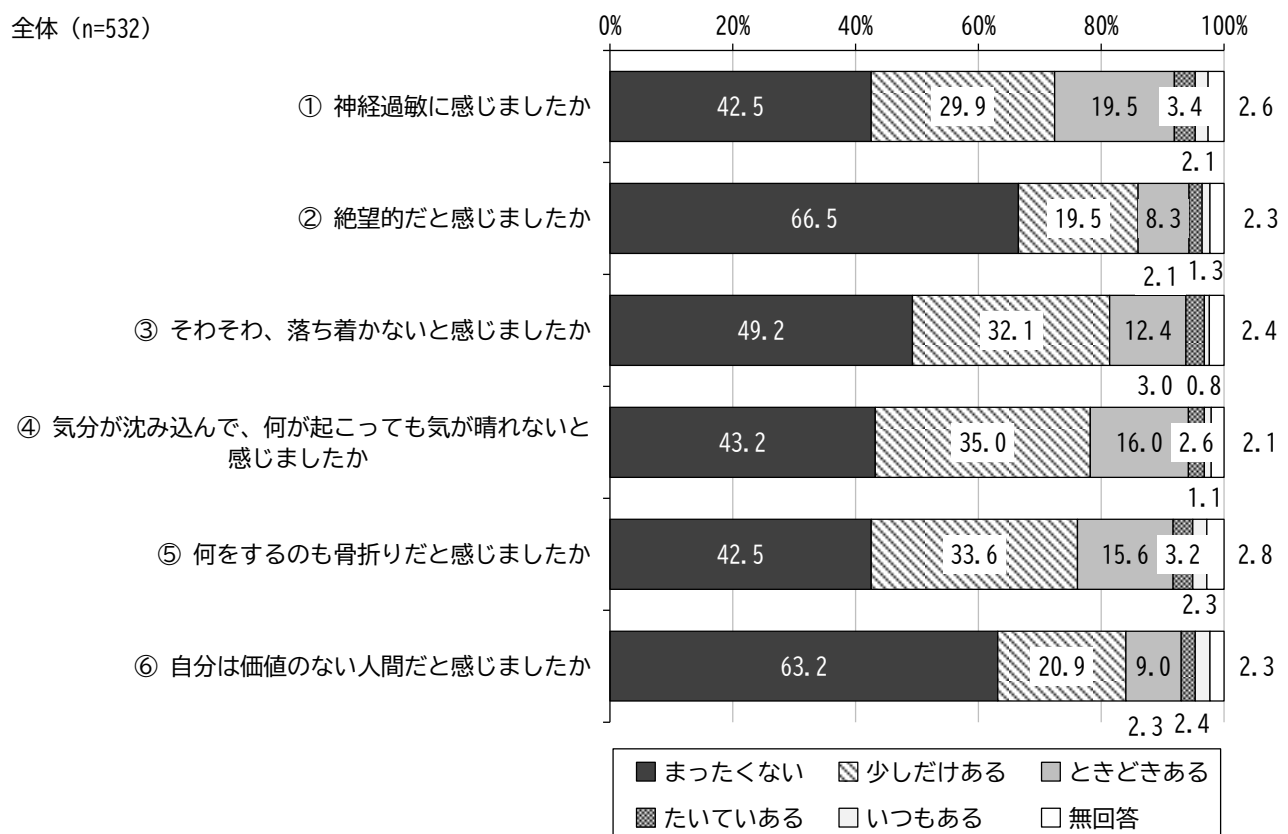
絶望的だと感じる頻度については、「まったくない」が 66.5%と最も多く、次いで「少しだけある」が 19.5%、「ときどきある」が 8.3%となっています。

そろそろ、落ち着かないと感じる頻度については、「まったくない」が 49.2%と最も多く、次いで「少しだけある」が 32.1%、「ときどきある」が 12.4%となっています。

気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないと感じる頻度については、「まったくない」が 43.2%と最も多く、次いで「少しだけある」が 35.0%、「ときどきある」が 16.0%となっています。

何をするのも骨折りだと感じる頻度については、「まったくない」が 42.5%と最も多く、次いで「少しだけある」が 33.6%、「ときどきある」が 15.6%となっています。

自分は価値のない人間だと感じる頻度については、「まったくない」が 63.2%と最も多く、次いで「少しだけある」が 20.9%、「ときどきある」が 9.0%となっています。

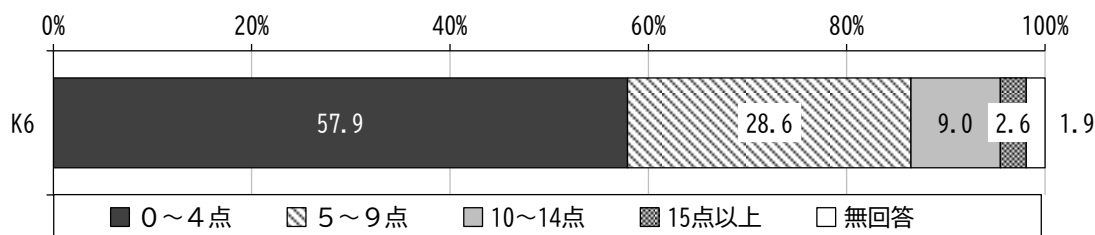


こころの状態に関する6項目の質問（K6）について、「まったくない」を0点、「少しだけある」を1点、「ときどきある」を2点、「たいていある」を3点、「いつもある」を4点とした場合の合計点（0～24点）を算出しました。

その結果については、「0～4点」が57.6%と最も多く、次いで「5～9点」が28.6%となっています。気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者について、国では10点以上としており、今回の調査で10点以上は11.6%となっています。

■ K 6

全体（n=532）



■ 年齢別

年齢別でみると、すべての年齢で「0～4点」が最も多くなっています。また、20歳代で10点以上が23.5%と、全体と比較して10ポイント以上高くなっています。

単位：%		0 ～ 4 点	5 ～ 9 点	10 ～ 14 点	15 点 以上	無 回 答
全体（n=532）		57.9	28.6	9.0	2.6	1.9
年 齢 別	10歳代（n=9）	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0
	20歳代（n=34）	55.9	20.6	14.7	8.8	0.0
	30歳代（n=38）	44.7	36.8	13.2	5.3	0.0
	40歳代（n=71）	52.1	33.8	12.7	1.4	0.0
	50歳代（n=121）	53.7	30.6	12.4	1.7	1.7
	60歳代（n=135）	62.2	25.2	8.9	2.2	1.5
	70歳以上（n=117）	70.1	26.5	0.9	1.7	0.9

■居住地域別

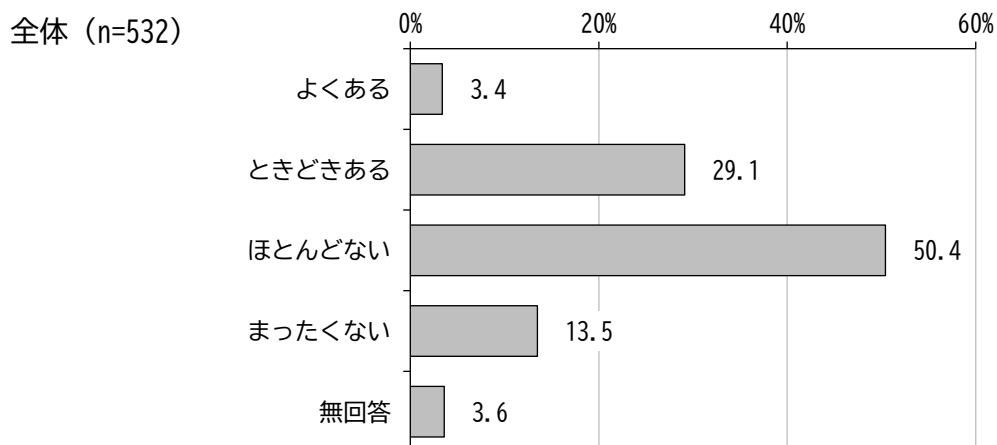
居住地域別でみると、飯野では「5～9点」、その他の居住地域では「0～4点」が最も多くなっています。

単位：％			0 ～ 4 点	5 ～ 9 点	10 ～ 14 点	15 点 以上	無 回 答
全体（n=532）			57.9	28.6	9.0	2.6	1.9
居住 地域 別	富 津 地 区	富津（n=85）	58.8	25.9	10.6	3.5	1.2
		青堀（n=107）	59.8	27.1	10.3	2.8	0.0
		飯野（n=36）	38.9	44.4	8.3	8.3	0.0
	大 佐 和 地 区	大貫（n=77）	55.8	31.2	10.4	1.3	1.3
		吉野（n=33）	57.6	36.4	6.1	0.0	0.0
		佐貫（n=31）	64.5	22.6	9.7	3.2	0.0
	天 羽 地 区	湊・天神山（n=73）	58.9	31.5	5.5	2.7	1.4
		竹岡・金谷（n=43）	62.8	25.6	9.3	0.0	2.3
		峰上（n=40）	67.5	15.0	10.0	2.5	5.0

3. 権利擁護についてお聞きします。

問9 あなたは、ここ3年間において、障がいのある人に対する差別を感じたり、問題だと思ったことがありますか。(○は1つだけ)

ここ3年間で障がいのある人に対する差別を感じたり、問題だと思った経験については、「ほとんどない」が50.4%と最も多く、次いで「ときどきある」が29.1%、「まったくない」が13.5%となっています。



■障がいのある人との関わりの有無・頻度別

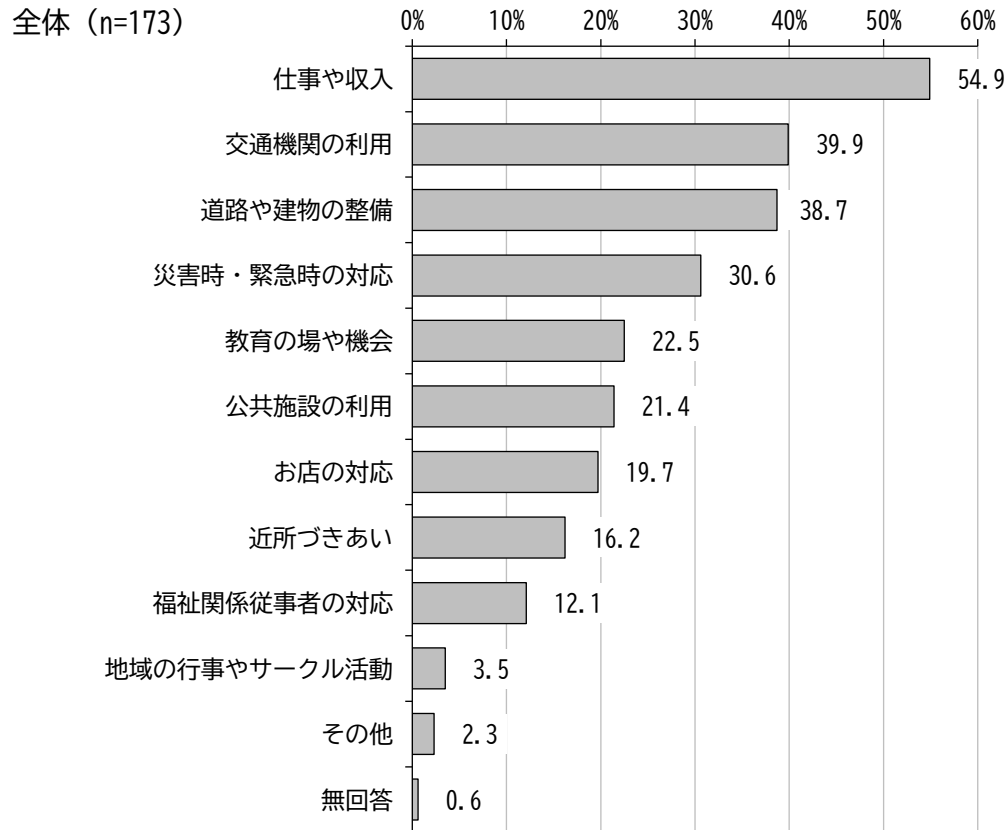
障がいのある人との関わりの有無・頻度別でみると、日常的に接しているでは「ときどきある」、時々接している、これまで何度か接したことがある、接したことがないでは「ほとんどない」が最も多くなっています。障がいのある人に接している頻度が高いほど、「ときどきある」が多く、「ほとんどない」「まったくない」が少なくなっています。

単位：%		よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	無回答
全体 (n=532)		3.4	29.1	50.4	13.5	3.6
障がいのある人との関わり の有無・頻度別	日常的に接している (n=110)	10.0	39.1	38.2	8.2	4.5
	時々接している (n=87)	1.1	42.5	48.3	4.6	3.4
	これまで何度か接したことがある (n=160)	3.8	30.0	50.0	13.1	3.1
	接したことがない (n=161)	0.0	16.1	58.4	21.7	3.7
	どのような人かわからない (n=9)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0

【問9で「よくある」「ときどきある」を選択した人がお答えください。】

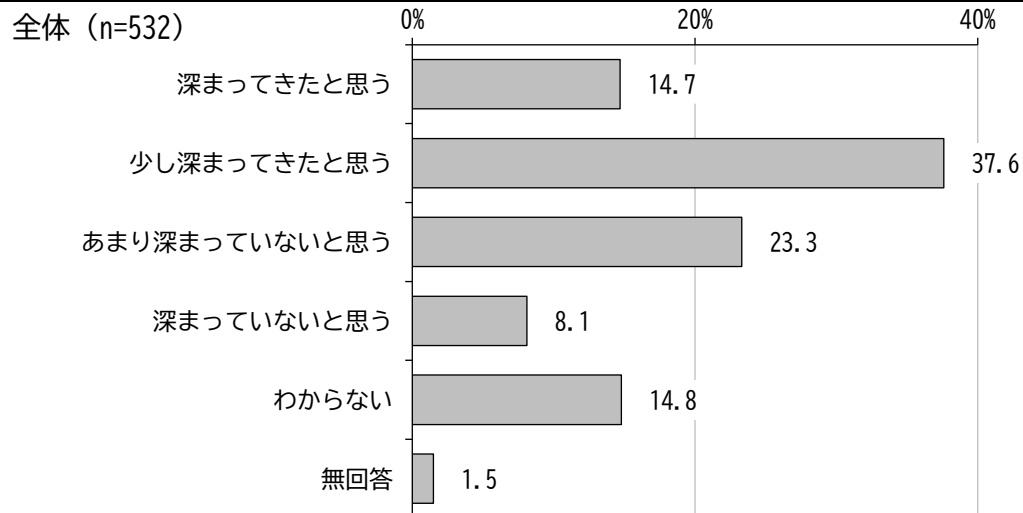
問10 どのような場面で障がいのある人に対する差別を感じたり、問題だと思いましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別を感じたり問題だと思った場面については、「仕事や収入」が54.9%と最も多く、次いで「交通機関の利用」が39.9%、「道路や建物の整備」が38.7%となっています。



問 11 あなたは、日常生活の中で、障がいのある人への理解は深まってきていると思いますか。(○は1つだけ)

日常生活の中での障がいのある人への理解の深まりについては、「少し深まってきたと思う」が 37.6%と最も多く、次いで「あまり深まっていないと思う」が 23.3%、「わからない」が 14.8%となっています。



■年齢別

年齢別でみると、すべての年代で「少し深まってきたと思う」が最も多くなっています。

単位：%		思 う ま っ て き た と	た 少 し 思 う ま っ て き	い あ ま い り と 深 ま っ て	と 深 ま っ て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=532)		14.7	37.6	23.3	8.1	14.8	1.5
年 齢 別	10歳代 (n=9)	11.1	66.7	11.1	11.1	0.0	0.0
	20歳代 (n=34)	5.9	38.2	32.4	5.9	17.6	0.0
	30歳代 (n=38)	10.5	34.2	26.3	10.5	18.4	0.0
	40歳代 (n=71)	9.9	40.8	23.9	9.9	12.7	2.8
	50歳代 (n=121)	14.9	33.1	27.3	9.1	14.9	0.8
	60歳代 (n=135)	17.0	37.0	24.4	4.4	17.0	0.0
	70歳以上 (n=117)	19.7	38.5	14.5	9.4	13.7	4.3

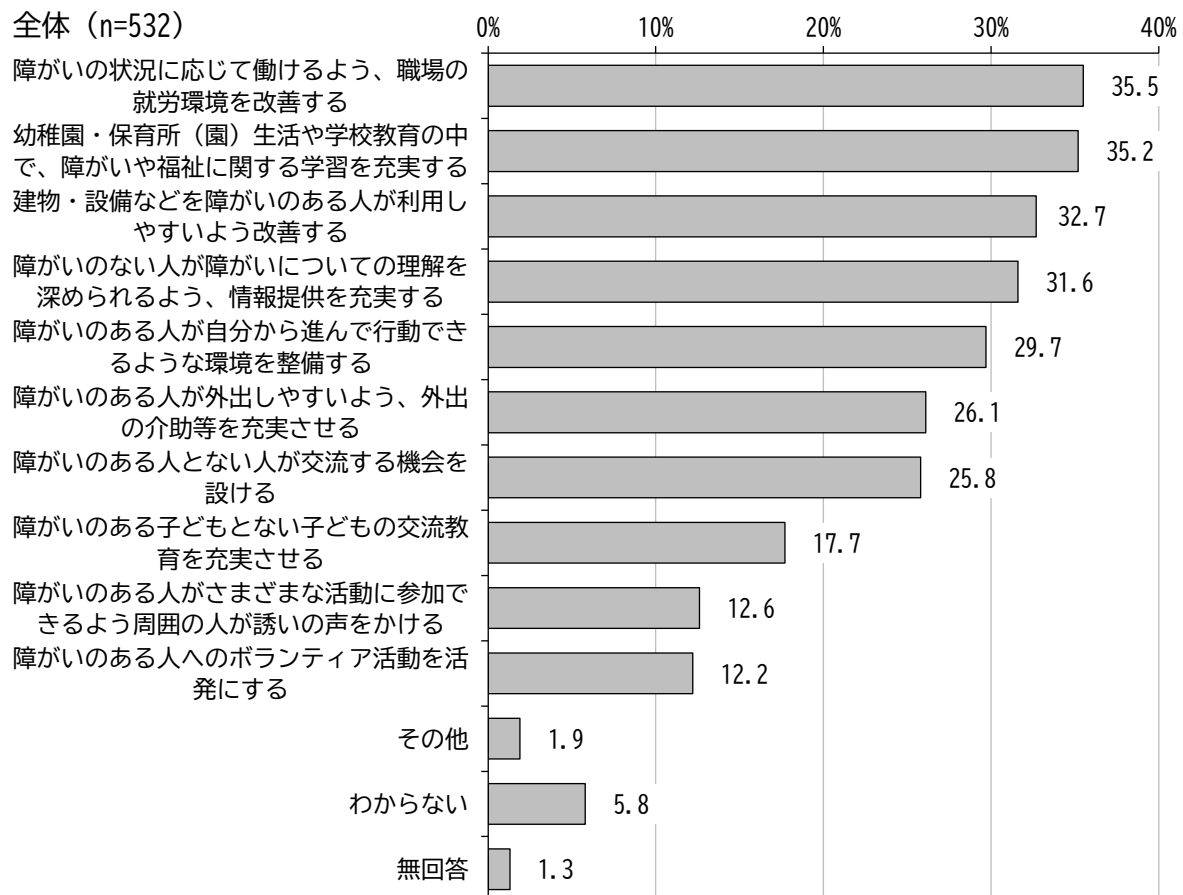
■障がいのある人との関わりの有無・頻度別

障がいのある人との関わりの有無・頻度別でみると、日常的に接している、時々接している、これまで何度か接したことがある、接したことがないでは「少し深まってきたと思う」が最も多くなっています。障がいのある人に接している頻度が高いほど、「深まってきたと思う」が多くなる傾向にあります。

単位：％		思 深 う ま っ て き た と	た 少 と し 思 深 う ま っ て き	い あ な り と 深 思 ま う っ て	と 深 思 ま う っ て い な い	わ か ら な い	無 回 答
全体（n=532）		14.7	37.6	23.3	8.1	14.8	1.5
関 障 わ が り い の の 有 ある 無 人 ・ と 頻 の 度 人 別 と の 頻 度 別	日常的に接している （n=110）	30.9	37.3	15.5	9.1	7.3	0.0
	時々接している （n=87）	11.5	46.0	29.9	5.7	5.7	1.1
	これまで何度か接した ことがある（n=160）	13.1	43.1	23.8	3.8	15.6	0.6
	接したことがない （n=161）	7.5	29.2	25.5	11.8	23.0	3.1
	どのような人かわから ない（n=9）	0.0	11.1	11.1	22.2	44.4	11.1

問 12 障がいのある人となない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

障がいのある人となない人が理解し合い、共に生きる社会をつくるために必要なことについては、「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が 35.5%と最も多く、次いで「幼稚園・保育所（園）生活や学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」が 35.2%、「建物・設備などを障がいのある人が利用しやすいよう改善する」が 32.7%となっています。



■障がいのある人との関わりの有無・頻度別

障がいのある人との関わりの有無・頻度別でみると、日常的に接しているでは「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」、時々接している、これまで何度か接したことがあるでは「幼稚園・保育所（園）生活や学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」、接したことがないでは「建物・設備などを障がいのある人が利用しやすいよう改善する」が最も多くなっています。

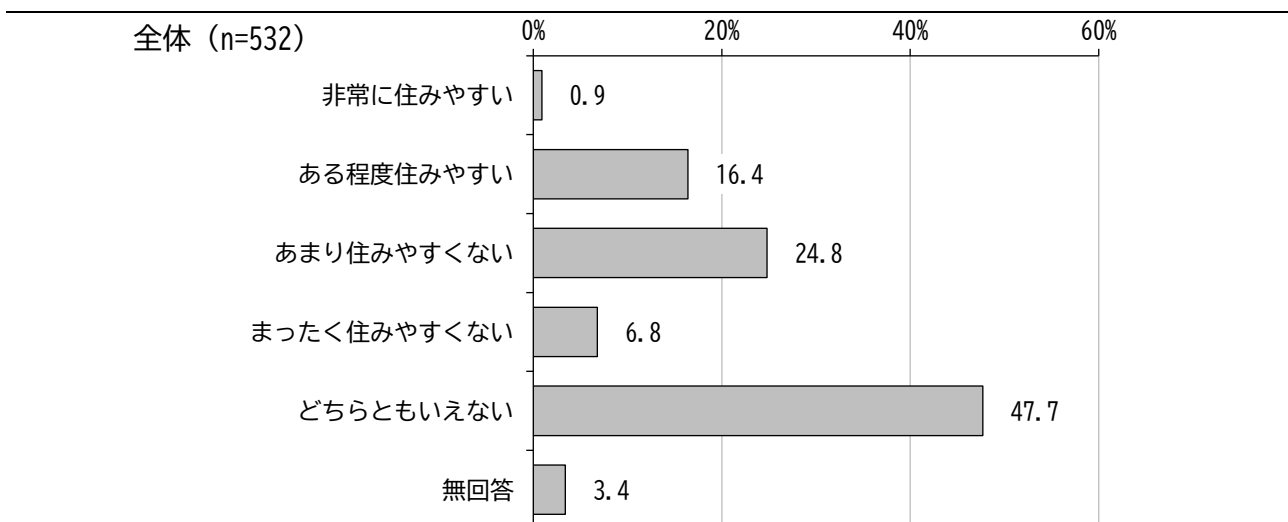
単位：％		障がいのある人との関わりが深まるよう、人々が交流する機会を設ける	障がいの情報提供を深め、充実するようにつ	学校・幼稚園・保育所（園）生活や福祉に関する学習を充実する	幼稚園・保育所（園）生活や福祉に関する学習を充実する	障がいの交流を子どもとさせる	障がいの交流を子どもとさせる	障がいの交流を子どもとさせる	障がいの交流を子どもとさせる	障がいの交流を子どもとさせる	障がいの交流を子どもとさせる
全体（n=532）		25.8	31.6	35.2	17.7	12.2	12.6	26.1			
関わり の 有無・ 頻度 別	日常的に接している（n=110）	21.8	29.1	38.2	19.1	10.9	8.2	32.7			
	時々接している（n=87）	25.3	32.2	35.6	20.7	11.5	16.1	31.0			
	これまで何度か接したことがある（n=160）	26.9	33.8	40.0	16.9	13.8	11.9	26.3			
	接したことがない（n=161）	29.8	31.1	29.8	16.8	12.4	15.5	20.5			
	どのような人かわからない（n=9）	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0			

単位：％		建物の設備などを利用する障がいがある人への対応	障がいの環境を整える	労働環境の改善	その他	わからない	無回答
全体（n=532）		32.7	29.7	35.5	1.9	5.8	1.3
関わり の 有無・ 頻度 別	日常的に接している（n=110）	30.0	31.8	42.7	5.5	2.7	0.9
	時々接している（n=87）	28.7	32.2	29.9	0.0	5.7	2.3
	これまで何度か接したことがある（n=160）	31.3	26.9	35.6	1.9	3.8	0.6
	接したことがない（n=161）	39.1	29.8	33.5	0.6	7.5	1.9
	どのような人かわからない（n=9）	11.1	11.1	22.2	0.0	55.6	0.0

4. 市の障がい福祉に対する取り組みについてお聞きます。

問 13 富津市は、障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

富津市が障がいのある人にとって住みやすいまちかについては、「どちらともいえない」が47.7%と最も多く、次いで「あまり住みやすくない」が24.8%、「ある程度住みやすい」が16.4%となっています。



■年齢別

年齢別でみると、すべての年齢で「どちらともいえない」が最も多くなっています。

単位：%		非常に住みやす	ある程度住みやす	あまり住みやす	まったく住みやす	どちらともいえない	無回答
全体 (n=532)		0.9	16.4	24.8	6.8	47.7	3.4
年齢別	10歳代 (n=9)	11.1	22.2	33.3	0.0	33.3	0.0
	20歳代 (n=34)	2.9	23.5	26.5	5.9	41.2	0.0
	30歳代 (n=38)	0.0	23.7	15.8	13.2	47.4	0.0
	40歳代 (n=71)	1.4	18.3	22.5	12.7	42.3	2.8
	50歳代 (n=121)	0.0	11.6	33.1	7.4	46.3	1.7
	60歳代 (n=135)	0.0	20.7	19.3	5.9	50.4	3.7
	70歳以上 (n=117)	1.7	11.1	24.8	1.7	53.8	6.8

■居住地域別

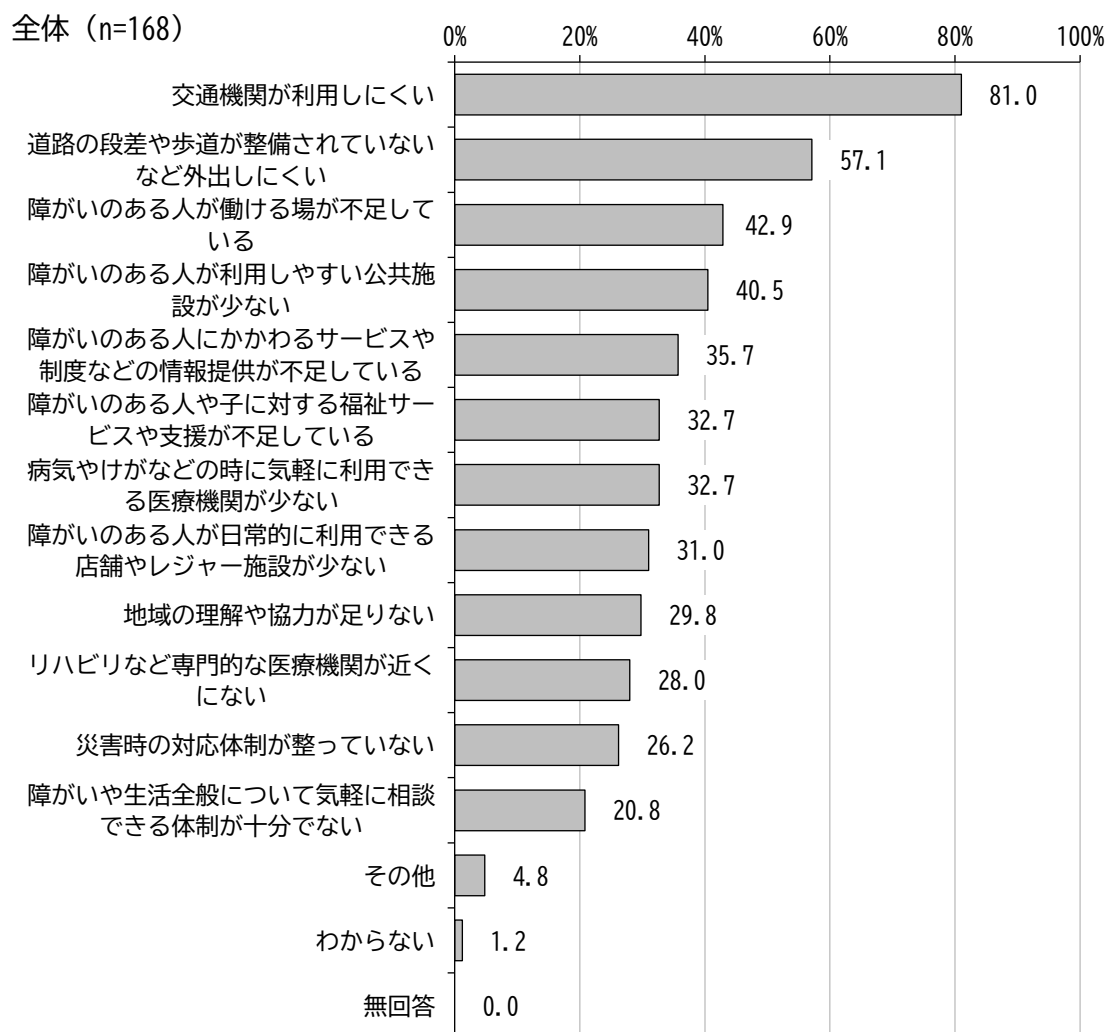
居住地域別でみると、吉野では「あまり住みやすくない」「どちらともいえない」、その他の居住地域では「どちらともいえない」が最も多くなっています。

単位：％			す 非 い 常 に 住 み や	や あ す る 程 度 住 み	す あ く ま り い 住 み や	や ま つ く た く い 住 み	え ど な い ら と も い	無 回 答
全体（n=532）			0.9	16.4	24.8	6.8	47.7	3.4
居住 地域 別	富 津 地 区	富津（n=85）	1.2	18.8	21.2	7.1	50.6	1.2
		青堀（n=107）	0.0	22.4	23.4	8.4	42.1	3.7
		飯野（n=36）	0.0	11.1	30.6	2.8	52.8	2.8
	大 佐 和 地 区	大貫（n=77）	2.6	15.6	18.2	2.6	59.7	1.3
		吉野（n=33）	0.0	9.1	36.4	12.1	36.4	6.1
		佐貫（n=31）	0.0	12.9	35.5	3.2	48.4	0.0
	天 羽 地 区	湊・天神山（n=73）	1.4	15.1	24.7	12.3	39.7	6.8
		竹岡・金谷（n=43）	2.3	14.0	18.6	4.7	53.5	7.0
		峰上（n=40）	0.0	12.5	30.0	5.0	50.0	2.5

【問 13 で「あまり住みやすくない」「まったく住みやすくない」を選択した人がお答えください。】

問 14 住みにくいと思う理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

住みにくいと思う理由については、「交通機関が利用しにくい」が 81.0%と最も多く、次いで「道路の段差や歩道が整備されていないなど外出しにくい」が 57.1%、「障がいのある人が働ける場が不足している」が 42.9%となっています。



■居住地域別

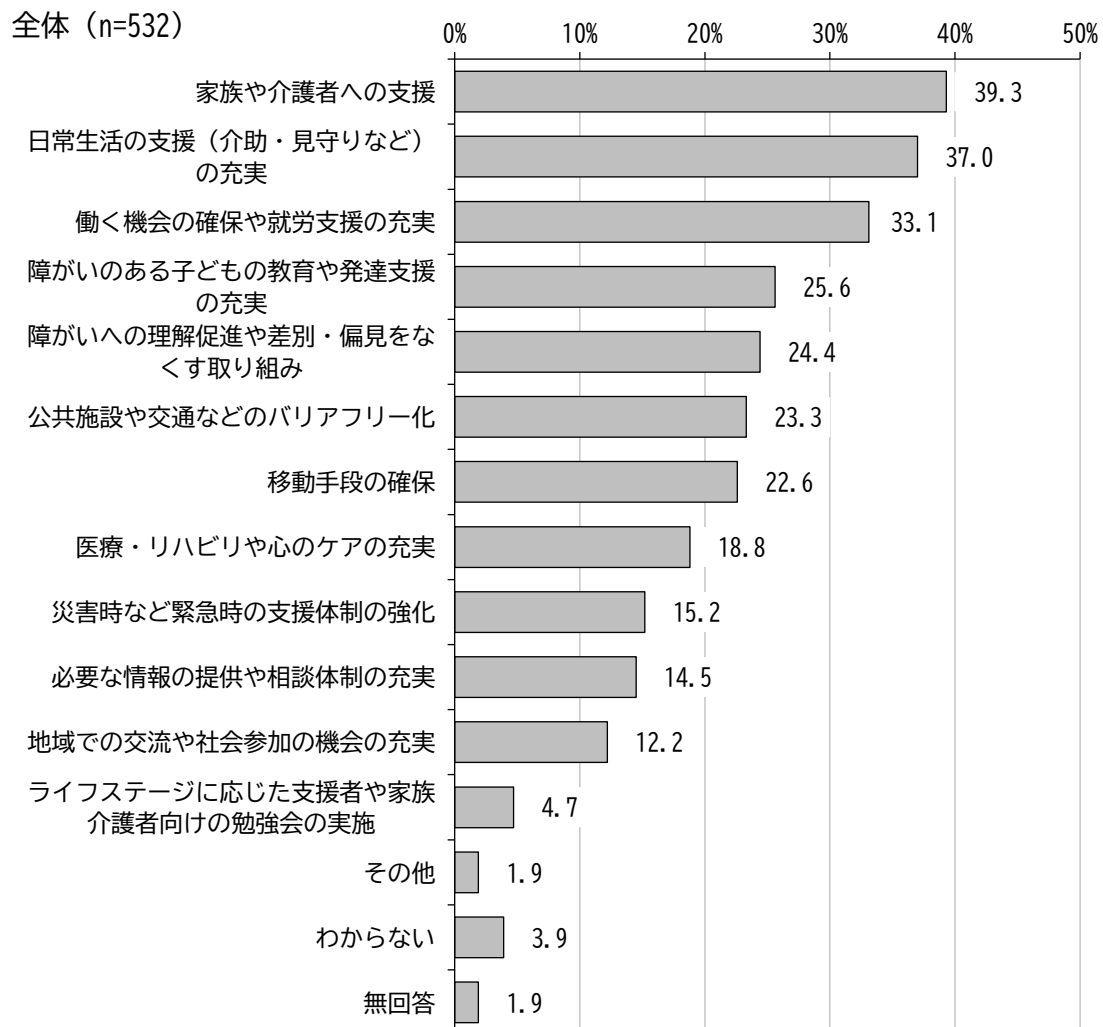
居住地域別でみると、すべての居住地域で「交通機関が利用しにくい」が最も多くなっています。また、次いで「道路の段差や歩道が整備されていないなど外出しにくい」なども多くなっています。

単位：％			て福障 いるサ ーの ビ ある や 人 支 援 が 不 対 足 し る	不障 足が して いる 人 が 働 け る 場 が	供サ障 がーい 不ビの 足スあ しや て制 る度 い に か か 情 報 提	な軽障 いに相 い 談 や 生 活 全 体 制 に が つ い 分 て で 気	い障 公が 共の 施あ 設る が 少 な い 人 が 利 用 し や す	が用障 少で ない の あ る 人 が 日 常 的 に 設 利	交通 機 関 が 利 用 し に く い	て道 路の 段 差 や 歩 道 が 整 備 さ れ て い な い な ど 外 出 し に く い
全体 (n=168)			32.7	42.9	35.7	20.8	40.5	31.0	81.0	57.1
居住地域別	富津地区	富津 (n=24)	37.5	33.3	29.2	16.7	37.5	37.5	87.5	58.3
		青堀 (n=34)	20.6	44.1	38.2	23.5	29.4	23.5	91.2	67.6
		飯野 (n=12)	33.3	58.3	41.7	8.3	33.3	33.3	75.0	41.7
	大佐和地区	大貫 (n=16)	37.5	12.5	25.0	25.0	62.5	43.8	81.3	68.8
		吉野 (n=16)	31.3	43.8	43.8	25.0	43.8	12.5	62.5	43.8
		佐貫 (n=12)	50.0	41.7	41.7	25.0	50.0	33.3	100.0	75.0
	天羽地区	湊・天神山 (n=27)	37.0	44.4	29.6	25.9	37.0	29.6	77.8	51.9
		竹岡・金谷 (n=10)	40.0	70.0	60.0	20.0	50.0	40.0	80.0	50.0
		峰上 (n=14)	28.6	50.0	28.6	14.3	42.9	35.7	71.4	42.9

単位：％			医リ 療ハ 機ビ 関リ がな 近ど く専 に門 的 な い	機気病 関軽気 がにや 少利け ないが い でな き どの 医時 療に	り地 な 域の 理 解 や 協 力 が 足	整災 つ害 て時 いの 対 応 体 制 が	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=168)			28.0	32.7	29.8	26.2	4.8	1.2	0.0
居住地域別	富津地区	富津 (n=24)	37.5	33.3	37.5	41.7	0.0	0.0	0.0
		青堀 (n=34)	20.6	17.6	41.2	17.6	8.8	2.9	0.0
		飯野 (n=12)	16.7	41.7	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	大佐和地区	大貫 (n=16)	37.5	25.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0
		吉野 (n=16)	6.3	31.3	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
		佐貫 (n=12)	41.7	41.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	天羽地区	湊・天神山 (n=27)	44.4	59.3	25.9	29.6	7.4	0.0	0.0
		竹岡・金谷 (n=10)	20.0	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
		峰上 (n=14)	14.3	14.3	28.6	14.3	7.1	7.1	0.0

問 15 今後、市が障がい福祉の施策として、特に力を入れていくべきことは何だとお考えですか。(〇は3つまで)

今後、市が特に力を入れていくべき障がい福祉の施策については、「家族や介護者への支援」が 39.3%と最も多く、次いで「日常生活の支援（介助・見守りなど）の充実」が 37.0%、「働く機会の確保や就労支援の充実」が 33.1%となっています。



■年齢別

年齢別でみると、20 歳代では「公共施設や交通などのバリアフリー化」、30 歳代、50 歳代、60 歳代では「日常生活の支援（介助・見守りなど）の充実」、40 歳代、70 歳以上では「家族や介護者への支援」が最も多くなっています。

単位：％		ど（日 の介常 充助生 実見の 守支 り援 な	心医 の療 ケ・ ア リ のハ 充ビ 実リ や	援も障 のが 充教い 実育の やある 発達子 達ど	就働 労く 支機 援会 のの 充確 実保 や	実会地 参加 での 機交 会流 のや 充社	な進障 くやが す差い 取別へ り・の 組偏理 み見解 を促	化ど公 のバ施 リ設 アや フ交 り通 しな	や必 相要 談な 体情 制報 のの 充提 実供
全体（n=532）		37.0	18.8	25.6	33.1	12.2	24.4	23.3	14.5
年 齢 別	10歳代（n=9）	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	77.8	0.0
	20歳代（n=34）	20.6	17.6	32.4	29.4	8.8	20.6	38.2	17.6
	30歳代（n=38）	36.8	28.9	18.4	34.2	10.5	18.4	13.2	5.3
	40歳代（n=71）	39.4	16.9	29.6	39.4	7.0	22.5	28.2	11.3
	50歳代（n=121）	38.8	19.8	25.6	34.7	11.6	24.8	24.8	13.2
	60歳代（n=135）	43.0	18.5	23.0	33.3	15.6	20.7	19.3	18.5
	70歳以上（n=117）	34.2	16.2	28.2	28.2	14.5	35.0	17.9	14.5
単位：％		家 族 や 介 護 者 へ の 支 援	向た けの 勉 強 や ステ ー ス の 実 施 に 応 じ	援災 体害 制時 のな ど強 化緊 急時 の支	移 動 手 段 の 確 保	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体（n=532）		39.3	4.7	15.2	22.6	1.9	3.9	1.9	
年 齢 別	10歳代（n=9）	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	
	20歳代（n=34）	35.3	2.9	2.9	26.5	2.9	5.9	0.0	
	30歳代（n=38）	31.6	5.3	13.2	31.6	2.6	10.5	0.0	
	40歳代（n=71）	43.7	2.8	8.5	23.9	7.0	1.4	0.0	
	50歳代（n=121）	36.4	6.6	19.0	19.0	0.8	3.3	2.5	
	60歳代（n=135）	39.3	3.0	18.5	23.0	0.0	4.4	2.2	
	70歳以上（n=117）	44.4	5.1	16.2	19.7	1.7	2.6	2.6	

■居住地域別

居住地域別でみると、富津、佐貫、湊・天神山、竹岡・金谷では「日常生活の支援（介助・見守りなど）の充実」、青堀、大貫、峰上では「家族や介護者への支援」、飯野では「日常生活の支援（介助・見守りなど）の充実」「家族や介護者への支援」、吉野では「働く機会の確保や就労支援の充実」が最も多くなっています。

単位：％			実助・日常生活の支援（介助・見守りなど）の充実	医療・リハビリや心のケアの充実	障がいのある子どもの充実	働く機会の確保や就労支援の充実	地域の交流や社会参加の機会の充実	障がいへの理解を促進する取り組み	公共交通機関の充実	必要な情報の提供や相談体制の充実
全体（n=532）			37.0	18.8	25.6	33.1	12.2	24.4	23.3	14.5
居住地域別	富津地区	富津（n=85）	47.1	23.5	28.2	29.4	10.6	21.2	22.4	9.4
		青堀（n=107）	31.8	17.8	23.4	36.4	12.1	24.3	31.8	15.9
		飯野（n=36）	44.4	19.4	27.8	33.3	8.3	27.8	22.2	16.7
	大佐和地区	大貫（n=77）	29.9	15.6	29.9	33.8	7.8	22.1	23.4	14.3
		吉野（n=33）	30.3	9.1	27.3	48.5	9.1	21.2	24.2	15.2
		佐貫（n=31）	32.3	9.7	19.4	29.0	16.1	25.8	22.6	16.1
	天羽地区	湊・天神山（n=73）	38.4	23.3	24.7	34.2	17.8	26.0	19.2	15.1
		竹岡・金谷（n=43）	44.2	20.9	27.9	27.9	18.6	20.9	16.3	20.9
		峰上（n=40）	35.0	17.5	20.0	25.0	12.5	35.0	20.0	10.0

単位：％			家族や介護者への支援	支援者や家族のニーズに応じた支援の実施	災害時の緊急時の支援体制の強化	移動手段の確保	その他	わからない	無回答
全体（n=532）			39.3	4.7	15.2	22.6	1.9	3.9	1.9
居住地域別	富津地区	富津（n=85）	44.7	5.9	12.9	27.1	1.2	5.9	3.5
		青堀（n=107）	38.3	2.8	11.2	19.6	1.9	1.9	0.9
		飯野（n=36）	44.4	2.8	13.9	25.0	5.6	0.0	0.0
	大佐和地区	大貫（n=77）	40.3	5.2	19.5	13.0	2.6	7.8	2.6
		吉野（n=33）	45.5	3.0	12.1	30.3	0.0	0.0	0.0
		佐貫（n=31）	25.8	12.9	29.0	29.0	3.2	3.2	0.0
	天羽地区	湊・天神山（n=73）	35.6	5.5	12.3	19.2	0.0	5.5	4.1
		竹岡・金谷（n=43）	32.6	2.3	18.6	23.3	0.0	2.3	0.0
		峰上（n=40）	42.5	2.5	20.0	35.0	5.0	5.0	0.0

問 16 あなたは次のような言葉を知っていますか（それぞれ○は1つだけ）

①（富津市障害者総合支援協議会の認知度） 富津市障害者総合支援協議会の認知度については、「知らない」が 64.1%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 23.1%、「知っている」が 9.2%となっています。

②（基幹相談支援センター「えこ」の認知度） 基幹相談支援センター「えこ」の認知度については、「知らない」が 80.6%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 9.0%、「知っている」が 8.1%となっています。

③（地域生活支援拠点等の認知度） 地域生活支援拠点等の認知度については、「知らない」が 76.3%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 14.8%、「知っている」が 6.2%となっています。

④（障害者週間（12月3日～9日）の認知度） 障害者週間（12月3日～9日）の認知度については、「知らない」が 75.4%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 14.8%、「知っている」が 7.1%となっています。

⑤（障害者虐待防止法の認知度） 障害者虐待防止法の認知度については、「知らない」が 47.6%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 28.2%、「知っている」が 21.8%となっています。

⑥（障害者差別解消法・合理的配慮の認知度） 障害者差別解消法・合理的配慮の認知度については、「知らない」が 66.0%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 18.0%、「知っている」が 13.3%となっています。

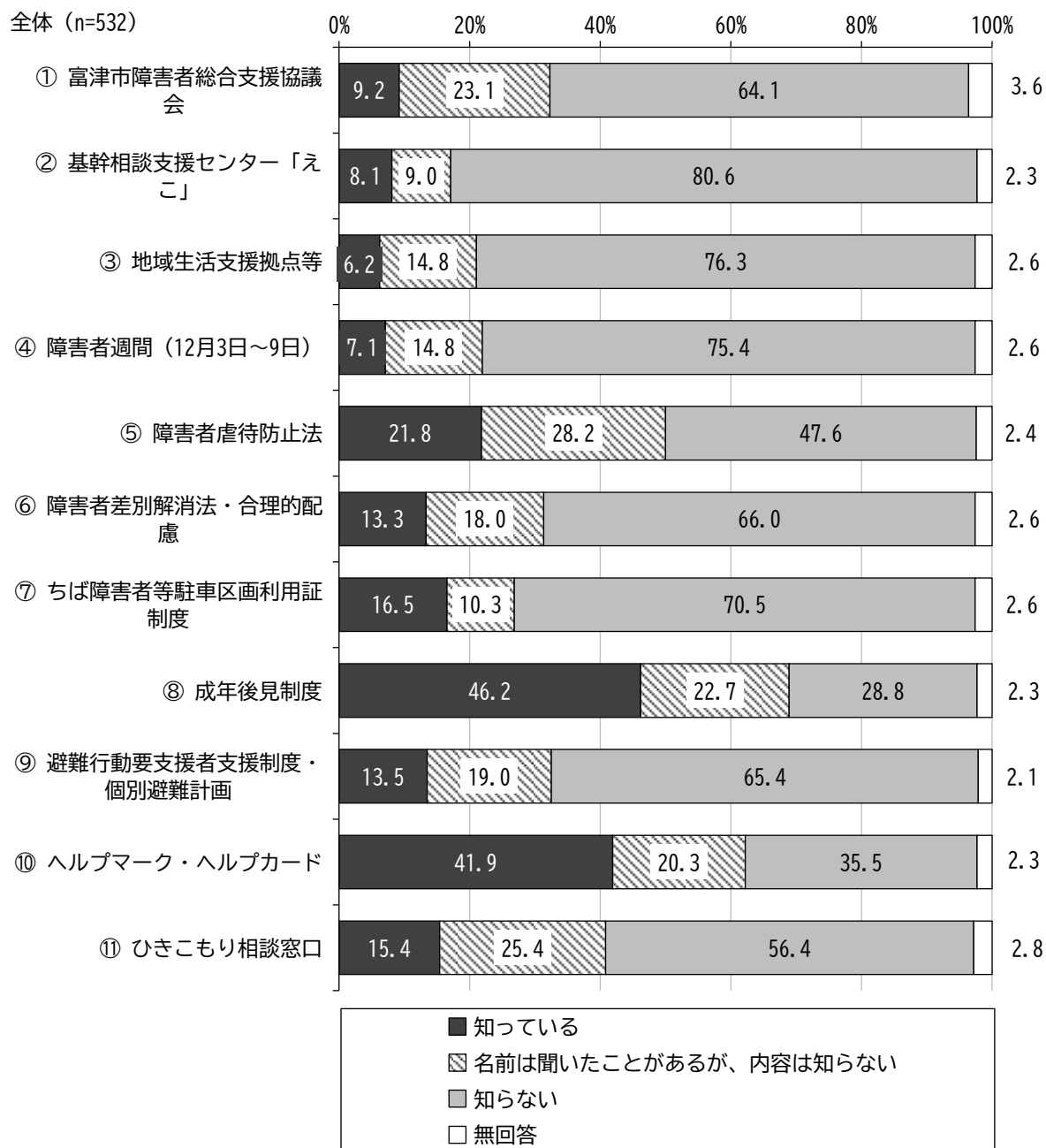
⑦（ちば障害者等駐車区画利用証制度の認知度） ちば障害者等駐車区画利用証制度の認知度については、「知らない」が 70.5%と最も多く、次いで「知っている」が 16.5%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 10.3%となっています。

⑧（成年後見制度の認知度） 成年後見制度の認知度については、「知っている」が 46.2%と最も多く、次いで「知らない」が 28.8%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 22.7%となっています。

⑨（避難行動要支援者支援制度・個別避難計画の認知度） 避難行動要支援者支援制度・個別避難計画の認知度については、「知らない」が 65.4%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 19.0%、「知っている」が 13.5%となっています。

⑩（ヘルプマーク・ヘルプカードの認知度） ヘルプマーク・ヘルプカードの認知度については、「知っている」が 41.9%と最も多く、次いで「知らない」が 35.5%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 20.3%となっています。

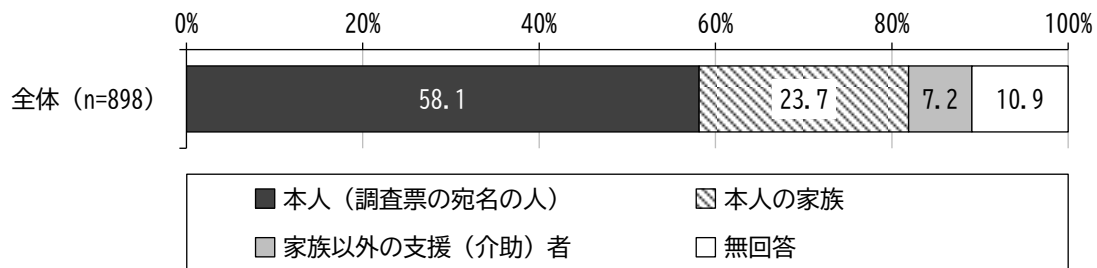
⑪（ひきこもり相談窓口の認知度） ひきこもり相談窓口の認知度については、「知らない」が 56.4%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 25.4%、「知っている」が 15.4%となっています。



Ⅲ 障がい当事者調査の結果

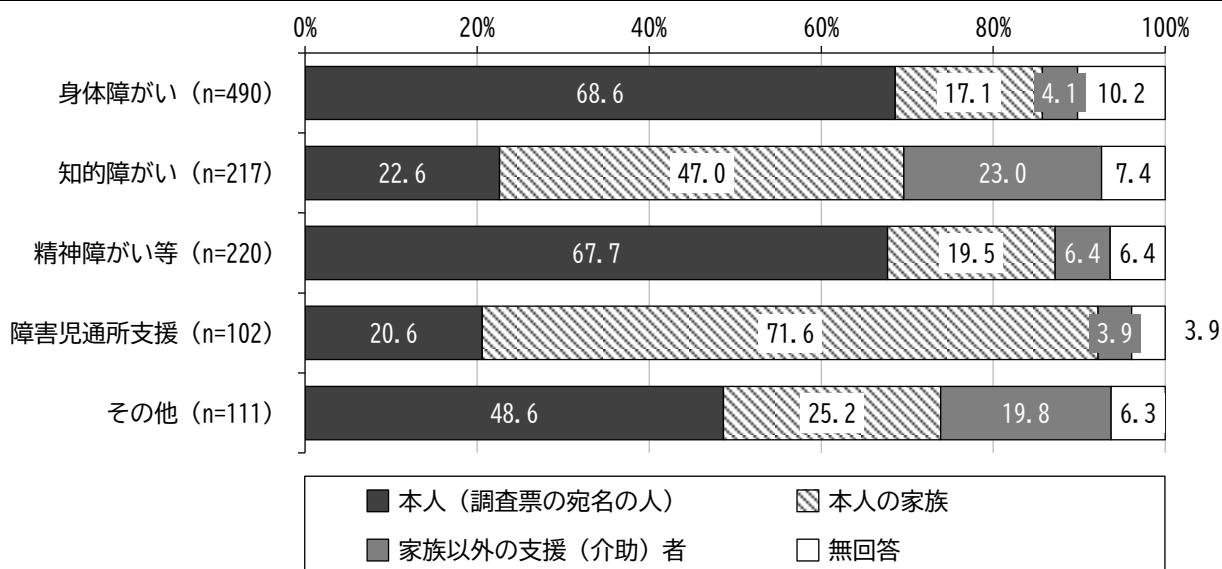
問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

回答者については、「本人（調査票の宛名の人）」が 58.1%と最も多く、次いで「本人の家族」が 23.7%、「家族以外の支援（介助）者」が 7.2%となっています。



■障がい種別

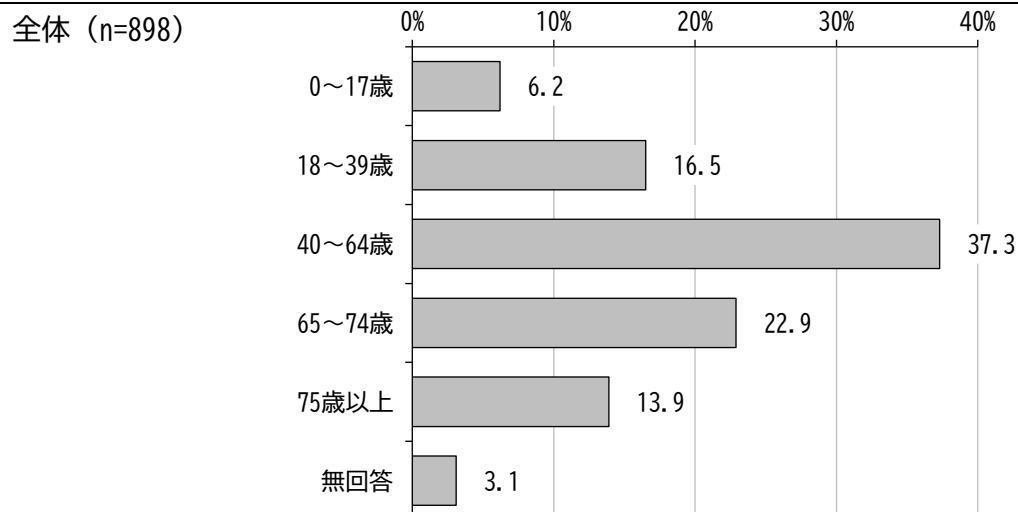
障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「本人（調査票の宛名の人）」が最も多く、知的障がい、障害児通所支援では「本人の家族」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「家族以外の支援（介助）者」が他の種別に比べて多くなっています。



1. あなたの年齢・障がいの状況などについてお聞きします。

問2 あなたの年齢（令和8年4月1日時点）をお答えください。

年齢構成については、「40～64歳」が37.3%と最も多く、次いで「65～74歳」が22.9%、「18～39歳」が16.5%となっています。



■障がい種別

障がい種別でみると、身体障がいは65歳以上が半数を超えています。一方、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では64歳以下が多くなっており、障がい種別によって年齢層に違いがみられます。

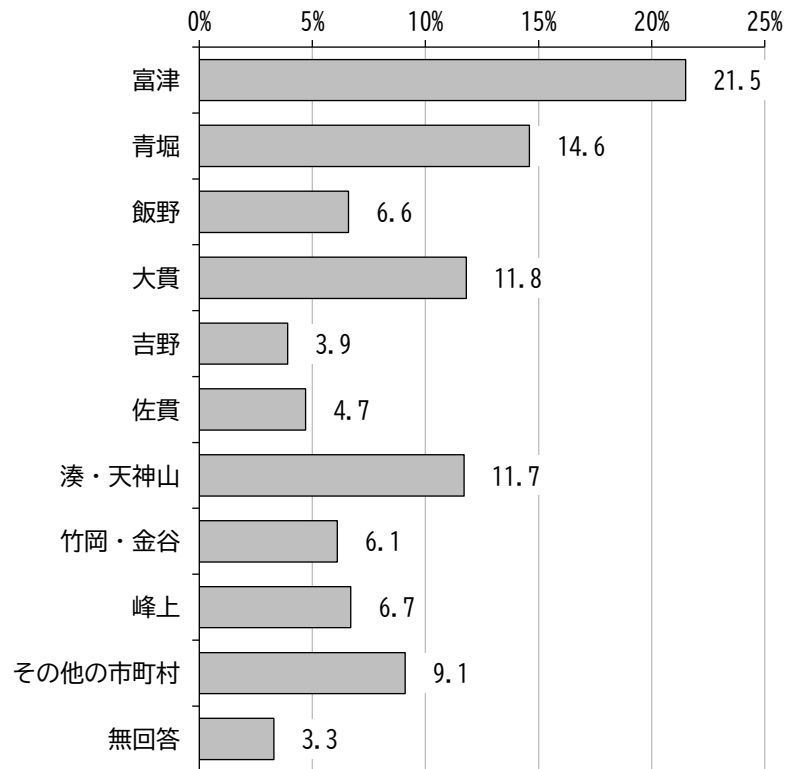
単位：%		0 ～ 1 7 歳	1 ～ 3 9 歳	4 ～ 6 4 歳	6 ～ 5 7 歳	7 ～ 5 歳 以上	無 回 答
全体（n=898）		6.2	16.5	37.3	22.9	13.9	3.1
障 が い 種 別	身体障がい（n=490）	1.8	4.7	36.5	33.9	22.4	0.6
	知的障がい（n=217）	13.4	44.2	36.9	4.1	0.9	0.5
	精神障がい等（n=220）	0.9	25.9	53.6	12.7	5.9	0.9
	障害児通所支援（n=102）	41.2	34.3	22.5	0.0	2.0	0.0
	その他（n=111）	3.6	16.2	47.7	19.8	10.8	1.8

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

居住地域については、「富津」が 21.5%と最も多く、次いで「青堀」が 14.6%、「大貫」が 11.8%となっています。

障がい種別でみると、概ね全体と同様の傾向を示していますが、知的障がいでは「その他の市町村」が 21.7%で最も多くなっており、障害児通所支援では「青堀」が 25.5%で最も多くなっていきます。

全体 (n=898)

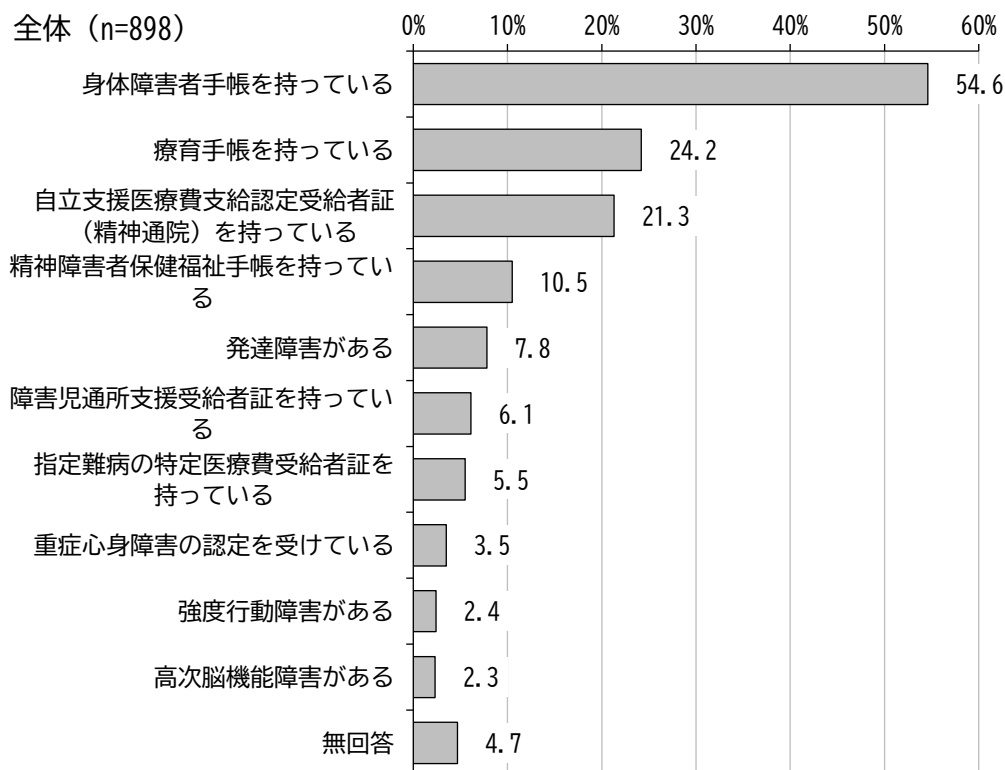


■障がい種別

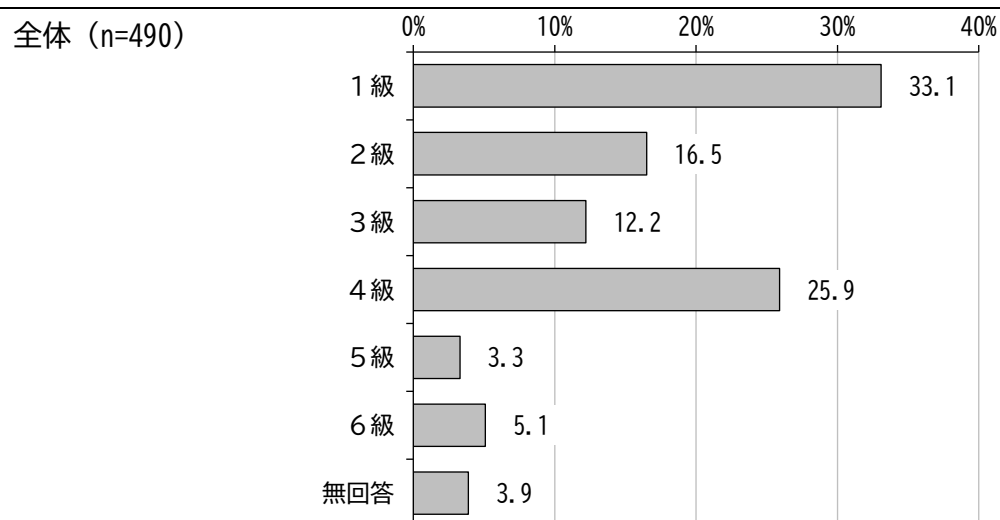
単位：%		富津	青堀	飯野	大貫	吉野	佐貫	湊・天神山	竹岡・金谷	峰上	町 村 そ の 他 の 市	無 回 答
全体 (n=898)		21.5	14.6	6.6	11.8	3.9	4.7	11.7	6.1	6.7	9.1	3.3
障 が い 種 別	身体障がい (n=490)	19.8	16.1	6.3	11.6	4.5	5.1	14.9	7.1	8.2	5.1	1.2
	知的障がい (n=217)	21.2	17.1	7.4	7.4	1.4	3.2	7.4	3.7	7.8	21.7	1.8
	精神障がい等 (n=220)	26.8	11.8	6.8	12.7	5.0	3.2	10.9	5.5	5.0	11.8	0.5
	障害児通所支援 (n=102)	19.6	25.5	7.8	12.7	2.9	2.0	8.8	6.9	4.9	8.8	0.0
	その他 (n=111)	20.7	18.0	2.7	11.7	5.4	5.4	7.2	7.2	8.1	12.6	0.9

問4 以下の中で、あなたにあてはまるものすべてに○をつけ、障害程度にも○をつけてください。また指定難病に○をつけた人は病名もご記入ください。

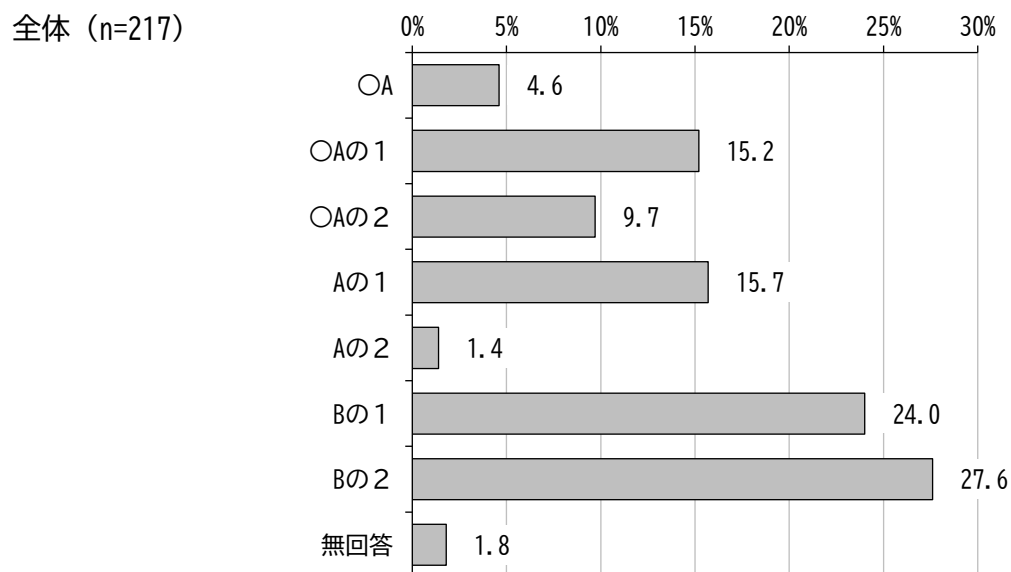
あてはまる手帳・障がいの種類については、「身体障害者手帳を持っている」が54.6%と最も多く、次いで「療育手帳を持っている」が24.2%、「自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている」が21.3%となっています。



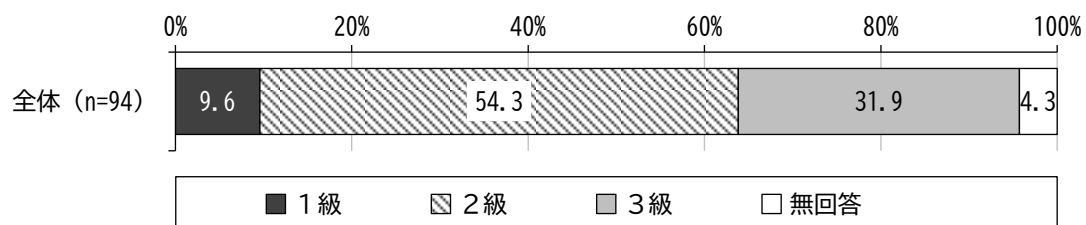
身体障害者手帳の障害程度については、「1級」が33.1%と最も多く、次いで「4級」が25.9%、「2級」が16.5%となっています。



療育手帳の障害程度については、「B の 2」が 27.6%と最も多く、次いで「B の 1」が 24.0%、「A の 1」が 15.7%となっています。



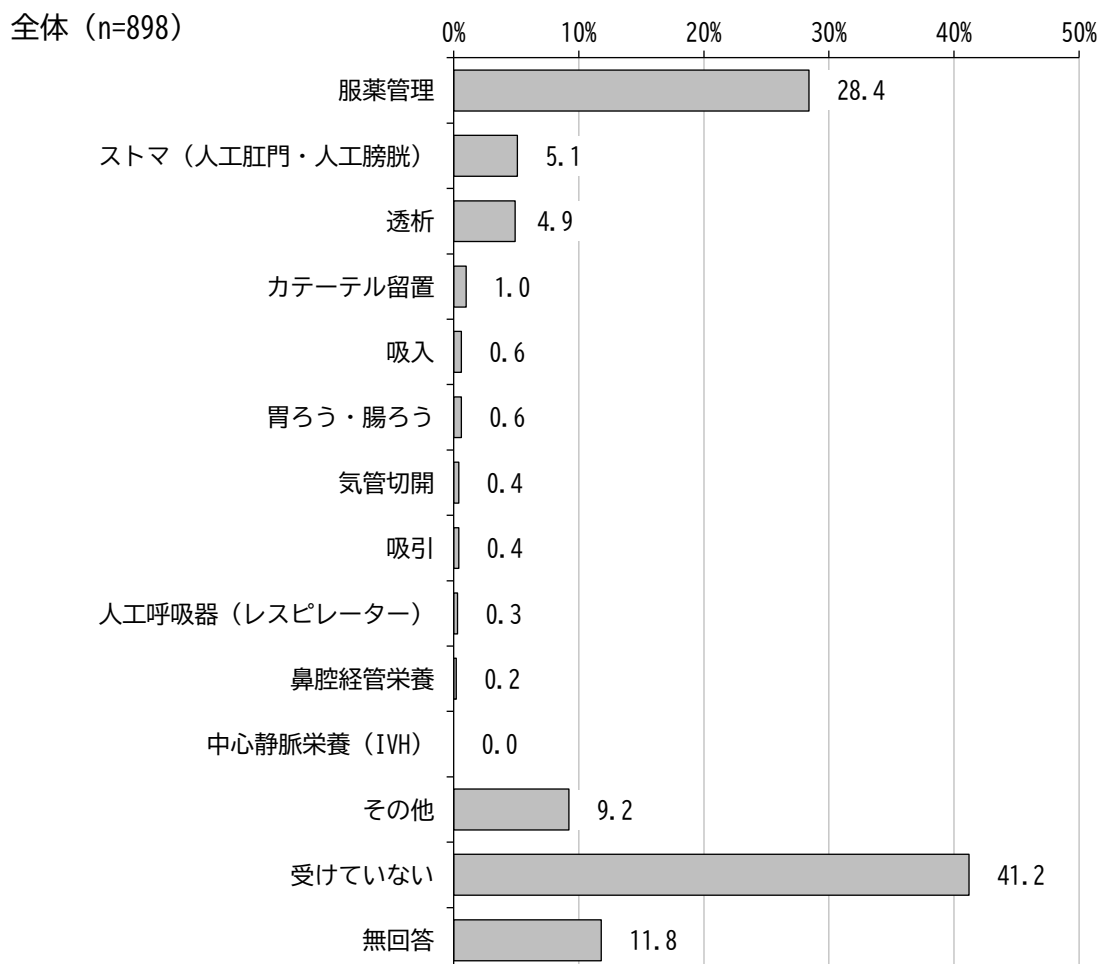
精神障害者保健福祉手帳の等級については、「2級」が 54.3%と最も多く、次いで「3級」が 31.9%、「1級」が 9.6%となっています。



問5 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

現在受けている医療的ケアについては、「受けていない」が41.2%と最も多く、次いで「服薬管理」が28.4%、「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」が5.1%となっています。

障がい種別でみると、精神障がい等では他の障がいに比べて服薬管理の割合が特に多くなっています。



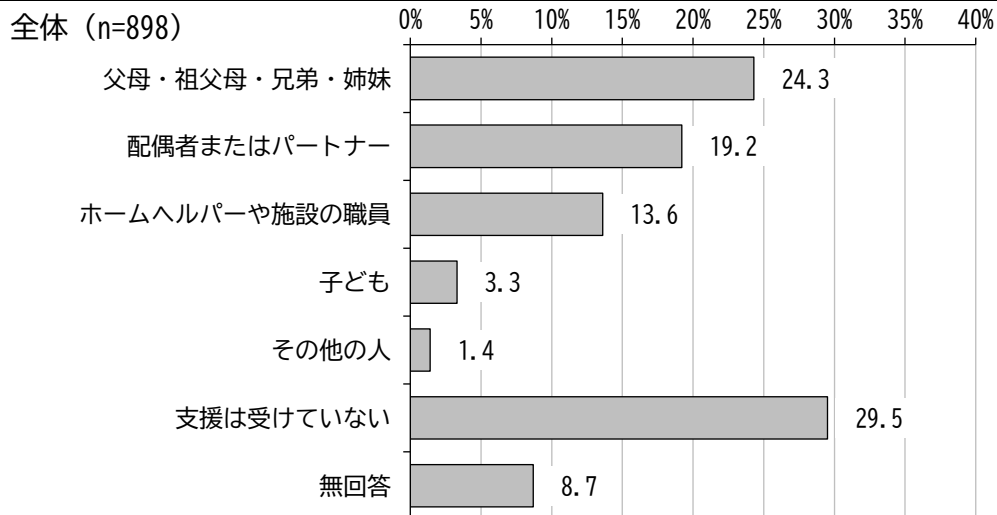
■障がい種別

単位：%		気管切開	人工呼吸器（レスピレーター）	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養（IVH）	透析	カテーテル留置	ストマ（人工肛門・人工膀胱）	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全体（n=898）		0.4	0.3	0.6	0.4	0.6	0.2	0.0	4.9	1.0	5.1	28.4	9.2	41.2	11.8
障がい種別	身体障がい（n=490）	0.8	0.6	1.0	0.6	1.0	0.4	0.0	8.6	1.8	9.4	24.1	9.8	39.0	9.2
	知的障がい（n=217）	0.9	0.9	0.5	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	5.5	52.1	10.1
	精神障がい等（n=220）	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	46.8	12.7	35.0	6.8
	障害児通所支援（n=102）	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	21.6	7.8	60.8	7.8
	その他（n=111）	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	8.1	2.7	5.4	46.8	14.4	21.6	4.5

問6 あなたを支援（介助）している人は主に誰ですか。（○は1つだけ）

主な支援（介助）者については、「支援は受けていない」が29.5%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が24.3%、「配偶者またはパートナー」が19.2%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいと精神障がい等では「支援は受けていない」が最も多くなっています。一方、知的障がい、障害児通所支援では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が最も多くなり、対象となる障がいの年齢層や同居者によって主な支援者に違いがみられます。



■障がい種別

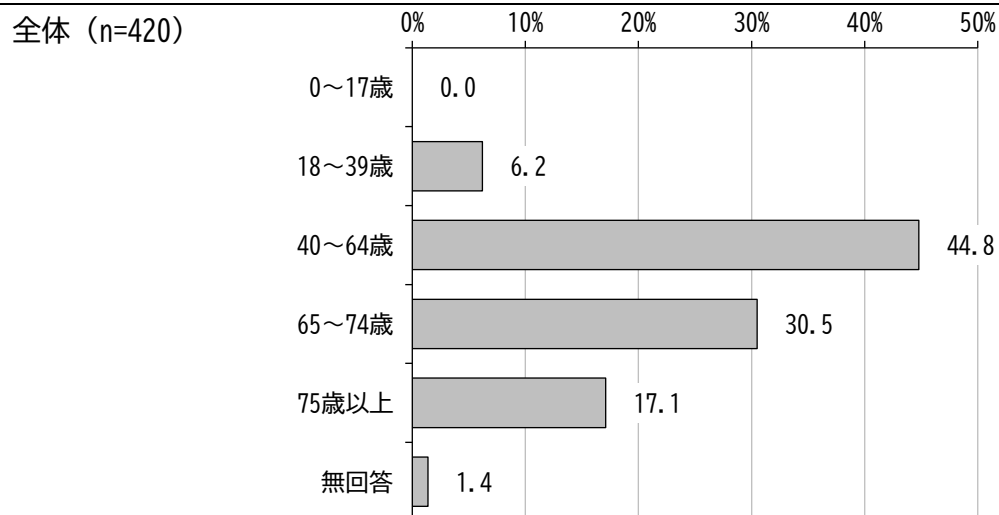
単位：%		兄 父 弟 母 ・ 姉 祖 妹 父 母 ・	パ ー ト ナ ー ま た は	配 偶 者	子 ど も	や 施 設 の 職 員	ホ ー ム ヘ ル パ ー	そ の 他 の 人	な い 支 援 は 受 け て い ない	無 回 答
全体（n=898）		24.3	19.2	3.3	13.6	1.4	29.5	8.7		
障 が い 種 別	身体障がい（n=490）	12.9	26.7	5.1	9.8	1.2	36.5	7.8		
	知的障がい（n=217）	51.6	1.8	0.5	34.1	1.4	6.9	3.7		
	精神障がい等（n=220）	29.1	16.8	1.4	13.2	0.9	33.6	5.0		
	障害児通所支援（n=102）	72.5	3.9	0.0	8.8	2.9	6.9	4.9		
	その他（n=111）	25.2	27.0	4.5	23.4	0.0	13.5	6.3		

【問6で「父母・祖父母・兄弟・姉妹」「配偶者またはパートナー」「子ども」を選択した人にお答えください。】

問7 あなたを支援（介助）してくれる家族で、主な人の年齢、健康状態、勤務状況をお答えください。（○は1つだけ）

支援（介助）者の年齢については、「40～64 歳」が 44.8%と最も多く、次いで「65～74 歳」が 30.5%、「75 歳以上」が 17.1%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「65～74 歳」、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援ではいずれも「40～64 歳」が最も多くなっています。

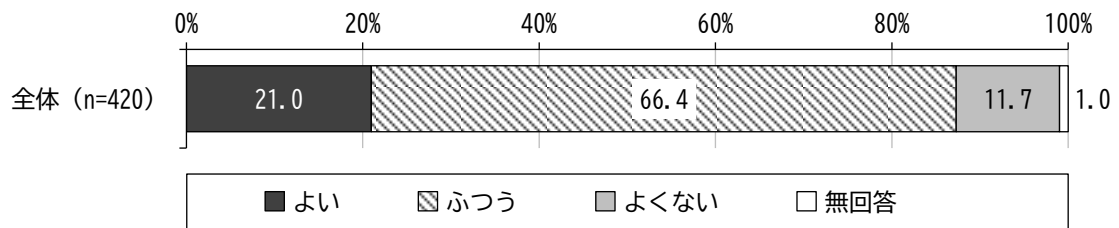


■障がい種別

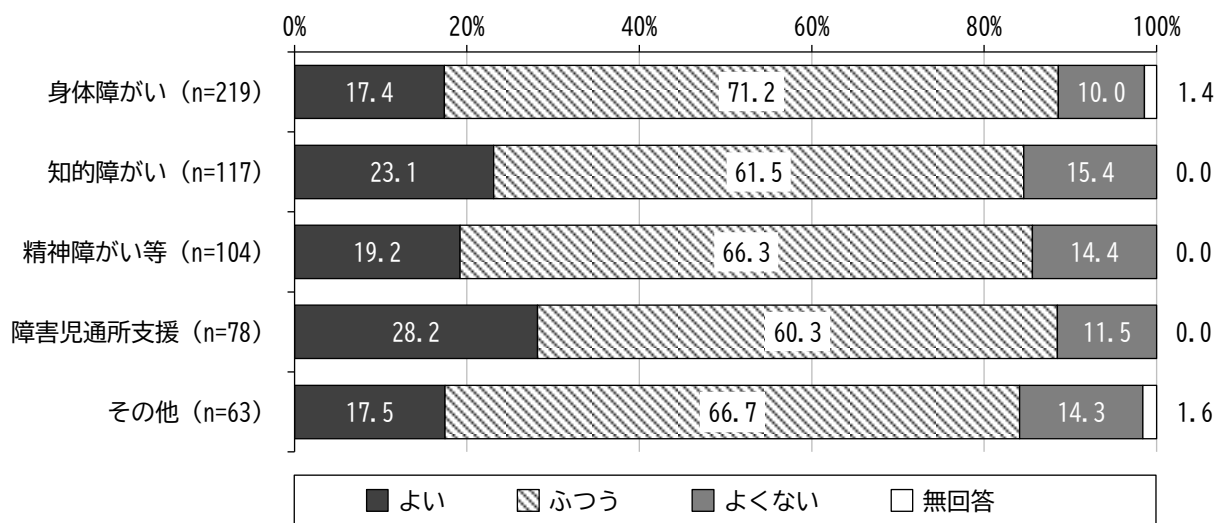
単位：%		0 ～ 1 7 歳	1 ～ 3 9 歳	4 ～ 6 4 歳	6 ～ 5 7 4 歳	7 ～ 5 歳 以上	無 回 答
全体（n=420）		0.0	6.2	44.8	30.5	17.1	1.4
障 が い 種 別	身体障がい（n=219）	0.0	3.2	35.6	38.8	20.1	2.3
	知的障がい（n=117）	0.0	9.4	54.7	20.5	13.7	1.7
	精神障がい等（n=104）	0.0	2.9	51.0	24.0	20.2	1.9
	障害児通所支援（n=78）	0.0	16.7	62.8	12.8	5.1	2.6
	その他（n=63）	0.0	3.2	52.4	27.0	15.9	1.6

支援（介助）者の健康状態については、「ふつう」が 66.4%と最も多く、次いで「よい」が 21.0%、「よくない」が 11.7%となっています。

障がい種別でみると、いずれの障がい種別においても「ふつう」が6割以上を占め、最も多くなっています。

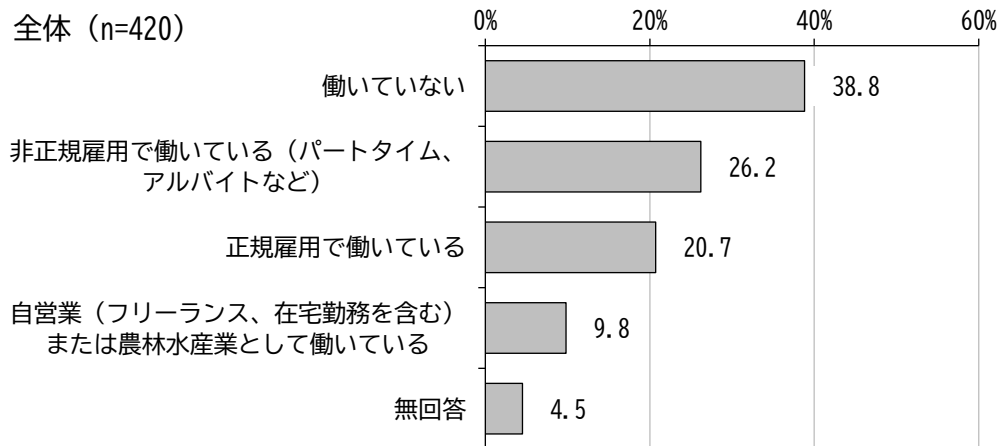


■障がい種別



支援（介助）者の就労状況については、「働いていない」が 38.8%と最も多く、次いで「非正規雇用で働いている（パートタイム、アルバイトなど）」が 26.2%、「正規雇用で働いている」が 20.7%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「働いていない」が他の種別に比べて多くなっています。また、障害児通所支援では「非正規雇用で働いている」が 41.0%で最も多くなっています。

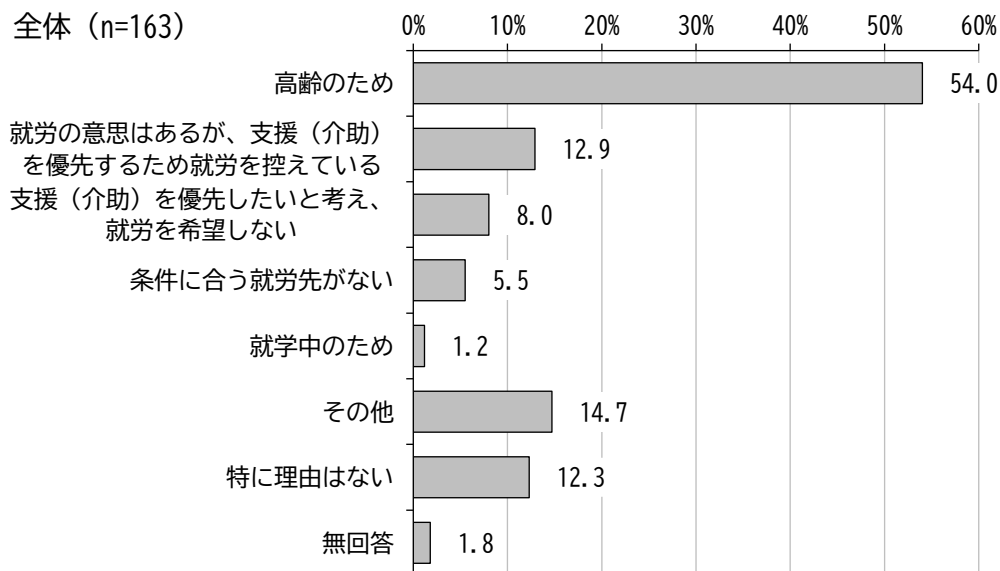


■障がい種別

単位：%		正規雇用で働いている	非正規雇用（パートタイム、アルバイトなど）	自営業（フリーランス、在宅勤務を含む）または農林水産業として働いている	働いていない	無回答
全体（n=420）		20.7	26.2	9.8	38.8	4.5
障がい種別	身体障がい（n=219）	16.9	25.6	8.7	43.4	5.5
	知的障がい（n=117）	17.1	33.3	9.4	35.0	5.1
	精神障がい等（n=104）	26.0	20.2	10.6	41.3	1.9
	障害児通所支援（n=78）	20.5	41.0	12.8	20.5	5.1
	その他（n=63）	22.2	17.5	7.9	44.4	7.9

支援（介助）者が働いていない理由については、「高齢のため」が 54.0%と最も多く、次いで「就労の意思はあるが、支援（介助）を優先するため就労を控えている」が 12.9%、「特に理由はない」が 12.3%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいと精神障がい等では「高齢のため」が半数を超えて最も多くなっています。



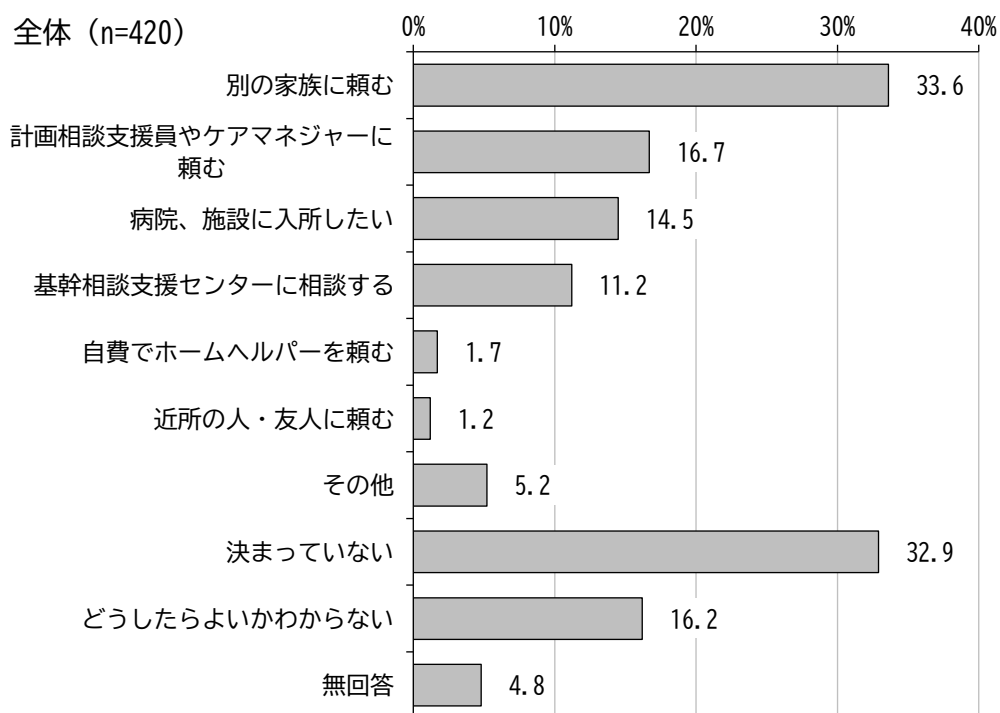
■障がい種別

単位：%		と支援（介助）を考え、就労を希望しない	就労（介助）の意思はあるが、支援を控えている	高齢のため	就学中のため	条件に合う就労先がない	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=163)		8.0	12.9	54.0	1.2	5.5	14.7	12.3	1.8
障がい種別	身体障がい (n=95)	8.4	12.6	54.7	1.1	2.1	8.4	15.8	2.1
	知的障がい (n=41)	12.2	17.1	46.3	2.4	12.2	26.8	9.8	0.0
	精神障がい等 (n=43)	4.7	16.3	58.1	0.0	7.0	18.6	7.0	2.3
	障害児通所支援 (n=16)	25.0	18.8	25.0	6.3	12.5	37.5	12.5	0.0
	その他 (n=28)	7.1	25.0	53.6	0.0	7.1	10.7	3.6	0.0

問8 あなたを主に支援（介助）している人が、万が一、支援できなくなった場合、どのような見通しを立てていますか。（あてはまるものすべてに○）

主な支援（介助）者が支援できなくなった場合の見通しについては、「別の家族に頼む」が33.6%と最も多く、次いで「決まっていない」が32.9%、「計画相談支援員やケアマネジャーに頼む」が16.7%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「決まっていない」、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では「別の家族に頼む」が最も多くなっています。



■障がい種別

単位：%		別の家族に頼む	近所の人・友人に頼む	基幹相談支援センターに相談する	計画相談支援員やケアマネジャーに頼む	自費でホームヘルパーを頼む	病院、施設に入所したい	その他	決まっていない	どうしたらよいかわからない	無回答
全体（n=420）		33.6	1.2	11.2	16.7	1.7	14.5	5.2	32.9	16.2	4.8
障がい種別	身体障がい（n=219）	27.9	0.5	7.8	13.7	1.4	16.4	5.0	36.5	14.2	6.4
	知的障がい（n=117）	41.0	2.6	17.9	23.1	0.9	14.5	5.1	26.5	15.4	4.3
	精神障がい等（n=104）	37.5	1.9	11.5	18.3	1.9	10.6	5.8	34.6	22.1	2.9
	障害児通所支援（n=78）	53.8	1.3	17.9	20.5	1.3	14.1	2.6	28.2	15.4	2.6
	その他（n=63）	17.5	0.0	9.5	17.5	1.6	27.0	6.3	36.5	19.0	7.9

■障がいの程度・重度性別

障がいの程度・重度性別でみると、身体障害者手帳の各等級などで「決まっていない」と「別の家族に頼む」が上位を占めていますが、療育手帳Aの1や○Aの1では「計画相談支援員やケアマネジャーに頼む」が3割台後半と、専門職を頼る割合が比較的多くなっています。

単位：%			別の家族に頼む	近所の人・友人に頼む	基幹相談支援センターに頼む	計画相談支援員やケアマネジャーに頼む	自費でホームヘルパーを頼む	病院、施設に入所したい	その他	決まっていない	どうしたらよいかかわからない	無回答
全体 (n=420)			33.6	1.2	11.2	16.7	1.7	14.5	5.2	32.9	16.2	4.8
障がいの程度・重度性別	身体障害者手帳	1級 (n=76)	31.6	0.0	6.6	13.2	2.6	18.4	6.6	34.2	9.2	7.9
		2級 (n=52)	30.8	0.0	7.7	17.3	0.0	13.5	1.9	30.8	21.2	7.7
		3級 (n=22)	31.8	0.0	18.2	27.3	0.0	18.2	4.5	31.8	9.1	4.5
		4級 (n=48)	16.7	2.1	8.3	10.4	2.1	18.8	2.1	50.0	14.6	4.2
		5級 (n=6)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7
		6級 (n=8)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	37.5	0.0
	療育手帳	○A (n=9)	33.3	0.0	22.2	11.1	0.0	33.3	0.0	22.2	11.1	11.1
		○Aの1 (n=19)	52.6	5.3	10.5	36.8	0.0	5.3	5.3	15.8	21.1	5.3
		○Aの2 (n=13)	15.4	0.0	15.4	30.8	0.0	53.8	15.4	30.8	0.0	0.0
		Aの1 (n=13)	46.2	0.0	30.8	38.5	0.0	23.1	0.0	15.4	15.4	7.7
		Aの2 (n=3)	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
		Bの1 (n=28)	42.9	3.6	7.1	17.9	3.6	7.1	3.6	21.4	21.4	7.1
		Bの2 (n=30)	43.3	0.0	26.7	13.3	0.0	3.3	6.7	36.7	16.7	0.0
	精神障害者保健福祉手帳	1級 (n=8)	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0
		2級 (n=27)	48.1	3.7	18.5	25.9	3.7	7.4	7.4	37.0	14.8	0.0
		3級 (n=17)	35.3	0.0	5.9	29.4	5.9	5.9	0.0	29.4	23.5	0.0

■主な介助者別

主な介助者別でみると、父母・祖父母・兄弟・姉妹の支援を受けている人では「別の家族に頼む」が 40.4%で最も多くなっていますが、「決まっていない」も 32.1%となっています。「配偶者またはパートナー」の支援を受けている人では「決まっていない」が 34.9%で最も多く、「別の家族に頼む」が 26.2%となっています。

単位：％		別の家族に頼む	近所の人・友人に頼む	基幹に相談する	計画相談支援員やケアマネジャーに頼む	自費でホームヘルパーを頼む	病院、施設に入所した	その他	決まっていない	決まっています	無回答
全体（n=420）		33.6	1.2	11.2	16.7	1.7	14.5	5.2	32.9	16.2	4.8
介助者別	父母・祖父母・兄弟・姉妹（n=218）	40.4	1.4	15.6	20.2	0.5	11.0	6.0	32.1	15.6	3.2
	配偶者またはパートナー（n=172）	26.2	0.6	7.6	12.2	3.5	18.6	4.7	34.9	16.9	6.4
	子ども（n=30）	26.7	3.3	0.0	16.7	0.0	16.7	3.3	26.7	16.7	6.7

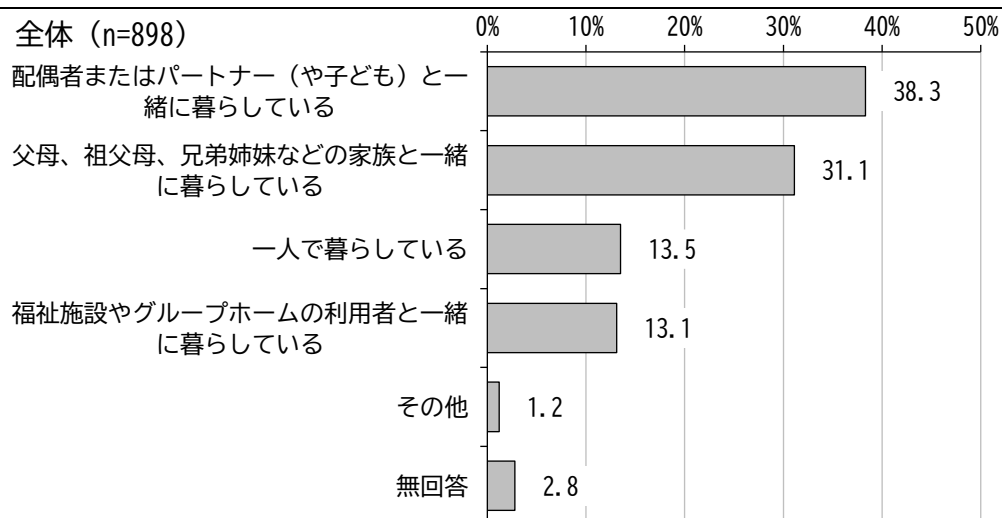
※「ホームヘルパーや施設の職員」「その他の人」「支援は受けていない」は n=0 のため省略。

2. 住まいや暮らしについてお聞きします。

問9 あなたは現在どのように暮らしていますか。((1)と(2)それぞれ○は1つだけ)

一緒に暮らしている人については、「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が 38.3%と最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が 31.1%、「一人で暮らしている」が 13.5%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」、精神障がい等、知的障がい、障害児通所支援では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「福祉施設やグループホームの利用者」が他の種別に比べて多くなっています。

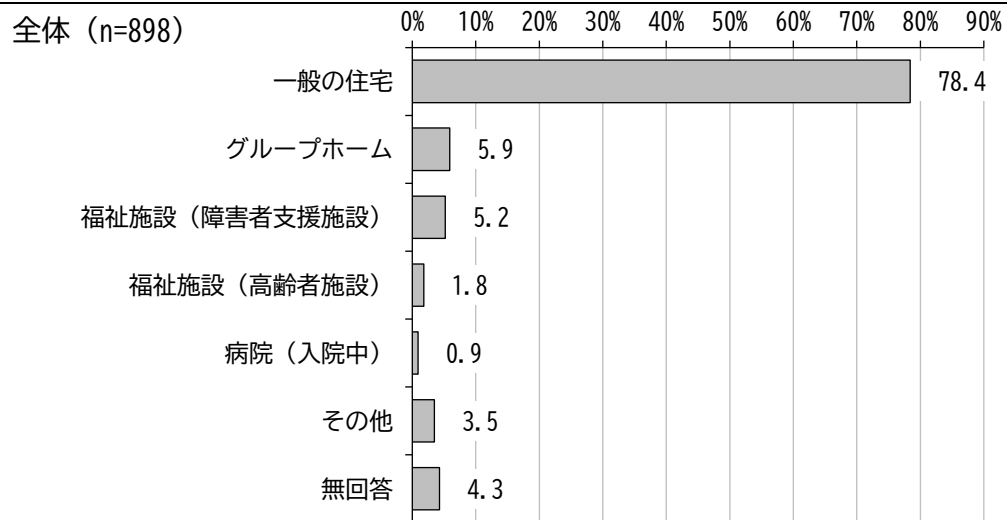


■障がい種別

単位：%		一人で暮らしている	配偶者または子どもと一緒に暮らしている（や子ども）	家族と祖父母、兄弟姉妹などの	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている	その他	無回答
全体（n=898）		13.5	38.3	31.1	13.1	1.2	2.8
障がい種別	身体障がい（n=490）	17.3	51.8	16.9	9.4	1.0	3.5
	知的障がい（n=217）	1.4	3.7	57.6	34.6	0.5	2.3
	精神障がい等（n=220）	15.9	29.1	40.0	11.8	1.8	1.4
	障害児通所支援（n=102）	3.9	5.9	81.4	6.9	0.0	2.0
	その他（n=111）	9.0	34.2	27.9	23.4	0.9	4.5

暮らしている場所については、「一般の住宅」が78.4%と最も多く、次いで「グループホーム」が5.9%、「福祉施設（障害者支援施設）」が5.2%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別において「一般の住宅」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「グループホーム」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

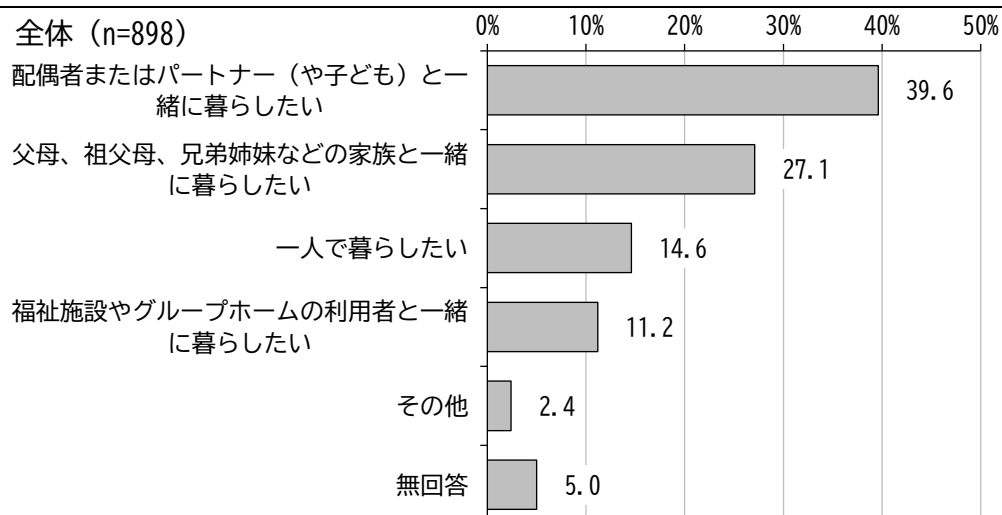
単位：%		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	病院（入院中）	その他	無回答
全体 (n=898)		78.4	5.9	5.2	1.8	0.9	3.5	4.3
障がい種別	身体障がい (n=490)	80.4	1.8	5.3	2.0	1.0	4.3	5.1
	知的障がい (n=217)	58.1	20.3	13.8	0.0	0.5	1.4	6.0
	精神障がい等 (n=220)	81.4	7.3	1.8	1.4	0.5	4.5	3.2
	障害児通所支援 (n=102)	86.3	6.9	0.0	0.0	0.0	1.0	5.9
	その他 (n=111)	66.7	7.2	14.4	2.7	0.9	3.6	4.5

問 10 あなたは今後3年以内に、どのような暮らしをしたいと思いますか。

((1) と (2) それぞれ○は1つだけ)

一緒に暮らしたい人については、「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が 39.6%と最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が 27.1%、「一人で暮らしたい」が 14.6%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」、知的障がい、障害児通所支援では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

単位：%		一人で暮らしたい	配偶者または子どもと一緒に暮らしたい	父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい	その他	無回答
全体 (n=898)		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0
障がい種別	身体障がい (n=490)	15.3	53.1	15.5	8.4	1.8	5.9
	知的障がい (n=217)	6.9	4.1	51.6	29.5	2.8	5.1
	精神障がい等 (n=220)	20.0	32.7	30.5	11.4	2.7	2.7
	障害児通所支援 (n=102)	8.8	6.9	68.6	6.9	2.0	6.9
	その他 (n=111)	7.2	36.9	24.3	21.6	2.7	7.2

■年齢別

0～39 歳では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」、40 歳以上では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が最も多くなっており、年齢があがるにつれて「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が多くなっています。

単位：％		一人で暮らしたい	一人暮らしに暮らしたい	配偶者またはパートナーと一緒に暮らしたい	姉妹、祖母、兄弟と一緒に暮らしたい	父母、祖母、兄弟と一緒に暮らしたい	姉妹、祖母、兄弟と一緒に暮らしたい	ホム施設やグループ	その他	無回答
全体（n=898）		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0			
年齢別	0～17歳（n=56）	0.0	7.1	85.7	1.8	1.8	3.6			
	18～39歳（n=148）	14.2	10.8	56.8	11.5	2.7	4.1			
	40～64歳（n=335）	15.8	31.3	27.8	17.0	2.4	5.7			
	65～74歳（n=206）	18.4	60.2	4.9	8.7	2.4	5.3			
	75歳以上（n=125）	12.0	72.8	4.0	4.8	2.4	4.0			

■回答者別

回答者別でみると、本人では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」、本人の家族では「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」、家族以外の支援（介助）者では「福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。

単位：％		一人で暮らしたい	配偶者または子どもと一緒に暮らしたい	姉妹、祖母、父母、兄弟と一緒に暮らしたい	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい	その他	無回答
全体（n=898）		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0
回答者別	本人（調査票の宛名の人） （n=522）	20.7	51.1	17.8	3.8	2.3	4.2
	本人の家族（n=213）	4.2	23.0	57.7	6.1	2.3	6.6
	家族以外の支援（介助）者 （n=65）	4.6	3.1	7.7	80.0	3.1	1.5

■主な介助者別

主な介助者別でみると、おおむね現在の介助者と一緒に暮らしていききたいという傾向がみられますが、支援は受けていないでは「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」、その他の人では「一人で暮らしたい」が最も多くなっています。

単位：％		一人で暮らしたい	一人暮らしに暮らしたい	配偶者またはパートナーと一緒に暮らしたい	姉妹、祖母、父母、兄弟と一緒に暮らしたい	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい	その他	無回答
全体（n=898）		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0	
主な 介 助 者 別	父母・祖父母・兄弟・姉妹（n=218）	8.3	3.7	77.1	3.2	1.8	6.0	
	配偶者またはパートナー（n=172）	1.7	91.9	1.2	1.7	0.6	2.9	
	子ども（n=30）	13.3	73.3	0.0	6.7	0.0	6.7	
	ホームヘルパーや施設の職員（n=122）	14.8	5.7	9.8	64.8	3.3	1.6	
	その他の人（n=13）	53.8	0.0	15.4	0.0	7.7	23.1	
	支援は受けていない（n=265）	25.3	48.3	16.2	1.5	4.2	4.5	

■現在の暮らし方別

現在の暮らし方別でみると、現在の暮らし方と同様に暮らしていきたいという傾向がみられます。

単位：％		一人で暮らしたい	一人暮らしと一緒に暮らしたい	配偶者または子どもと一緒に暮らしたい	姉妹など祖父母、兄弟と一緒に暮らしたい	父母、祖母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい	その他	無回答
全体（n=898）		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0		
現在の暮らし方別	一人で暮らしている（n=121）	78.5	8.3	1.7	4.1	3.3	4.1		
	配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている（n=344）	1.7	94.2	1.5	0.9	0.6	1.2		
	父母、祖母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている（n=279）	6.5	4.7	81.4	1.4	1.8	4.3		
	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている（n=118）	9.3	4.2	6.8	75.4	2.5	1.7		
	その他（n=11）	9.1	9.1	9.1	0.0	63.6	9.1		

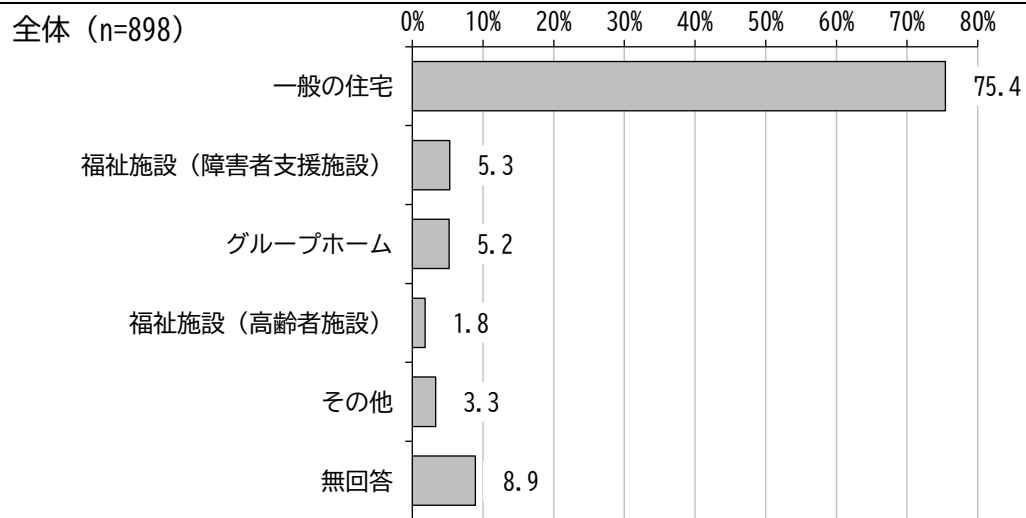
■居住形態別

居住形態別でみると、一般の住宅、病院（入院中）では「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」、グループホーム、福祉施設（障害者支援施設、高齢者施設）では「福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。

単位：％		一人で暮らしたい	一人暮らしと一緒に暮らしたい	配偶者または子どもと一緒に暮らしたい	姉妹など祖父母、兄弟と一緒に暮らしたい	父母、祖母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい	その他	無回答
全体（n=898）		14.6	39.6	27.1	11.2	2.4	5.0		
居住形態別	一般の住宅（n=704）	14.5	47.7	31.1	1.6	2.0	3.1		
	グループホーム（n=53）	15.1	1.9	11.3	67.9	1.9	1.9		
	福祉施設（障害者支援施設）（n=47）	6.4	0.0	4.3	83.0	4.3	2.1		
	福祉施設（高齢者施設）（n=16）	6.3	25.0	0.0	68.8	0.0	0.0		
	病院（入院中）（n=8）	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0		
	その他（n=31）	41.9	22.6	22.6	0.0	9.7	3.2		

暮らしたい場所については、「一般の住宅」が 75.4%と最も多く、次いで「福祉施設（障害者支援施設）」が 5.3%、「グループホーム」が 5.2%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別において「一般の住宅」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「グループホーム」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

単位：%		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体 (n=898)		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
障がい種別	身体障がい (n=490)	77.6	2.0	5.3	1.8	3.9	9.4
	知的障がい (n=217)	58.1	18.4	12.4	0.0	1.8	9.2
	精神障がい等 (n=220)	76.8	7.7	2.7	1.8	4.5	6.4
	障害児通所支援 (n=102)	83.3	6.9	2.0	0.0	0.0	7.8
	その他 (n=111)	64.0	8.1	15.3	1.8	3.6	7.2

■回答者別

回答者別でみると、本人、本人の家族では「一般の住宅」、家族以外の支援（介助）者では「グループホーム」が最も多くなっています。また、家族以外の支援（介助）者では「福祉施設（障害者支援施設）」が他の回答者に比べて多くなっています。

単位：％		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体（n=898）		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
回答者別	本人（調査票の宛名の人）（n=522）	83.5	1.7	1.0	1.7	4.4	7.7
	本人の家族（n=213）	80.8	2.8	2.8	1.9	1.9	9.9
	家族以外の支援（介助）者（n=65）	10.8	41.5	40.0	3.1	0.0	4.6

■年齢別

年齢別でみると、すべての年代で「一般の住宅」が最も多くなっていますが、18～39 歳、40～64 歳では「グループホーム」を希望する割合が他の年代に比べてやや多くなっています。

単位：％		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体（n=898）		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
年齢別	0～17歳（n=56）	89.3	1.8	0.0	0.0	1.8	7.1
	18～39歳（n=148）	79.1	8.1	4.1	0.0	2.7	6.1
	40～64歳（n=335）	69.3	7.2	9.9	1.2	3.3	9.3
	65～74歳（n=206）	75.7	3.4	3.4	2.9	5.3	9.2
	75歳以上（n=125）	82.4	0.8	1.6	4.8	0.8	9.6

■主な介助者別

主な介助者別でみると、おおむねどの区分においても「一般の住宅」が多くなっています。一方、ホームヘルパーや施設の職員が主な介助者である場合は、「グループホーム」「福祉施設（障害者支援施設）」が最も多くなっています。

単位：％		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体（n=898）		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
主な介助者別	父母・祖父母・兄弟・姉妹（n=218）	84.9	1.8	1.4	0.0	4.1	7.8
	配偶者またはパートナー（n=172）	84.9	0.0	2.3	1.7	1.7	9.3
	子ども（n=30）	86.7	0.0	0.0	3.3	0.0	10.0
	ホームヘルパーや施設の職員（n=122）	27.9	30.3	30.3	7.4	1.6	2.5
	その他の人（n=13）	69.2	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1
	支援は受けていない（n=265）	83.8	0.4	0.4	1.1	4.5	9.8

■現在の暮らし方別

現在の暮らし方別でみると、現在の暮らし方と同様の場所で暮らしていきたいという傾向がみられます。

単位：％		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体（n=898）		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
現在の暮らし方別	一人で暮らしている（n=121）	85.1	0.8	0.8	1.7	8.3	3.3
	配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている（n=344）	87.8	0.3	0.9	0.9	1.7	8.4
	父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている（n=279）	86.4	1.4	1.1	0.0	2.5	8.6
	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている（n=118）	16.9	34.7	33.9	9.3	1.7	3.4
	その他（n=11）	54.5	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0

■居住形態別

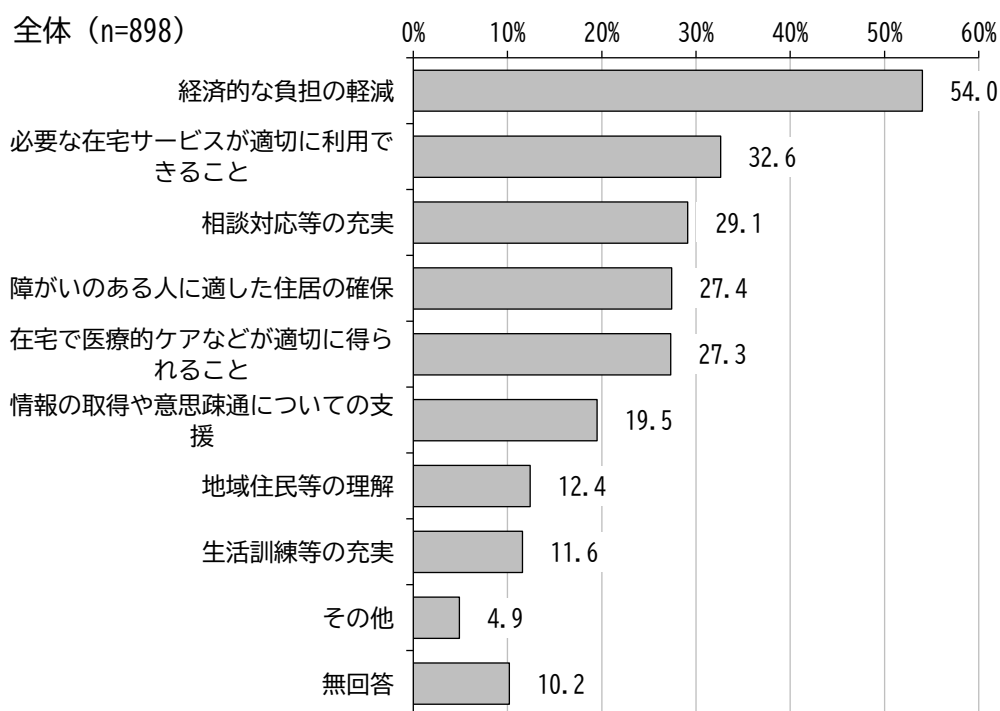
居住形態別でみると、おおむね現在の居住形態と同様の形態で暮らしていきたいという傾向がみられます。

単位：％		一般の住宅	グループホーム	福祉施設（障害者支援施設）	福祉施設（高齢者施設）	その他	無回答
全体（n=898）		75.4	5.2	5.3	1.8	3.3	8.9
居住形態別	一般の住宅（n=704）	90.6	0.9	0.9	0.7	0.7	6.3
	グループホーム（n=53）	26.4	69.8	0.0	0.0	3.8	0.0
	福祉施設（障害者支援施設）（n=47）	8.5	2.1	85.1	0.0	0.0	4.3
	福祉施設（高齢者施設）（n=16）	18.8	0.0	0.0	68.8	0.0	12.5
	病院（入院中）（n=8）	12.5	0.0	12.5	0.0	50.0	25.0
	その他（n=31）	29.0	3.2	0.0	0.0	58.1	9.7

問 11 希望する暮らしを送るためには、どのような支援（介助）があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

希望する暮らしを送るために必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が 54.0%と最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 32.6%、「相談対応等の充実」が 29.1%となっています。

障がい種別でみると、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では「相談対応等の充実」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

単位：%		在宅で医療的ケアなどが	障がいのある人に適した住居の確保	必要に在宅サービスが利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	情報の取得や意思疎通	その他	無回答
全体（n=898）		27.3	27.4	32.6	11.6	54.0	29.1	12.4	19.5	4.9	10.2
障がい種別	身体障がい（n=490）	35.3	28.0	36.9	8.0	52.4	20.0	7.6	13.1	3.9	12.9
	知的障がい（n=217）	15.2	41.0	33.2	19.8	45.2	44.7	17.5	32.7	5.5	7.4
	精神障がい等（n=220）	22.3	22.7	28.6	14.5	64.1	40.5	18.6	23.2	5.9	6.4
	障害児通所支援（n=102）	12.7	32.4	33.3	27.5	54.9	54.9	19.6	44.1	2.0	7.8
	その他（n=111）	30.6	45.9	36.0	15.3	53.2	31.5	14.4	24.3	9.0	8.1

■主な介助者別

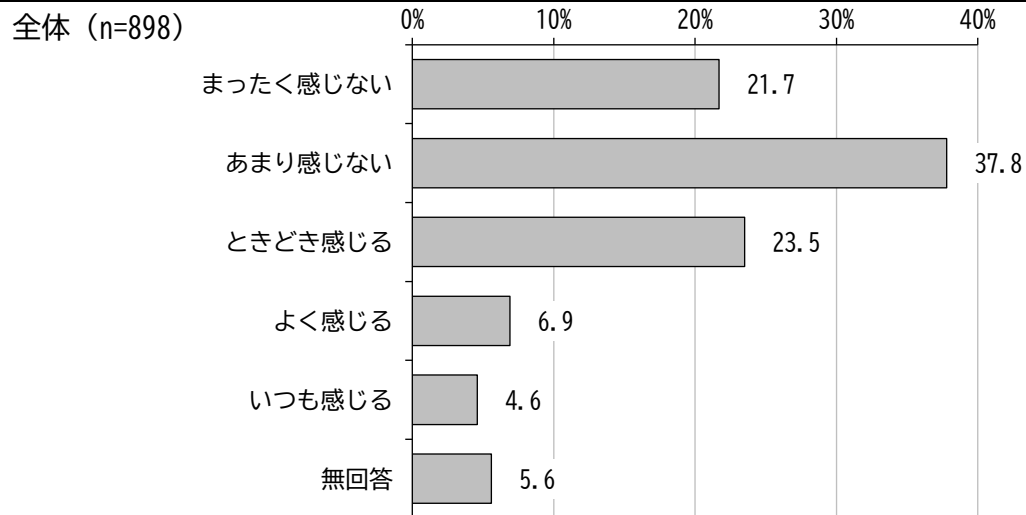
主な介助者別でみると、親族等が介助者の場合は「経済的な負担の軽減」、ホームヘルパーや施設の職員では「障がいのある人に適した住居の確保」が最も多くなっています。

単位：％		在宅 に医療 的ケア などが とられ ること が適切 である こと	障がい のある 人に適 した住 居の確 保	必要に 応じた 在宅サ ービス の提供 が適切 である こと	生活訓 練等の 充実	経済的 な負担 の軽減	相談対 応等の 充実	地域住 民等の 理解	情報の 取得や 意思疎 通	その他	無回答
全体（n=898）		27.3	27.4	32.6	11.6	54.0	29.1	12.4	19.5	4.9	10.2
主な 介助者 別	父母・祖父母・兄弟・姉妹 （n=218）	17.9	30.7	32.6	19.3	58.7	43.1	18.3	31.2	2.3	6.9
	配偶者またはパートナー （n=172）	45.3	23.3	43.6	8.1	51.2	24.4	8.7	11.0	5.2	8.7
	子ども（n=30）	43.3	30.0	30.0	6.7	46.7	6.7	3.3	10.0	3.3	10.0
	ホームヘルパーや施設の職員 （n=122）	23.8	52.5	26.2	18.9	39.3	33.6	17.2	26.2	8.2	2.5
	その他の人（n=13）	53.8	46.2	30.8	15.4	61.5	30.8	23.1	23.1	0.0	23.1
	支援は受けていない （n=265）	21.5	15.5	29.4	5.7	62.6	23.8	9.1	14.7	5.3	13.2

問 12 あなたは普段、どの程度「孤独」を感じることがありますか。(○は1つだけ)

普段「孤独」を感じる程度については、「あまり感じない」が37.8%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が23.5%、「まったく感じない」が21.7%となっています。

障がい種別でみると、精神障がい等では「ときどき感じる」が最も多くなっており、「よく感じる」とともに他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

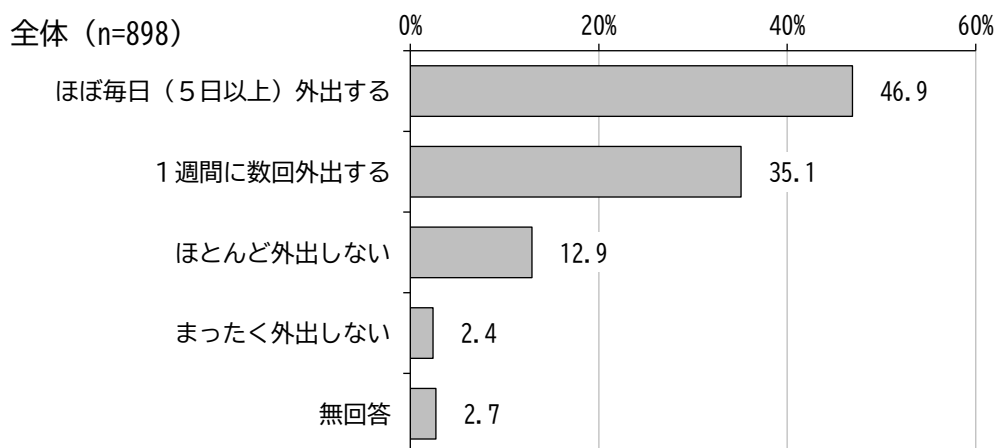
単位：%		まったく感じない	あまり感じない	ときどき感じる	よく感じる	いつも感じる	無回答
全体 (n=898)		21.7	37.8	23.5	6.9	4.6	5.6
障がい種別	身体障がい (n=490)	24.5	38.2	22.0	5.7	3.9	5.7
	知的障がい (n=217)	23.0	42.9	20.7	2.3	2.3	8.8
	精神障がい等 (n=220)	12.3	28.2	32.7	15.0	8.6	3.2
	障害児通所支援 (n=102)	19.6	38.2	26.5	5.9	2.0	7.8
	その他 (n=111)	18.9	30.6	25.2	9.9	3.6	11.7

3. 日中活動や就労についてお聞きします。

問 13 あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。(○は1 つだけ)

1 週間の外出頻度については、「ほぼ毎日（5 日以上）外出する」が 46.9%と最も多く、次いで「1 週間に数回外出する」が 35.1%、「ほとんど外出しない」が 12.9%となっています。

障がい種別でみると、知的障がいと障害児通所支援では「ほぼ毎日（5 日以上）外出する」が 7 割以上を占め、多くなっています。精神障がい等でも「ほぼ毎日（5 日以上）外出する」が 44.5%で最も多くなっており、身体障がいでは「1 週間に数回外出する」が 41.6%で最も多くなっています。



■障がい種別

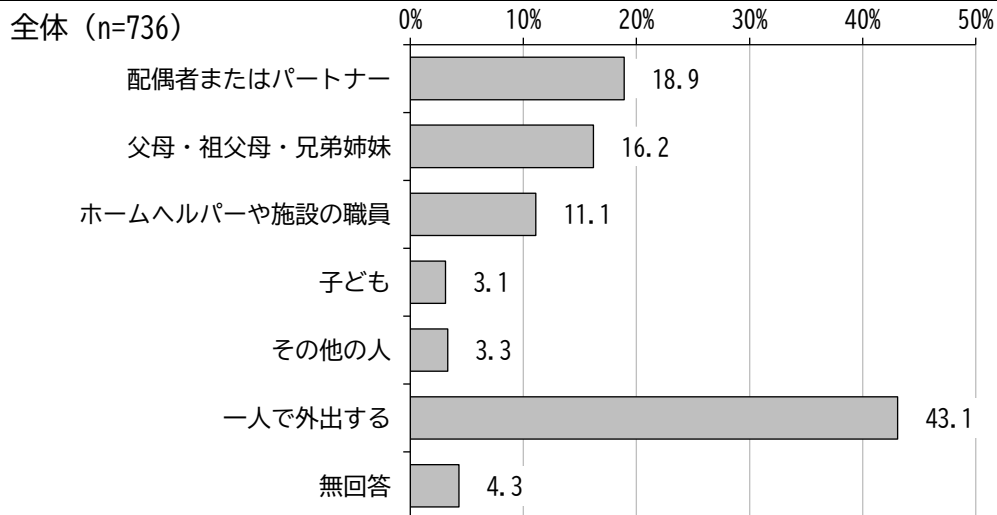
単位：%		ほぼ毎日（5 日以上）外出する	1 週間に数回外出する	ほとんど外出しない	まったく外出しない	無回答
全体（n=898）		46.9	35.1	12.9	2.4	2.7
障がい種別	身体障がい（n=490）	37.3	41.6	14.9	2.9	3.3
	知的障がい（n=217）	70.0	18.0	10.1	0.0	1.8
	精神障がい等（n=220）	44.5	36.4	14.1	3.6	1.4
	障害児通所支援（n=102）	74.5	17.6	6.9	1.0	0.0
	その他（n=111）	36.9	38.7	18.9	3.6	1.8

【問 13 で「ほぼ毎日（5 日以上）外出する」「1 週間に数回外出する」を選択した人がお答えください。】

問 14 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。（○は 1 つだけ）

外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」が 43.1%と最も多く、次いで「配偶者またはパートナー」が 18.9%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 16.2%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「一人で外出する」、知的障がい、障害児通所支援では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も多くなっています。また、身体障がいでは「配偶者またはパートナー」、知的障がいでは「ホームヘルパーや施設の職員」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

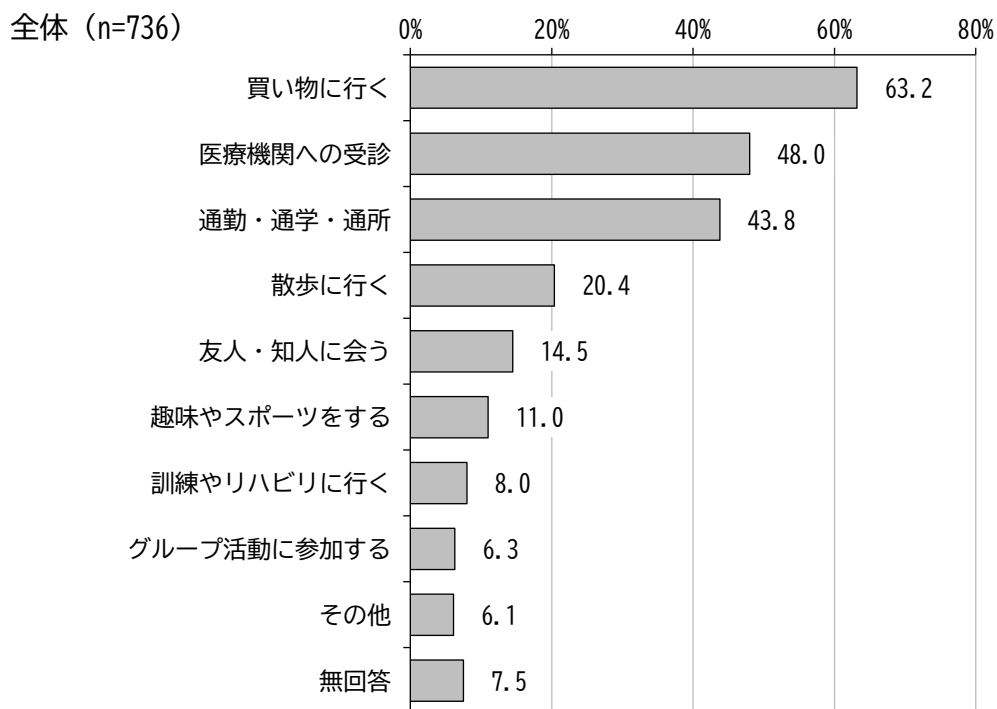
単位：%		兄 弟 姉 妹	父 母 ・ 祖 父 母 ・	パ ー ト ナ ー ま た は	配 偶 者	子 ど も	や 施 設 の 職 員	ホ ー ム ヘ ル パ ー	そ の 他 の 人	一 人 で 外 出 す る	無 回 答
全体（n=736）		16.2	18.9	3.1	11.1	3.3	43.1	4.3			
障 が い 種 別	身体障がい（n=387）	7.0	28.2	4.7	6.2	3.4	46.3	4.4			
	知的障がい（n=191）	33.0	1.0	0.5	32.5	4.2	24.1	4.7			
	精神障がい等（n=178）	13.5	12.4	3.4	10.1	5.1	52.2	3.4			
	障害児通所支援（n=94）	52.1	1.1	1.1	9.6	5.3	26.6	4.3			
	その他（n=84）	15.5	22.6	3.6	23.8	3.6	23.8	7.1			

【問 13 で「ほぼ毎日（5日以上）外出する」「1 週間に数回外出する」を選択した人がお答えください。】

問 15 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

外出する目的については、「買い物に行く」が 63.2%と最も多く、次いで「医療機関への受診」が 48.0%、「通勤・通学・通所」が 43.8%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「買い物に行く」、知的障がい、障害児通所支援では「通勤・通学・通所」が最も多くなっています。また、身体障がい、精神障がい等では「医療機関への受診」が他の種別に比べて多くなっています。



障がい種別

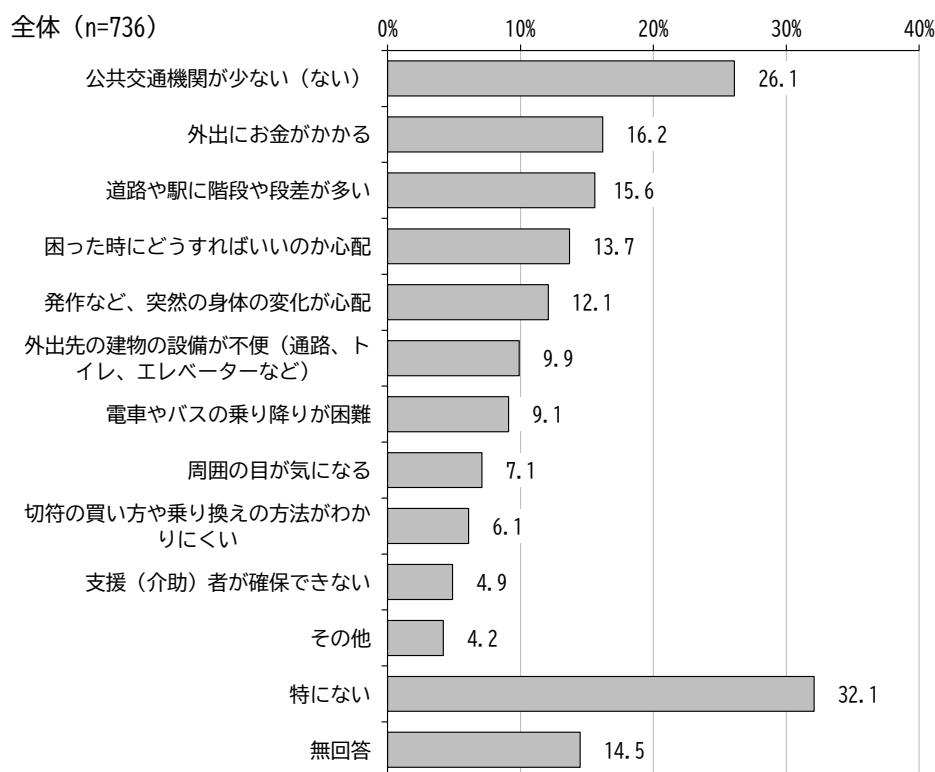
単位：%		通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答
全体 (n=736)		43.8	8.0	48.0	63.2	14.5	11.0	6.3	20.4	6.1	7.5
障がい種別	身体障がい (n=387)	30.7	10.3	51.9	65.9	15.5	12.4	4.7	18.3	5.2	8.5
	知的障がい (n=191)	69.6	6.3	31.9	49.7	13.1	6.8	14.1	16.8	8.4	5.2
	精神障がい等 (n=178)	47.8	5.1	60.7	68.5	14.6	12.9	5.6	27.0	6.2	7.9
	障害児通所支援 (n=94)	84.0	11.7	47.9	66.0	13.8	13.8	7.4	25.5	6.4	0.0
	その他 (n=84)	31.0	16.7	66.7	58.3	6.0	7.1	14.3	17.9	9.5	3.6

【問 13 で「ほぼ毎日（5日以上）外出する」「1 週間に数回外出する」を選択した人がお答えください。】

問 16 外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

外出する時に困ることについては、「特にない」が 32.1%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない（ない）」が 26.1%、「外出にお金がかかる」が 16.2%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「公共交通機関が少ない（ない）」が上位となっています。また、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では「困った時にどうすればいいのか心配」も多くなっています。



■障がい種別

単位：%		公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	支援（介助）者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	特にない	無回答
全体（n=736）		26.1	9.1	15.6	6.1	9.9	4.9	16.2	7.1	12.1	13.7	4.2	32.1	14.5
障がい種別	身体障がい（n=387）	25.1	9.8	20.7	3.9	10.6	3.9	14.5	4.1	10.9	8.3	4.1	30.2	18.3
	知的障がい（n=191）	24.1	8.9	11.0	11.5	11.0	9.4	11.5	11.5	14.1	20.9	5.8	36.6	8.4
	精神障がい等（n=178）	30.3	6.7	10.7	4.5	9.6	3.4	25.3	11.2	19.7	22.5	3.4	26.4	13.5
	障害児通所支援（n=94）	40.4	10.6	12.8	13.8	12.8	8.5	13.8	12.8	13.8	26.6	7.4	26.6	5.3
	その他（n=84）	29.8	16.7	27.4	6.0	20.2	10.7	19.0	9.5	17.9	17.9	4.8	10.7	16.7

■居住地地域別

居住地地域別でみると、大貫、吉野、竹岡・金谷では「公共交通機関が少ない（ない）」が最も多くなっています。

単位：％		公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	支援（介助）者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわからない	その他	特にない	無回答
全体（n=736）		26.1	9.1	15.6	6.1	9.9	4.9	16.2	7.1	12.1	13.7	4.2	32.1	14.5
居住地地域別	富津地区													
	富津（n=159）	23.9	10.1	14.5	6.9	10.1	6.9	18.9	8.8	14.5	14.5	3.1	32.1	15.7
	青堀（n=110）	22.7	9.1	16.4	8.2	8.2	5.5	14.5	10.9	11.8	14.5	4.5	28.2	17.3
	飯野（n=51）	23.5	3.9	11.8	7.8	5.9	0.0	11.8	9.8	9.8	15.7	2.0	33.3	11.8
	大佐和地区													
	大貫（n=98）	28.6	10.2	19.4	4.1	11.2	4.1	14.3	6.1	11.2	18.4	9.2	25.5	13.3
	吉野（n=30）	30.0	3.3	13.3	0.0	10.0	6.7	23.3	0.0	16.7	20.0	6.7	23.3	16.7
	佐貴（n=36）	16.7	11.1	11.1	2.8	8.3	0.0	13.9	2.8	11.1	8.3	2.8	47.2	16.7
	天羽地区													
	湊・天神山（n=77）	28.6	10.4	24.7	3.9	18.2	1.3	18.2	3.9	15.6	5.2	2.6	32.5	16.9
	竹岡・金谷（n=46）	41.3	8.7	13.0	2.2	6.5	0.0	19.6	6.5	6.5	8.7	2.2	30.4	15.2
	峰上（n=46）	28.3	6.5	10.9	8.7	8.7	8.7	13.0	6.5	8.7	13.0	4.3	32.6	17.4
その他の市町村（n=62）		22.6	6.5	9.7	9.7	4.8	6.5	16.1	6.5	11.3	19.4	1.6	43.5	6.5

■障がい種別等

障がい種別等でみると、重症心身障害の認定を受けているでは「道路や駅に階段や段差が多い」、強度行動障害があるでは「外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）」が最も多くなっています。

単位：％		公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	支援（介助）者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわからない	その他	特にない	無回答
全体（n=736）		26.1	9.1	15.6	6.1	9.9	4.9	16.2	7.1	12.1	13.7	4.2	32.1	14.5
障がい種別等	身体障害者手帳を持っている（n=387）	25.1	9.8	20.7	3.9	10.6	3.9	14.5	4.1	10.9	8.3	4.1	30.2	18.3
	療育手帳を持っている（n=191）	24.1	8.9	11.0	11.5	11.0	9.4	11.5	11.5	14.1	20.9	5.8	36.6	8.4
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=76）	35.5	10.5	15.8	5.3	13.2	5.3	22.4	13.2	23.7	30.3	3.9	22.4	13.2
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=158）	31.6	7.6	11.4	4.4	9.5	3.8	27.8	11.4	21.5	22.8	3.8	24.7	13.3
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=39）	33.3	23.1	30.8	7.7	17.9	10.3	23.1	5.1	15.4	12.8	2.6	10.3	25.6
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=49）	36.7	12.2	20.4	12.2	16.3	6.1	12.2	14.3	10.2	18.4	4.1	28.6	6.1
	発達障害がある（n=67）	40.3	10.4	7.5	16.4	10.4	10.4	17.9	14.9	13.4	29.9	9.0	28.4	4.5
	高次脳機能障害がある（n=17）	47.1	29.4	23.5	11.8	23.5	11.8	35.3	17.6	29.4	23.5	5.9	0.0	5.9
	重症心身障害の認定を受けている（n=22）	22.7	18.2	31.8	9.1	13.6	13.6	18.2	13.6	18.2	27.3	9.1	9.1	18.2
	強度行動障害がある（n=14）	14.3	0.0	21.4	0.0	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4	21.4	7.1	21.4	0.0

■障がいの程度・重度性別

障害の程度・重度性別でみると、おおむね「公共交通機関が少ない（ない）」が上位となっていますが、身体2級では「道路や駅に階段や段差が多い」、精神3級では「困った時にどうすればいいのか心配」が最も多くなっています。

単位：％		公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	支援（介助）者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわからない	その他	特にない	無回答	
全体（n=736）		26.1	9.1	15.6	6.1	9.9	4.9	16.2	7.1	12.1	13.7	4.2	32.1	14.5	
障がいの程度・重度性別	身体障害者手帳	1級（n=115）	22.6	9.6	20.0	1.7	8.7	5.2	12.2	0.9	17.4	10.4	5.2	27.8	21.7
		2級（n=62）	21.0	14.5	29.0	1.6	16.1	6.5	12.9	6.5	8.1	9.7	6.5	27.4	14.5
		3級（n=55）	25.5	10.9	21.8	10.9	14.5	5.5	14.5	3.6	7.3	12.7	3.6	23.6	20.0
		4級（n=108）	29.6	8.3	15.7	1.9	8.3	1.9	16.7	5.6	9.3	4.6	1.9	35.2	17.6
		5級（n=12）	41.7	8.3	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	33.3	16.7
		6級（n=21）	23.8	9.5	23.8	4.8	4.8	0.0	23.8	9.5	0.0	9.5	9.5	33.3	9.5
	療育手帳	○A（n=8）	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5	25.0
		○Aの1（n=29）	17.2	10.3	13.8	13.8	6.9	13.8	3.4	10.3	24.1	6.9	6.9	37.9	10.3
		○Aの2（n=20）	30.0	5.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	15.0	15.0	20.0	15.0	40.0	0.0
		Aの1（n=28）	25.0	17.9	25.0	7.1	21.4	10.7	10.7	14.3	14.3	21.4	3.6	28.6	3.6
		Aの2（n=2）	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		Bの1（n=47）	21.3	2.1	6.4	6.4	12.8	6.4	8.5	8.5	8.5	25.5	4.3	42.6	17.0
		Bの2（n=54）	29.6	11.1	7.4	18.5	5.6	11.1	20.4	13.0	11.1	27.8	3.7	35.2	3.7
	精神障害者保健福祉手帳	1級（n=3）	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
		2級（n=43）	48.8	14.0	20.9	9.3	11.6	7.0	25.6	16.3	27.9	32.6	7.0	16.3	9.3
		3級（n=27）	22.2	3.7	7.4	0.0	14.8	3.7	22.2	11.1	14.8	33.3	0.0	25.9	18.5

■外出頻度別

外出頻度別でみると、おおむね全体と同様の傾向を示しています。

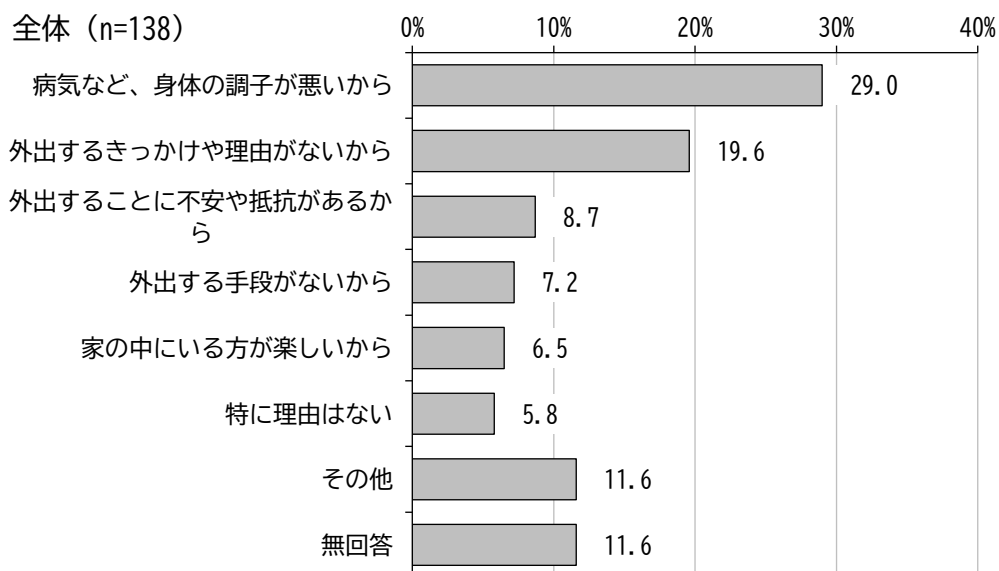
単位：％		公共交通機関が少ない（ない）	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	支援（介助）者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	特にない	無回答
全体（n=736）		26.1	9.1	15.6	6.1	9.9	4.9	16.2	7.1	12.1	13.7	4.2	32.1	14.5
頻度別	ほぼ毎日（5日以上）外出する（n=421）	24.9	9.5	15.0	6.4	9.0	4.5	14.5	6.9	10.9	16.6	5.0	37.5	10.5
	1週間に数回外出する（n=315）	27.6	8.6	16.5	5.7	11.1	5.4	18.4	7.3	13.7	9.8	3.2	24.8	20.0

【問 13 で「ほとんど外出しない」「まったく外出しない」を選択した人にお答えください。】

問 17 外出をしない主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

外出をしない主な理由については、「病気など、身体の調子が悪いから」が 29.0%と最も多く、次いで「外出するきっかけや理由がないから」が 19.6%、「外出することに不安や抵抗があるから」が 8.7%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい等では「病気など、身体の調子が悪いから」が最も多くなっています。



■障がい種別

単位：%		理由が ないき っかけ や	し 家 の 中 に い る 方 が 楽	子 病 が 悪 い か ら 身 体 の 調	や 外 出 す か ら 不 安	か 外 出 す 手 段 が な い	特 に 理 由 は な い	そ の 他	無 回 答
全体 (n=138)		19.6	6.5	29.0	8.7	7.2	5.8	11.6	11.6
障 が い 種 別	身体障がい (n=87)	21.8	6.9	33.3	8.0	5.7	6.9	9.2	8.0
	知的障がい (n=22)	9.1	9.1	22.7	4.5	4.5	13.6	27.3	9.1
	精神障がい等 (n=39)	17.9	5.1	30.8	15.4	5.1	5.1	5.1	15.4
	障害児通所支援 (n=8)	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=25)	20.0	8.0	24.0	8.0	8.0	0.0	28.0	4.0

■外出頻度別

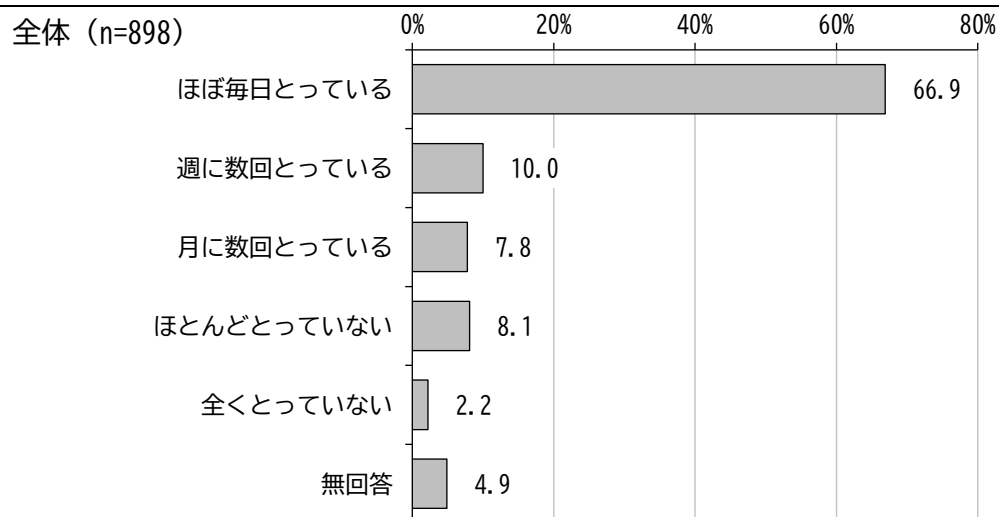
外出頻度別でみると、おおむね全体と同様の傾向を示しています。

単位：％		理由が ない から かけ や	家の 中 に い る 方 が 楽	病 気 な ど、 身 体 の 調	外 出 す る こ と に 不 安	外 出 す る 手 段 が な い	特 に 理 由 は な い	そ の 他	無 回 答
全体（n=138）		19.6	6.5	29.0	8.7	7.2	5.8	11.6	11.6
頻 度 別	ほとんど外出しない （n=116）	19.8	7.8	27.6	10.3	6.9	6.0	11.2	10.3
	まったく外出しない （n=22）	18.2	0.0	36.4	0.0	9.1	4.5	13.6	18.2

問 18 ご家族や友人・知人など誰かとコミュニケーションをとっていますか。(○は1つだけ)

家族や友人・知人などとのコミュニケーション頻度については、「ほぼ毎日とっている」が 66.9%と最も多く、次いで「週に数回とっている」が 10.0%、「ほとんどとっていない」が 8.1%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「ほぼ毎日とっている」が最も多くなっています。次いで、身体障がいでは「週に数回とっている」、その他の種別では「ほとんどとっていない」が多くなっています。



■障がい種別

単位：%		てほ いぼ る毎 日と つ	て週 いに る数 回と つ	て月 いに る数 回と つ	てほ いと なん どと つ	な全 いと つて い	無 回 答
全体 (n=898)		66.9	10.0	7.8	8.1	2.2	4.9
障 が い 種 別	身体障がい (n=490)	64.1	12.4	9.8	6.3	1.4	5.9
	知的障がい (n=217)	70.5	6.5	5.1	10.6	2.8	4.6
	精神障がい等 (n=220)	69.1	7.3	6.4	10.0	4.1	3.2
	障害児通所支援 (n=102)	80.4	4.9	1.0	5.9	3.9	3.9
	その他 (n=111)	60.4	8.1	10.8	15.3	3.6	1.8

■外出頻度別

外出頻度別でみると、いずれの区分においても「ほぼ毎日とっている」が最も多くなっています。次いで、ほぼ毎日（5日以上）外出する、1週間に数回外出するでは「週に数回とっている」、ほとんど外出しない、まったく外出しないでは「ほとんどとっていない」が多くなっています。

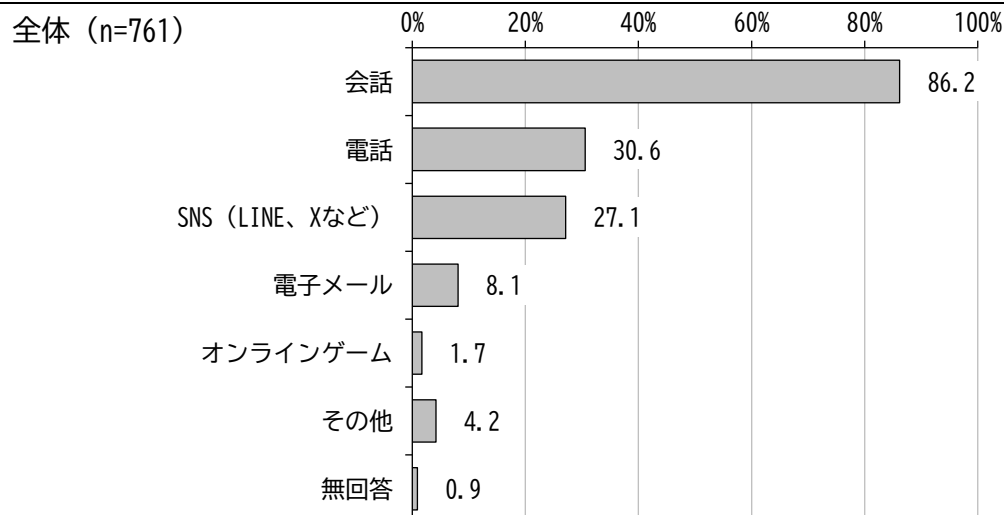
単位：％		てほ いほ る毎 日と つ	て週 いに る数 回と つ	て月 いに る数 回と つ	てほ いと なん どと つ	な全 いく とつ てい	無 回 答
全体（n=898）		66.9	10.0	7.8	8.1	2.2	4.9
外 出 頻 度 別	ほぼ毎日（5日以上）外出する（n=421）	74.8	8.1	4.5	6.2	2.1	4.3
	1週間に数回外出する（n=315）	63.2	14.3	11.4	4.1	2.5	4.4
	ほとんど外出しない（n=116）	62.9	6.9	8.6	19.8	0.9	0.9
	まったく外出しない（n=22）	40.9	4.5	9.1	36.4	4.5	4.5

【問 18 で「ほぼ毎日とっている」「週に数回とっている」「月に数回とっている」を選択した人がお答えください。】

問 19 どのような方法でコミュニケーションをとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

コミュニケーションの方法については、「会話」が86.2%と最も多く、次いで「電話」が30.6%、「SNS (LINE、X など)」が27.1%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「会話」が最も多くなっています。また、身体障がい、精神障がい等では「電話」が30%以上、精神障がい等では「SNS (LINE、X など)」が39.0%と他の種別に比べて多くなっています。



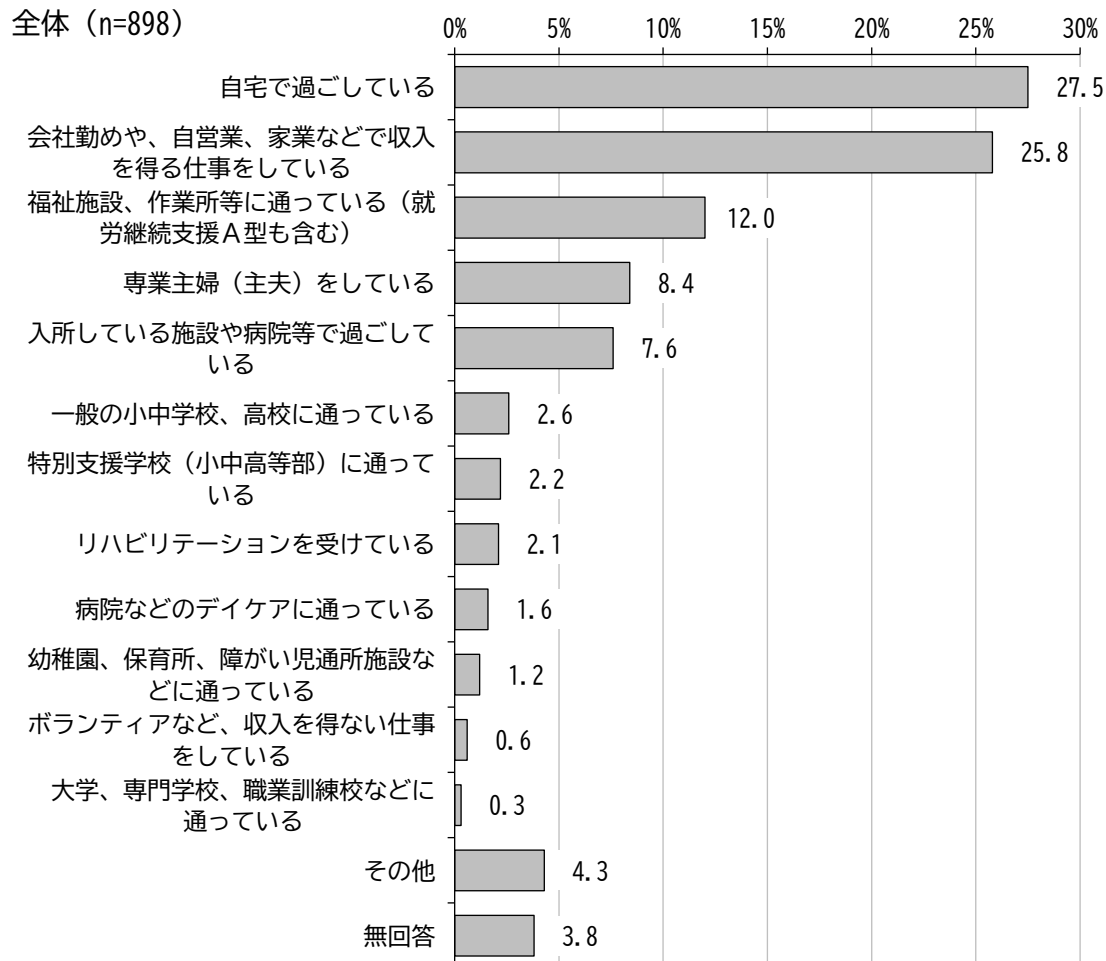
■障がい種別

単位：%		会話	電話	電子メール	SNS (LINE、X など)	オンラインゲーム	その他	無回答
全体 (n=761)		86.2	30.6	8.1	27.1	1.7	4.2	0.9
障がい種別	身体障がい (n=423)	85.1	33.1	8.7	22.9	0.5	4.0	0.9
	知的障がい (n=178)	83.7	19.7	3.4	22.5	1.1	10.1	2.2
	精神障がい等 (n=182)	87.4	37.9	10.4	39.0	4.9	1.6	0.5
	障害児通所支援 (n=88)	90.9	20.5	5.7	20.5	4.5	8.0	1.1
	その他 (n=88)	77.3	29.5	6.8	19.3	2.3	11.4	1.1

問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

平日の日中の過ごし方については、「自宅で過ごしている」が 27.5%と最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」が 25.8%、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が 12.0%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等では「自宅で過ごしている」、知的障がい、障害児通所支援では「福祉施設、作業所等に通っている」が最も多くなっています。



障がい種別

単位：％		会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等でごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校（小中高等部）に通っている	一般の小中学校、高校に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている	その他	無回答
全体（n=898）		25.8	0.6	8.4	12.0	1.6	2.1	27.5	7.6	0.3	2.2	2.6	1.2	4.3	3.8
障がい種別	身体障がい（n=490）	25.9	0.8	11.6	5.3	1.8	3.3	33.7	7.8	0.0	0.8	0.4	0.0	3.9	4.7
	知的障がい（n=217）	21.2	0.0	0.9	36.4	0.0	0.9	7.8	14.7	0.0	7.8	3.2	1.8	2.8	2.3
	精神障がい等（n=220）	28.2	0.5	5.9	17.7	3.6	0.5	31.4	3.2	0.9	0.0	0.0	0.5	5.5	2.3
	障害児通所支援（n=102）	17.6	1.0	1.0	23.5	1.0	1.0	8.8	2.0	0.0	12.7	17.6	8.8	1.0	3.9
	その他（n=111）	12.6	0.0	4.5	20.7	2.7	3.6	31.5	17.1	0.0	0.9	0.0	0.9	1.8	3.6

年齢別でみると、0～17歳では「一般の小中学校、高校に通っている」、18～39歳、40～64歳では「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」、65歳以上では「自宅で過ごしている」が最も多くなっています。

年齢別

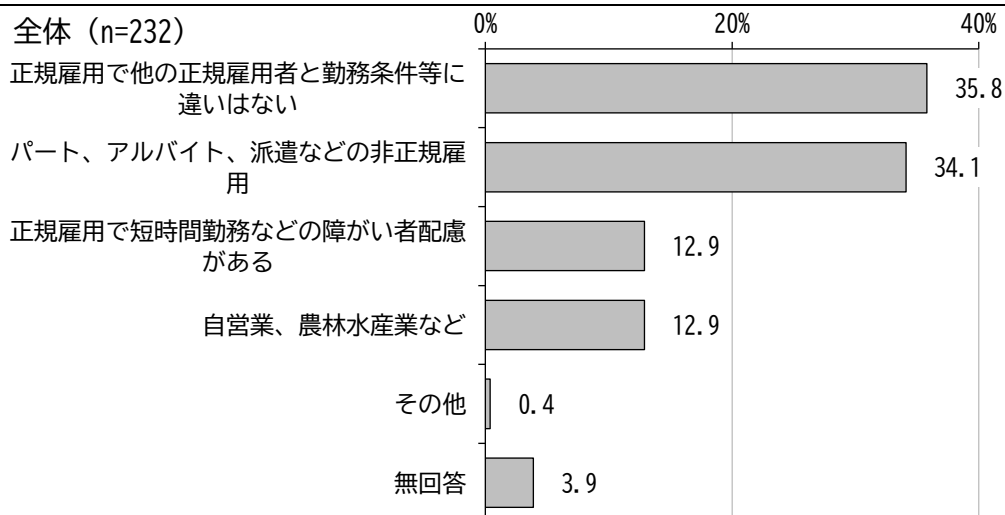
単位：％		会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等でごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校（小中高等部）に通っている	一般の小中学校、高校に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている	その他	無回答
全体（n=898）		25.8	0.6	8.4	12.0	1.6	2.1	27.5	7.6	0.3	2.2	2.6	1.2	4.3	3.8
年齢別	0～17歳（n=56）	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	33.9	39.3	17.9	1.8	1.8
	18～39歳（n=148）	40.5	0.7	0.7	34.5	0.0	0.0	12.8	5.4	2.0	0.0	0.0	0.7	2.0	0.7
	40～64歳（n=335）	30.7	0.0	6.3	14.0	1.2	2.1	26.0	11.9	0.0	0.0	0.3	0.0	3.6	3.9
	65～74歳（n=206）	23.3	1.5	13.1	2.4	2.9	4.4	35.9	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3
	75歳以上（n=125）	11.2	0.8	17.6	0.8	3.2	2.4	44.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	6.4

【問 20 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」を選択した人がお答えください。】

問 21 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

勤務形態については、「正規雇用で他の正規雇用者と勤務条件等に違いはない」が 35.8%と最も多く、次いで「パート、アルバイト、派遣などの非正規雇用」が 34.1%、「正規雇用で短時間勤務などの障がい者配慮がある」「自営業、農林水産業など」がそれぞれ 12.9%と同率で続いています。

障がい種別でみると、身体障がいは「正規雇用で他の正規雇用者と勤務条件等に違いはない」、知的障がいでは「正規雇用で短時間勤務などの障がい者配慮がある」、精神障がい等では「パート、アルバイト、派遣などの非正規雇用」が最も多くなっています。



■障がい種別

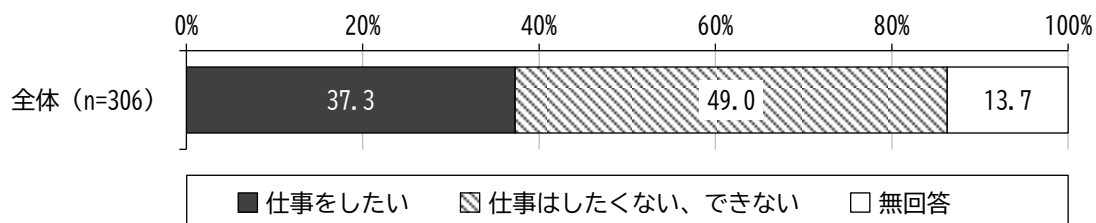
単位：%		と正 勤 務 条 件 で 他 に の 違 い は 雇 用 者 な い 者	の正 規 雇 用 者 で 配 慮 が あ る 勤 務 な ど	な パ ー ト 、 ア ル バ イ ト 、 派 遣	自 営 業 、 農 林 水 産 業 な ど	そ の 他	無 回 答
全体 (n=232)		35.8	12.9	34.1	12.9	0.4	3.9
障 が い 種 別	身体障がい (n=127)	37.0	8.7	32.3	18.9	0.0	3.1
	知的障がい (n=46)	28.3	34.8	30.4	2.2	2.2	2.2
	精神障がい等 (n=62)	35.5	16.1	37.1	6.5	0.0	4.8
	障害児通所支援 (n=18)	27.8	27.8	33.3	5.6	0.0	5.6
	その他 (n=14)	21.4	7.1	35.7	35.7	0.0	0.0

【問 20 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」以外を選択した 18～64 歳の人がお答えください。】

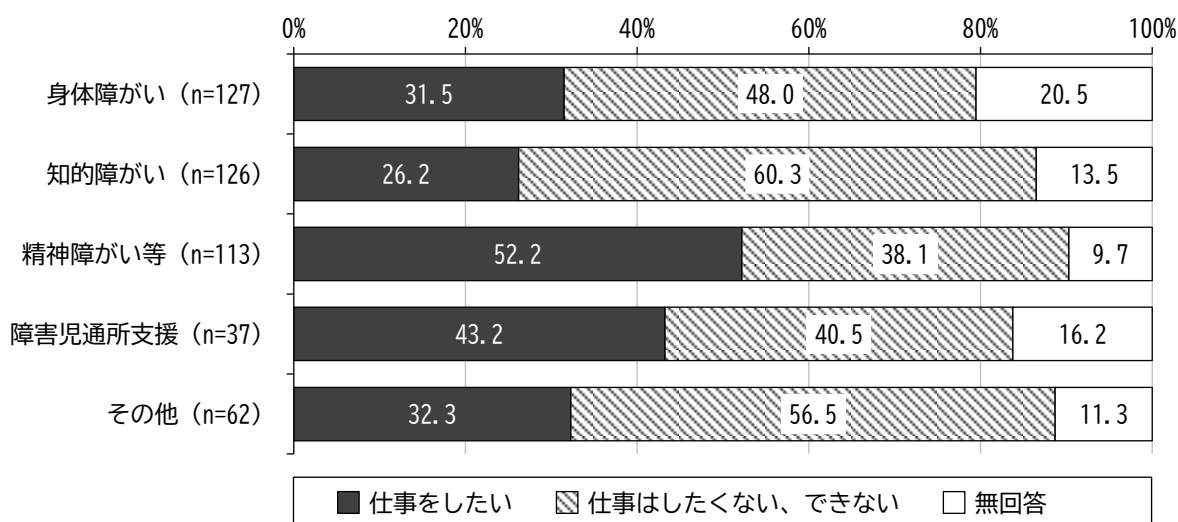
問 22 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は 1 つだけ)

今後、収入を得る仕事をしたいと思うかについては、「仕事をしたい」が 37.3%、「仕事はしたくない、できない」が 49.0%となっています。

障がい種別でみると、精神障がい等では「仕事をしたい」が 52.2%と半数を超えており、他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別



【問 22 で「仕事をしたい」を選択した人がお答えください。】

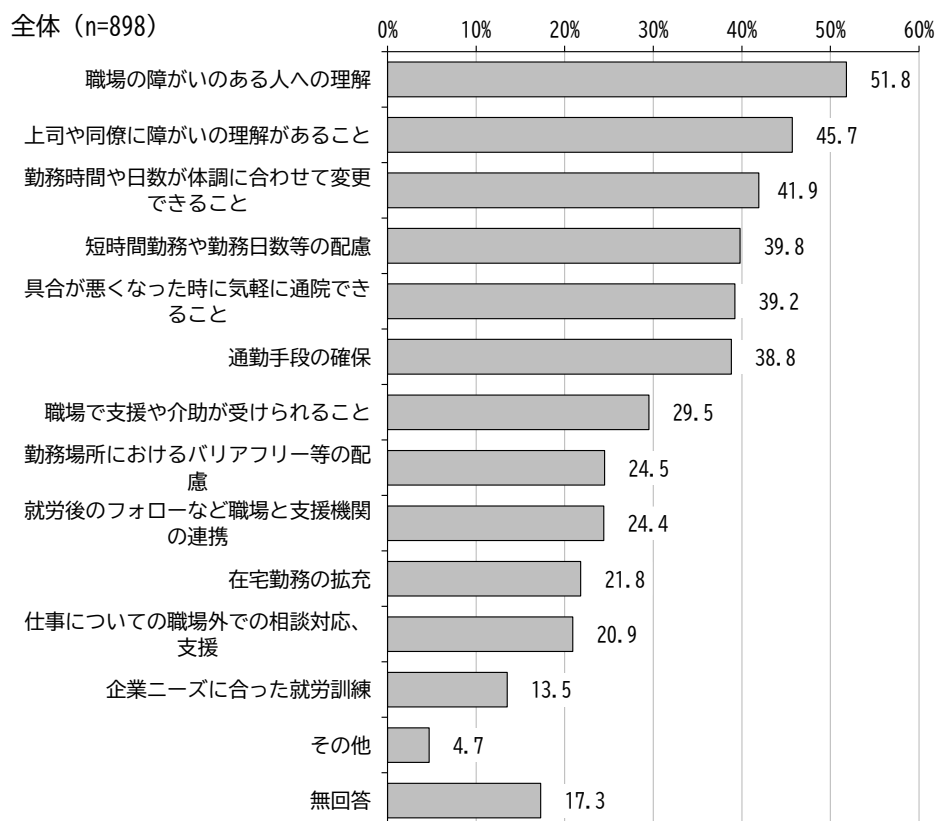
問 23 どのような仕事をしたいかお答えください。(イメージなどでも結構です。)

調整中

問 24 あなたは、障がいのある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある人の就労支援として必要なことについては、「職場の障がいのある人への理解」が51.8%と最も多く、次いで「上司や同僚に障がいの理解があること」が45.7%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が41.9%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、障害児通所支援では「職場の障がいのある人への理解」、精神障がい等では「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が最も多くなっています。



障がい種別

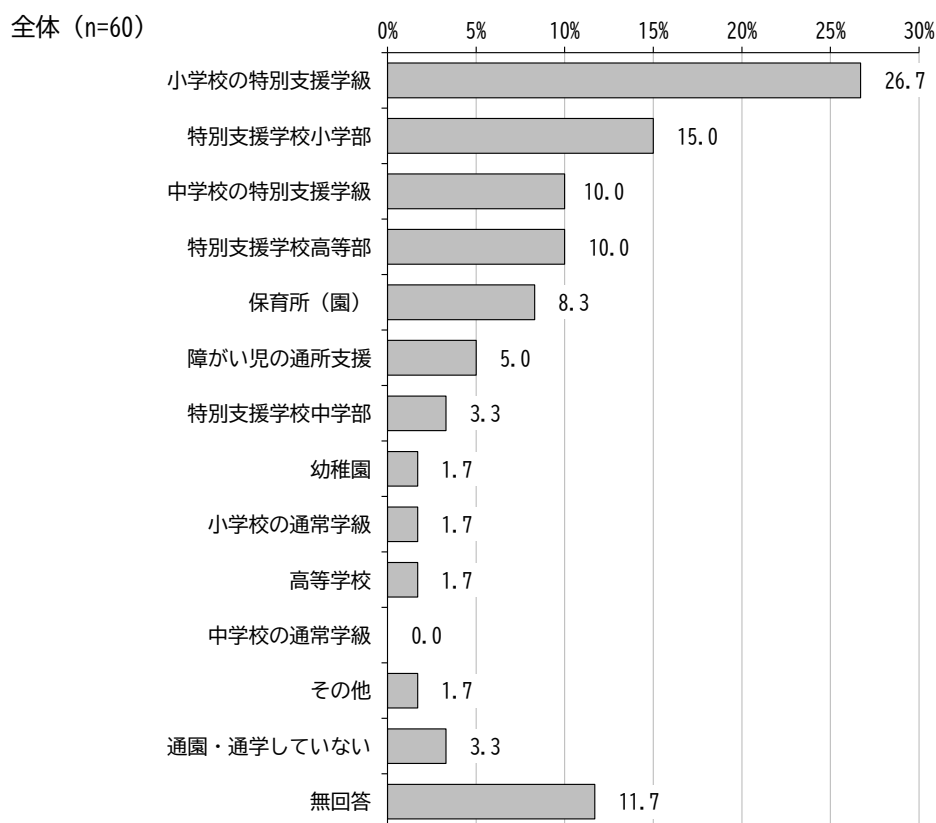
単位：%		通勤手段の確保	勤務場所におけるバリア	短時間勤務や勤務日数等の配慮	勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	在宅勤務の拡充	職場の障がいのある人への理解	上司や同僚に障がいの理解があること	職場で支援や介助が受けられること	具合が悪くなった時に気軽に通院できること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
全体 (n=898)		38.8	24.5	39.8	41.9	21.8	51.8	45.7	29.5	39.2	24.4	13.5	20.9	4.7	17.3
障がい種別	身体障がい (n=490)	34.7	29.2	38.2	40.2	21.4	48.8	42.4	24.7	39.0	18.4	11.0	14.9	4.3	20.4
	知的障がい (n=217)	45.6	20.7	33.6	38.2	11.1	59.0	48.8	43.8	33.2	30.0	14.3	27.6	7.8	14.3
	精神障がい等 (n=220)	42.3	19.5	50.0	53.2	31.4	52.3	50.5	31.8	46.8	31.4	19.5	27.7	2.3	12.3
	障害児通所支援 (n=102)	58.8	25.5	49.0	57.8	26.5	73.5	66.7	50.0	48.0	52.0	30.4	46.1	2.0	9.8
	その他 (n=111)	42.3	28.8	36.9	40.5	21.6	56.8	49.5	36.9	43.2	29.7	16.2	30.6	8.1	16.2

【18歳以下の人のみお答えください。】

問 25 あなたが主に通園、通学しているところはどこですか。(○は1つだけ)

主に通園、通学しているところについては、「小学校の特別支援学級」が26.7%と最も多く、次いで「特別支援学校小学部」が15.0%、「中学校の特別支援学級」「特別支援学校高等部」がそれぞれ10.0%と同率で続いています。

障がい種別でみると、身体障がい、知的障がいでは「特別支援学校小学部」、障害児通所支援では「小学校の特別支援学級」が最も多くなっています。



■障がい種別

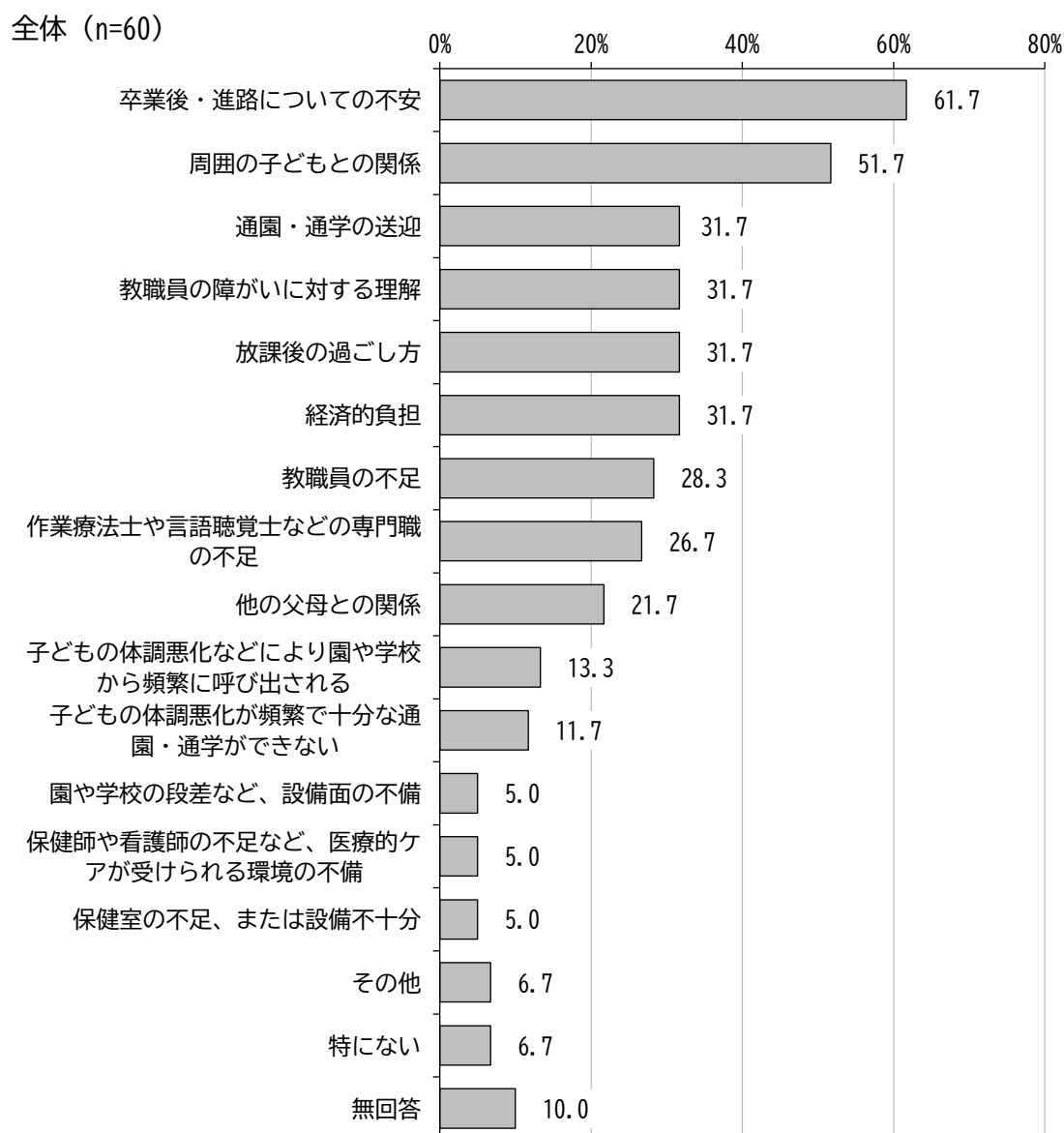
単位：％		幼稚園	(園)保育所	通所が 支援児の	常小 小学校の 通	別小 小学校の 級特	校小 特別支 援学	常中 中学校の 級通	別中 中学校の 級特	校中 特別支 援学	高等 学校	校特 高特別 高等支 援学	その他	してい ない学	無回 答
全体 (n=60)		1.7	8.3	5.0	1.7	26.7	15.0	0.0	10.0	3.3	1.7	10.0	1.7	3.3	11.7
障がい種別	身体障がい (n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	30.0
	知的障がい (n=32)	0.0	0.0	6.3	0.0	9.4	25.0	0.0	15.6	6.3	3.1	18.8	0.0	3.1	12.5
	精神障がい等 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	障害児通所支援 (n=43)	2.3	9.3	7.0	2.3	32.6	16.3	0.0	9.3	0.0	0.0	11.6	0.0	2.3	7.0
	その他 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0

【18 歳以下の人のみお答えください。】

問 26 障がいのある子どもの療育や教育において困っていること、心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

障がいのある子どもの療育や教育において困っていること、心配なことについては、「卒業後・進路についての不安」が61.7%と最も多く、次いで「周囲の子どもとの関係」が51.7%、「通園・通学の送迎」「教職員の障がいに対する理解」「放課後の過ごし方」「経済的負担」がそれぞれ31.7%と同率で続いています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「通園・通学の送迎」「卒業後・進路についての不安」、障害児通所支援、知的障がいでは「卒業後・進路についての不安」が最も多くなっています。



■障がい種別

単位：％		通園・通学の送迎	備園や学校の段差など、設 面の不備	教職員の不足	保健師や看護師の不足な る、医療的ケアが受けら れる環境の不備	作業療法士や言語聴覚士 などの専門職の不足	保健室の不足、または設 備不十分	教職員の障がいに対する 理解	周囲の子どもとの関係	他の父母との関係
全体（n=60）		31.7	5.0	28.3	5.0	26.7	5.0	31.7	51.7	21.7
障がい種別	身体障がい（n=10）	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0
	知的障がい（n=32）	40.6	6.3	31.3	9.4	25.0	6.3	21.9	40.6	15.6
	精神障がい等（n=3）	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3
	障害児通所支援（n=43）	37.2	7.0	39.5	7.0	32.6	7.0	41.9	62.8	25.6
	その他（n=4）	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

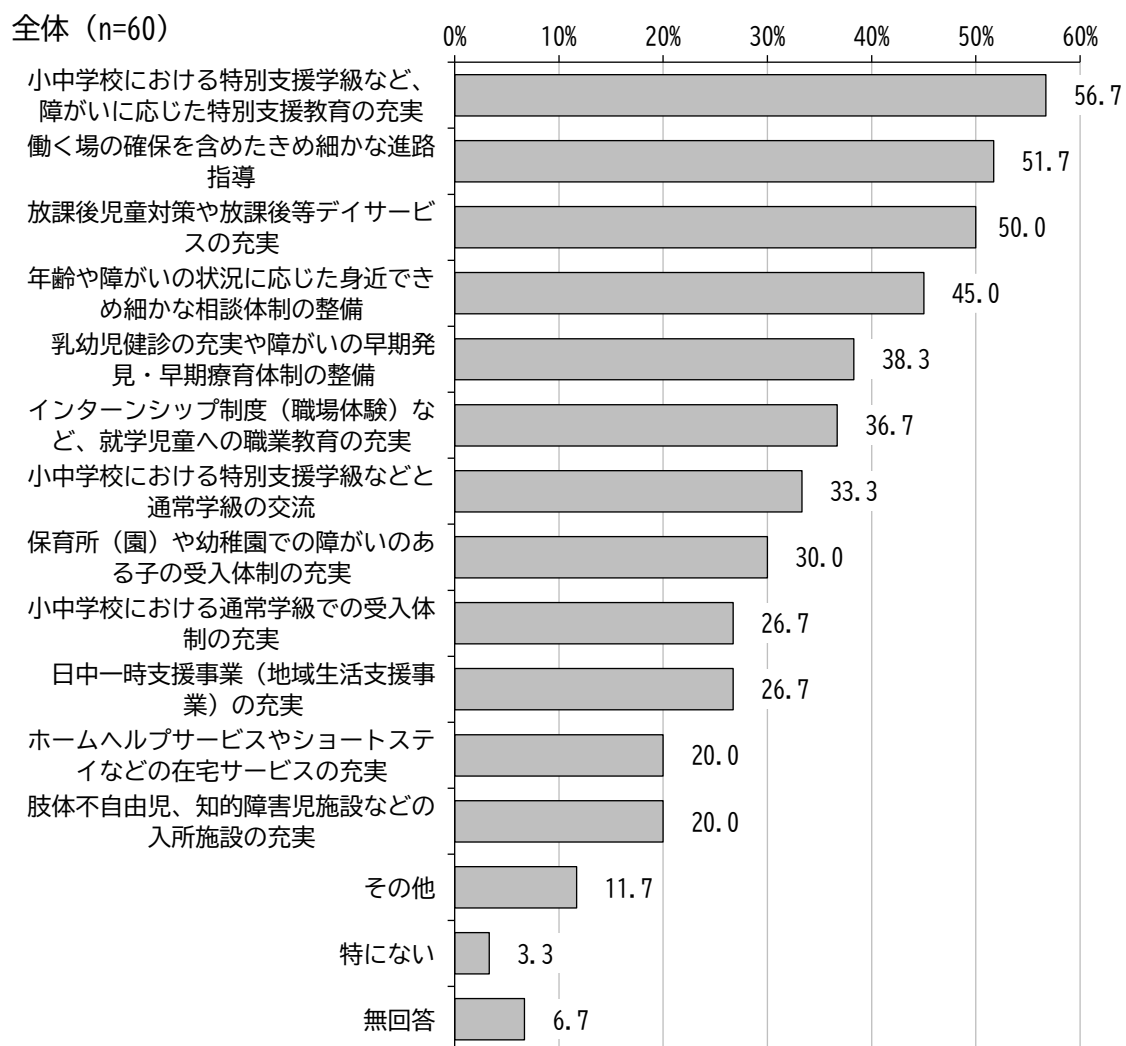
単位：％		放課後の過ごし方	卒業後の進路について の不安	経済的負担	子どもが十分な通園・通学が できない	子どもが呼び出されることが 多い	子どもが体調悪くなる 頻度	その他	特にな い	無回 答
全体（n=60）		31.7	61.7	31.7	11.7	13.3	6.7	6.7	10.0	
障がい種別	身体障がい（n=10）	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0	30.0	0.0	30.0	
	知的障がい（n=32）	28.1	62.5	28.1	12.5	18.8	6.3	3.1	9.4	
	精神障がい等（n=3）	33.3	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
	障害児通所支援（n=43）	39.5	69.8	37.2	16.3	18.6	4.7	4.7	4.7	
	その他（n=4）	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	

【18歳以下の人のみお答えください。】

問 27 障がいのある子どもに対する支援サービスについて今後特に充実していくべきと思われるのは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのある子どもに対する支援サービスについて今後特に充実していくべきことについては、「小中学校における特別支援学級など、障がいに応じた特別支援教育の充実」が 56.7%と最も多く、次いで「働く場の確保を含めたきめ細かな進路指導」が 51.7%、「放課後児童対策や放課後等デイサービスの充実」が 50.0%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「放課後児童対策や放課後等デイサービスの充実」、知的障がい、障害児通所支援では「小中学校における特別支援学級など、障がいに応じた特別支援教育の充実」が最も多くなっています。



■障がい種別

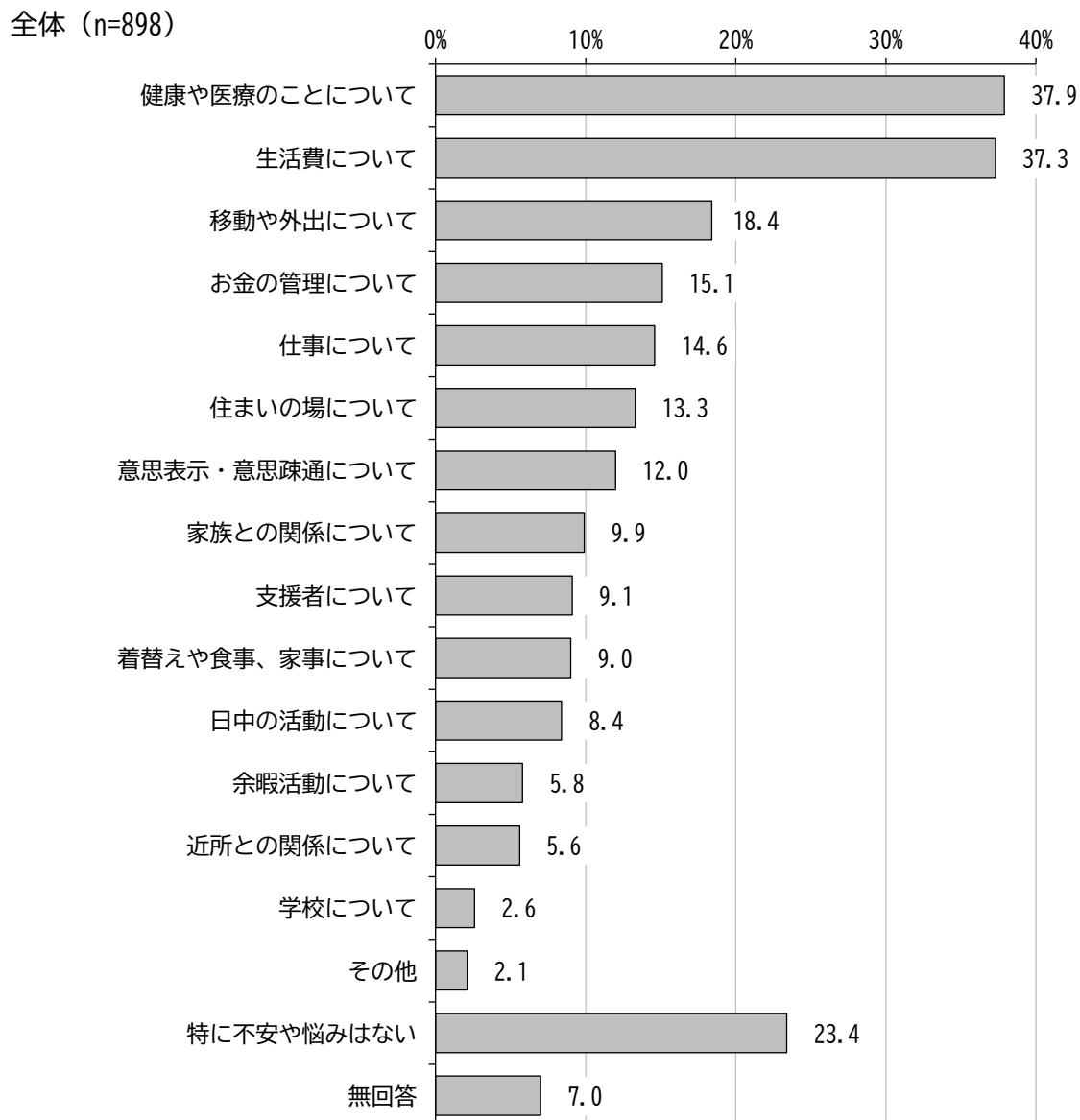
単位：％		のの乳の障の保育所（園）や幼稚園での の早期発見・早期療育体制 の整備	の充実	特別支援教育の充実	小中学校における特別支援	小中学校における通常学級	小中学校における特別支援	放課後児童対策や放課後等 デイサービスの充実	日中一時支援事業（地域生 活支援事業）の充実	ホームヘルプサービスなどの在宅 サービスの充実
全体（n=60）		38.3	30.0	56.7	26.7	33.3	50.0	26.7	20.0	
障がい種別	身体障がい（n=10）	30.0	10.0	30.0	10.0	20.0	50.0	30.0	40.0	
	知的障がい（n=32）	34.4	18.8	53.1	9.4	15.6	43.8	31.3	25.0	
	精神障がい等（n=3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	障害児通所支援（n=43）	46.5	27.9	62.8	30.2	39.5	60.5	32.6	23.3	
	その他（n=4）	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	

単位：％		働く場の確保を含めたきめ細かな進路指導	インターンシップ制度（職業体験など、就学児童への職業教育の充実）	肢体不自由児、知的障害児施設などの入所施設の充実	年齢や障がいの状況に応じた身近できめ細かな相談体制の整備	その他	特になし	無回答
全体（n=60）		51.7	36.7	20.0	45.0	11.7	3.3	6.7
障がい種別	身体障がい（n=10）	40.0	20.0	40.0	30.0	30.0	0.0	20.0
	知的障がい（n=32）	46.9	31.3	21.9	43.8	12.5	3.1	6.3
	精神障がい等（n=3）	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	障害児通所支援（n=43）	58.1	39.5	25.6	53.5	9.3	2.3	2.3
	その他（n=4）	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0

4. 相談相手や権利擁護についてお聞きします。

問 28 あなたは、今の生活について不安や悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

今の生活についての不安や悩みについては、「健康や医療のことについて」が 37.9%と最も多く、次いで「生活費について」が 37.3%、「特に不安や悩みはない」が 23.4%となっています。



■障がい種別

障がい種別でみると、身体障がい、障害児通所支援は「健康や医療のことについて」、知的障がいは「特に不安や悩みはない」、精神障がい等は「生活費について」が最も多くなっています。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えて食事、家事について	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通について	移動や外出について
全体（n=898）		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
障がい種別	身体障がい（n=490）	11.0	37.3	40.8	8.2	6.7	8.2	9.4	5.5	16.3
	知的障がい（n=217）	9.7	21.2	26.3	8.3	15.7	8.3	20.7	25.3	18.0
	精神障がい等（n=220）	19.5	50.5	43.6	11.8	10.9	17.7	24.5	13.6	25.5
	障害児通所支援（n=102）	14.7	28.4	32.4	13.7	17.6	14.7	24.5	31.4	27.5
	その他（n=111）	12.6	36.9	42.3	14.4	18.0	7.2	17.1	14.4	29.7

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（n=898）		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
障がい種別	身体障がい（n=490）	6.7	2.9	0.6	11.8	4.9	2.4	22.4	7.8
	知的障がい（n=217）	8.3	11.1	3.2	9.7	2.8	3.2	33.2	6.9
	精神障がい等（n=220）	12.3	8.2	0.9	24.5	9.5	1.8	16.8	6.4
	障害児通所支援（n=102）	13.7	17.6	17.6	18.6	5.9	2.9	17.6	7.8
	その他（n=111）	15.3	8.1	0.9	16.2	7.2	3.6	23.4	3.6

■回答者別

回答者別でみると、本人では「生活費について」、本人の家族では「健康や医療のことについて」、家族以外の支援（介助）者では「特に不安や悩みはない」が最も多くなっています。また、本人の家族、家族以外の支援（介助）者では「意思表示・意思疎通について」も他の区分に比べて多くなっています。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えや食事、家事について	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通について	移動や外出について
全体（n=898）		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
回答者別	本人（調査票の宛名の人）（n=522）	12.6	43.7	40.2	8.0	5.4	11.7	12.5	5.4	17.2
	本人の家族（n=213）	15.0	31.5	35.7	12.7	18.3	8.9	24.9	23.9	23.9
	家族以外の支援（介助）者（n=65）	10.8	7.7	32.3	6.2	10.8	9.2	7.7	24.6	12.3

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（n=898）		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
回答者別	本人（調査票の宛名の人）（n=522）	7.9	3.6	0.4	17.0	6.7	1.7	20.5	5.6
	本人の家族（n=213）	9.4	11.3	9.4	13.6	4.2	1.4	22.5	9.4
	家族以外の支援（介助）者（n=65）	9.2	6.2	0.0	1.5	0.0	3.1	43.1	4.6

■年齢別

年齢別でみると、0～17 歳では「学校について」、18～39 歳、40～64 歳では「生活費について」、65 歳以上では「健康や医療のことについて」が最も多くなっています。おおむね年齢が低いほど、「お金の管理について」「意思表示・意思疎通について」「仕事について」が多くなっています。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えて食事、家事について	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通について	移動や外出について
全体 (n=898)		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
年齢別	0～17歳 (n=56)	12.5	19.6	23.2	8.9	12.5	8.9	23.2	30.4	21.4
	18～39歳 (n=148)	10.8	32.4	29.7	11.5	15.5	8.1	27.0	23.0	20.9
	40～64歳 (n=335)	18.5	43.0	42.4	9.3	9.6	12.5	16.1	10.1	18.2
	65～74歳 (n=206)	9.2	37.4	38.3	6.3	4.9	9.7	7.8	4.4	16.0
	75歳以上 (n=125)	8.0	31.2	41.6	8.0	5.6	6.4	7.2	7.2	16.8

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体 (n=898)		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
年齢別	0～17歳 (n=56)	8.9	12.5	37.5	14.3	5.4	1.8	23.2	3.6
	18～39歳 (n=148)	8.8	10.8	0.7	22.3	3.4	2.7	27.7	4.7
	40～64歳 (n=335)	9.3	4.5	0.3	20.3	8.7	3.0	19.4	8.1
	65～74歳 (n=206)	6.3	3.4	0.0	7.8	2.9	0.0	26.7	6.3
	75歳以上 (n=125)	5.6	3.2	0.0	0.8	4.8	3.2	24.8	8.8

■障がい種別等

障がい種別等でみると、おおむね「生活費について」「健康や医療のことについて」が上位となっていますが、障害児通所支援受給者証を持っているでは「意思表示・意思疎通について」「移動や外出について」「学校について」、強度行動障害があるでは「意思表示・意思疎通について」「移動や外出について」が他の区分に比べて多くなっています。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えて食事、家事	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通	移動や外出について
全体（n=898）		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
障がい種別等	身体障害者手帳を持っている（n=490）	11.0	37.3	40.8	8.2	6.7	8.2	9.4	5.5	16.3
	療育手帳を持っている（n=217）	9.7	21.2	26.3	8.3	15.7	8.3	20.7	25.3	18.0
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=94）	24.5	62.8	52.1	12.8	10.6	19.1	26.6	18.1	29.8
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=191）	21.5	48.7	45.5	12.6	11.5	18.8	25.1	14.1	27.7
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=49）	12.2	46.9	49.0	12.2	16.3	10.2	16.3	8.2	30.6
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=55）	14.5	21.8	27.3	14.5	18.2	10.9	23.6	34.5	27.3
	発達障害がある（n=70）	11.4	32.9	32.9	11.4	17.1	15.7	25.7	31.4	25.7
	高次脳機能障害がある（n=21）	33.3	57.1	47.6	9.5	23.8	9.5	38.1	19.0	38.1
	重症心身障害の認定を受けている（n=31）	12.9	38.7	54.8	19.4	19.4	3.2	9.7	12.9	32.3
	強度行動障害がある（n=22）	13.6	18.2	27.3	18.2	18.2	13.6	13.6	31.8	31.8

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（n=898）		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
障がい種別等	身体障害者手帳を持っている（n=490）	6.7	2.9	0.6	11.8	4.9	2.4	22.4	7.8
	療育手帳を持っている（n=217）	8.3	11.1	3.2	9.7	2.8	3.2	33.2	6.9
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=94）	12.8	9.6	1.1	23.4	16.0	2.1	14.9	2.1
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=191）	14.1	9.4	0.5	26.2	8.9	1.6	16.2	6.8
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=49）	12.2	6.1	0.0	14.3	8.2	6.1	20.4	4.1
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=55）	20.0	20.0	27.3	12.7	9.1	1.8	12.7	9.1
	発達障害がある（n=70）	8.6	14.3	18.6	24.3	4.3	2.9	20.0	5.7
	高次脳機能障害がある（n=21）	23.8	14.3	0.0	28.6	4.8	4.8	14.3	4.8
	重症心身障害の認定を受けている（n=31）	19.4	3.2	3.2	22.6	16.1	0.0	9.7	3.2
	強度行動障害がある（n=22）	22.7	18.2	0.0	4.5	4.5	4.5	45.5	0.0

■現在の暮らし方別

現在の暮らし方別でみると、おおむね「生活費について」「健康や医療のことについて」が上位となっていますが、父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしているでは全体に比べて不安や悩みの割合が高い傾向にあります。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えや食事、家事について	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通について	移動や外出について
全体（n=898）		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
現在の暮らし方別	一人で暮らしている（n=121）	19.8	52.1	36.4	10.7	5.8	6.6	12.4	5.0	22.3
	配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている（n=344）	7.8	39.5	43.9	8.1	5.8	9.3	12.2	4.7	17.4
	父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている（n=279）	17.2	36.9	34.1	11.1	15.1	11.8	21.1	21.5	21.9
	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている（n=118）	11.9	15.3	37.3	5.9	8.5	11.9	14.4	19.5	11.0
	その他（n=11）	36.4	63.6	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	18.2

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（n=898）		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
現在の暮らし方別	一人で暮らしている（n=121）	7.4	6.6	0.0	13.2	10.7	1.7	14.9	10.7
	配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている（n=344）	7.0	2.6	0.6	12.2	4.4	1.5	24.7	6.1
	父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている（n=279）	9.7	9.3	7.2	21.9	7.5	1.8	21.1	6.8
	福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている（n=118）	10.2	7.6	0.0	5.9	0.8	5.1	36.4	3.4
	その他（n=11）	9.1	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0

■居住形態別

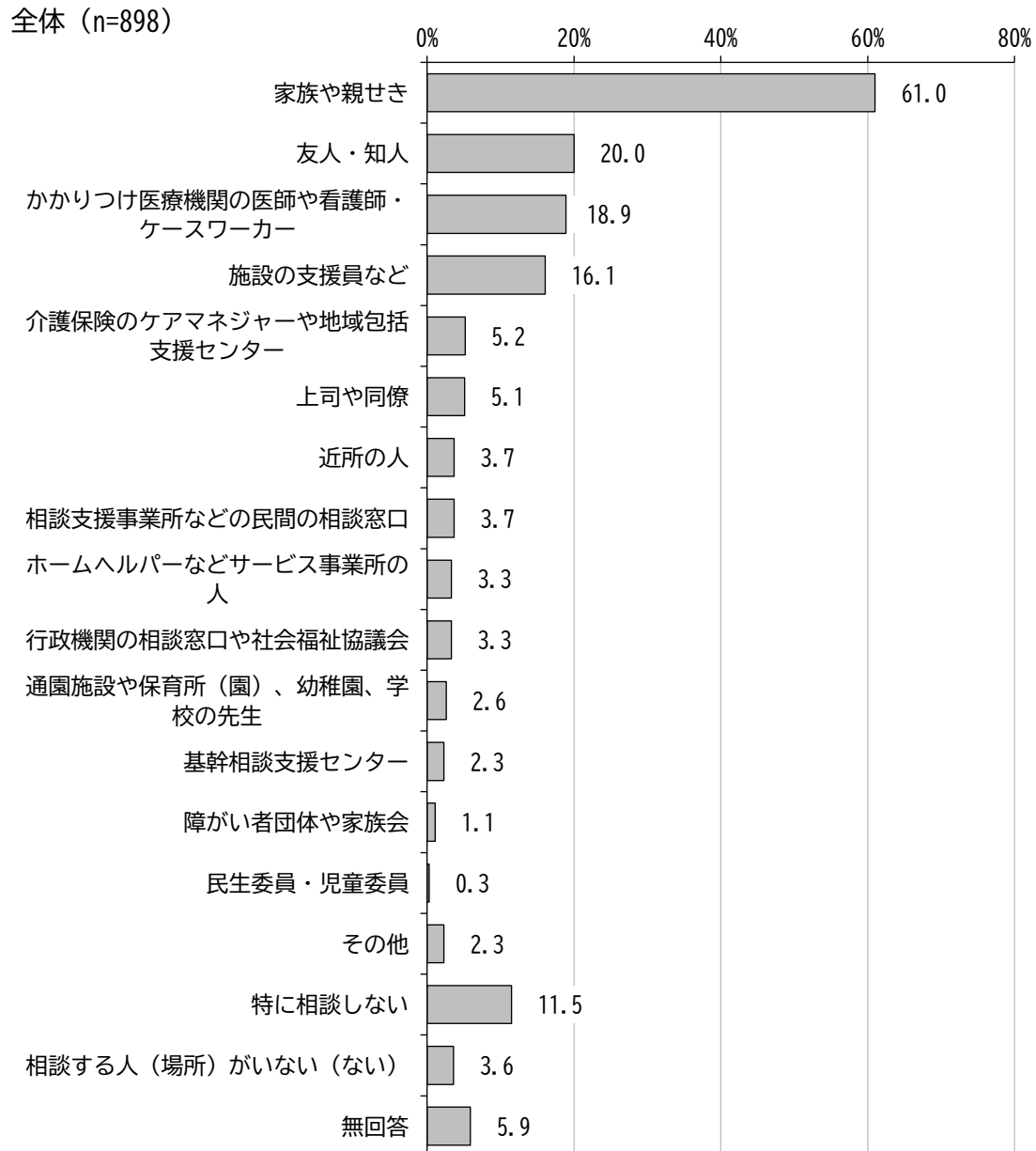
居住形態別でみると、おおむね「生活費について」「健康や医療のことについて」が上位となっています。また、グループホームや福祉施設では「特に不安や悩みはない」が他の区分に比べて多くなっています。

単位：％		住まいの場について	生活費について	健康や医療のことについて	着替えや食事、家事について	支援者について	家族との関係について	お金の管理について	意思表示・意思疎通について	移動や外出について
全体（n=898）		13.3	37.3	37.9	9.0	9.1	9.9	15.1	12.0	18.4
居住形態別	一般の住宅（n=704）	12.9	40.1	38.4	9.2	9.4	10.1	15.2	10.7	19.2
	グループホーム（n=53）	9.4	18.9	34.0	11.3	15.1	17.0	18.9	28.3	17.0
	福祉施設（障害者支援施設）（n=47）	8.5	8.5	31.9	0.0	0.0	4.3	8.5	10.6	2.1
	福祉施設（高齢者施設）（n=16）	18.8	25.0	56.3	12.5	12.5	12.5	12.5	18.8	18.8
	病院（入院中）（n=8）	50.0	62.5	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	その他（n=31）	32.3	58.1	45.2	12.9	6.5	9.7	19.4	12.9	41.9

単位：％		日中の活動について	余暇活動について	学校について	仕事について	近所との関係について	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（n=898）		8.4	5.8	2.6	14.6	5.6	2.1	23.4	7.0
居住形態別	一般の住宅（n=704）	8.0	5.4	3.1	15.8	6.5	1.4	22.9	7.0
	グループホーム（n=53）	13.2	15.1	0.0	9.4	0.0	5.7	32.1	1.9
	福祉施設（障害者支援施設）（n=47）	6.4	0.0	0.0	2.1	0.0	4.3	42.6	4.3
	福祉施設（高齢者施設）（n=16）	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	12.5
	病院（入院中）（n=8）	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	その他（n=31）	9.7	12.9	3.2	29.0	9.7	6.5	9.7	6.5

問 29 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなた（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことの相談先については、「家族や親せき」が 61.0%と最も多く、次いで「友人・知人」が 20.0%、「かかりつけ医療機関の医師や看護師・ケースワーカー」が 18.9%となっています。



■障がい種別

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「家族や親せき」が最も多くなっています。また、知的障がい、障害児通所支援では「施設の支援員など」、精神障がい等では「かかりつけ医療機関の医師や看護師・ケースワーカー」が他の種別に比べて多くなっています。

単位：％		家族や親せき	友人・知人	近所の人	上司や同僚	施設の支援員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	障がい者団体や家族会	民生委員・児童委員	かかりつけ医療機関の医師や看護師・ケースワーカー
全体（n=898）		61.0	20.0	3.7	5.1	16.1	3.3	1.1	0.3	18.9
障がい種別	身体障がい（n=490）	62.9	20.6	4.9	3.5	8.6	2.4	0.8	0.6	16.1
	知的障がい（n=217）	50.7	12.4	1.8	8.3	41.5	5.5	2.3	0.5	12.4
	精神障がい等（n=220）	62.3	23.6	1.8	6.4	19.1	5.0	1.8	0.0	33.6
	障害児通所支援（n=102）	74.5	17.6	2.9	8.8	33.3	4.9	3.9	0.0	25.5
	その他（n=111）	54.1	18.9	3.6	2.7	25.2	4.5	0.9	0.0	18.0

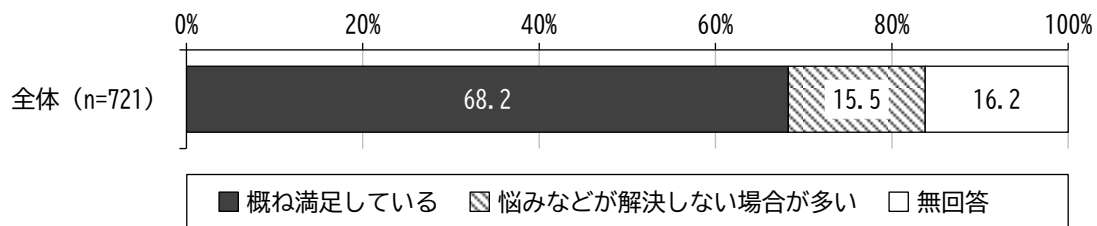
単位：％		介護保険のケアマネジャー や地域包括支援センター	幼稚園、学校の先生	通園施設や保育所（園）、	基幹相談支援センター	相談支援事業所などの民間 の相談窓口	福祉協議会	行政機関の相談窓口や社会	その他	特に相談しない	相談する人（場所）がいな い（ない）	無回答
全体（n=898）		5.2	2.6	2.3	3.7	3.3	2.3	11.5	3.6	5.9		
障がい種別	身体障がい（n=490）	7.1	0.2	0.8	1.6	3.5	2.4	11.4	3.3	6.5		
	知的障がい（n=217）	2.8	4.1	5.5	8.8	3.2	1.8	13.4	1.4	6.5		
	精神障がい等（n=220）	5.5	0.9	5.0	7.3	5.0	2.7	10.5	6.4	4.1		
	障害児通所支援（n=102）	2.0	13.7	11.8	16.7	6.9	2.0	5.9	1.0	4.9		
	その他（n=111）	9.9	0.9	2.7	4.5	1.8	3.6	13.5	1.8	7.2		

【問 29 で「特に相談しない」「相談する人（場所）がない（ない）」以外を選択した人
 がお答えください。】

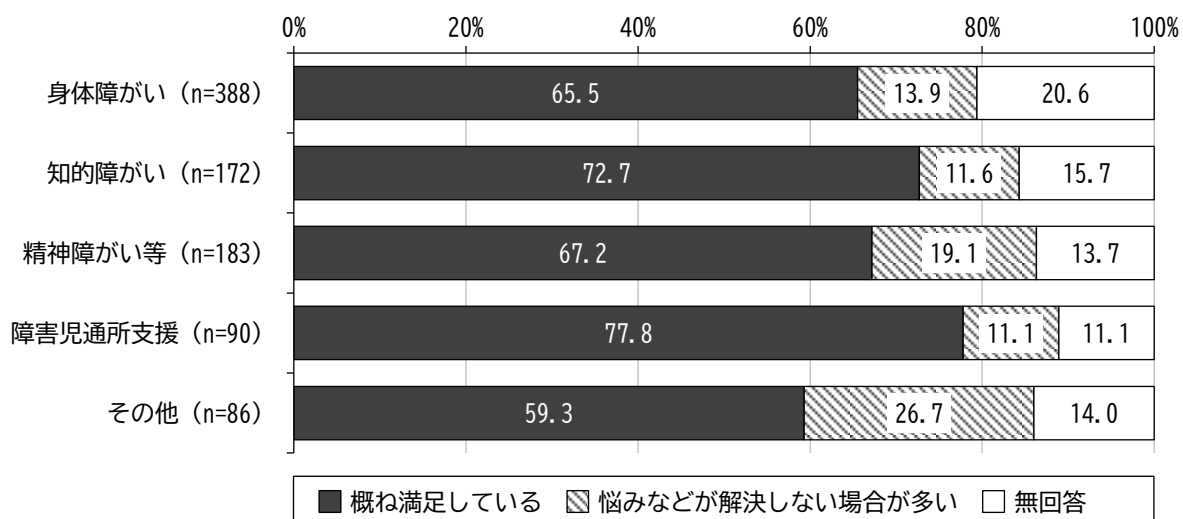
問 30 あなたは、相談した結果や対応に満足していますか。（○は1つだけ）

相談した結果や対応への満足度については、「概ね満足している」が 68.2%、「悩みなどが解決しない場合が多い」が 15.5%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「概ね満足している」が半数以上を占めていますが、精神障がい等では「悩みなどが解決しない場合が多い」が 19.1%と他の種別に比べてやや多くなっています。



■障がい種別

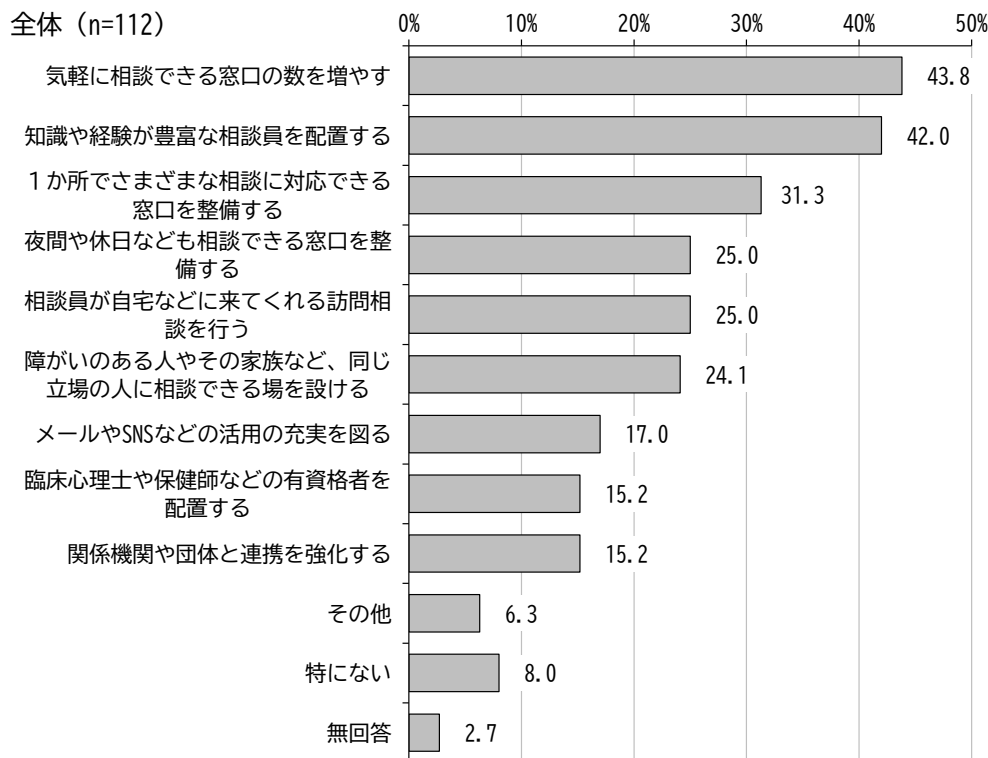


【問 30 で「悩みなどが解決しない場合が多い」を選択した人がお答えください。】

問 31 相談支援事業を充実するために（あなたが相談した時に満足できるよう）、特にどのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

相談支援事業を充実するために重要なことについては、「気軽に相談できる窓口の数を増やす」が 43.8%と最も多く、次いで「知識や経験が豊富な相談員を配置する」が 42.0%、「1 か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する」が 31.3%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「気軽に相談できる窓口の数を増やす」、知的障がい、障害児通所支援では「知識や経験が豊富な相談員を配置する」、精神障がい等では「知識や経験が豊富な相談員を配置する」「気軽に相談できる窓口の数を増やす」が最も多くなっています。



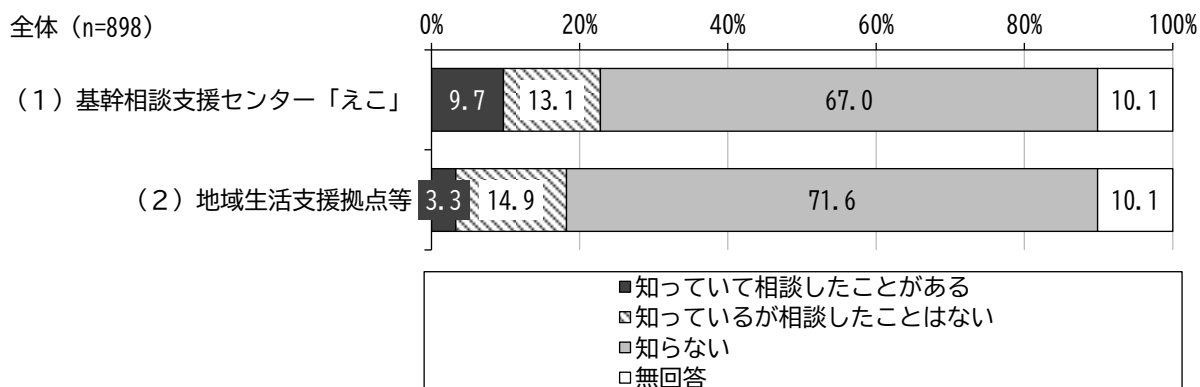
■障がい種別

単位：%		を知識や経験が豊富な相談員	有資格者（臨床心理士や保健師など）を配置する	を気軽に相談できる窓口の数を増やす	1 か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する	夜間や休日なども相談できる窓口を整備する	相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う	障がいのある人やその家族など、同じ立場の人に相談できる場を設ける	関係機関や団体と連携を強化する	メールやSNSなどの活用の充実を図る	その他	特にない	無回答
全体（n=112）		42.0	15.2	43.8	31.3	25.0	25.0	24.1	15.2	17.0	6.3	8.0	2.7
障がい種別	身体障がい（n=54）	31.5	5.6	42.6	31.5	22.2	20.4	22.2	13.0	14.8	11.1	7.4	1.9
	知的障がい（n=20）	60.0	5.0	30.0	25.0	15.0	25.0	25.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	精神障がい等（n=35）	48.6	31.4	48.6	31.4	28.6	25.7	25.7	17.1	20.0	0.0	14.3	2.9
	障害児通所支援（n=10）	50.0	20.0	30.0	30.0	10.0	30.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0
	その他（n=23）	39.1	0.0	34.8	30.4	17.4	26.1	30.4	17.4	8.7	13.0	4.3	0.0

問 32 あなたは、富津市における次の相談・支援先や制度を知っていますか。((1)と(2)それぞれ○は1つだけ)

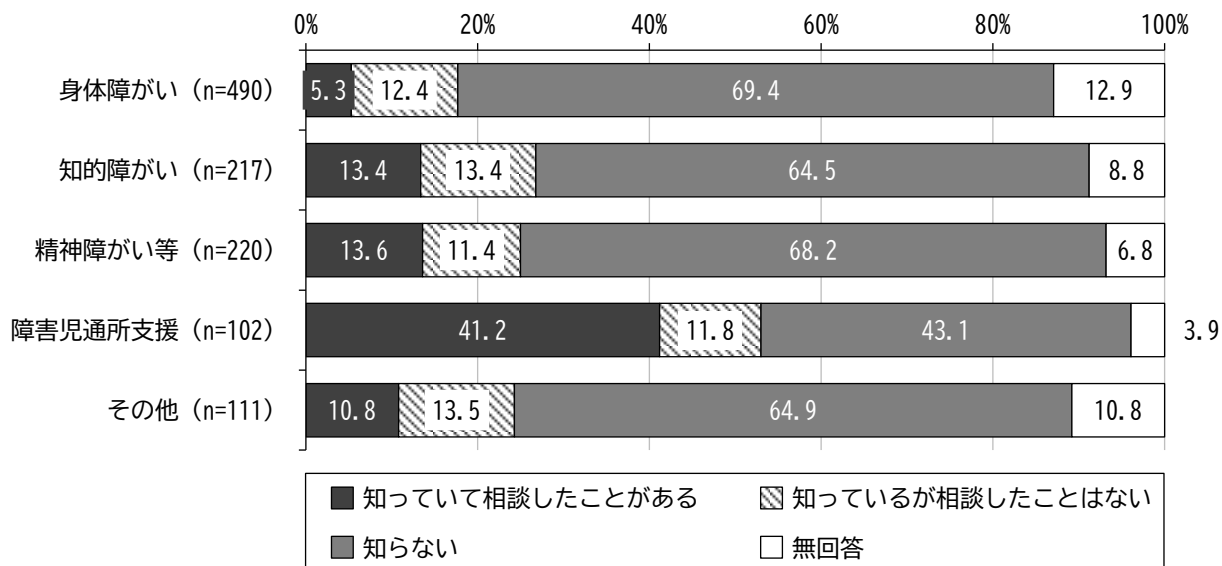
基幹相談支援センター「えこ」の認知・利用状況については、「知らない」が 67.0%と最も多く、次いで「知っているが相談したことはない」が 13.1%、「知っていて相談したことがある」が 9.7%となっています。

地域生活支援拠点等の認知・利用状況については、「知らない」が 71.6%と最も多く、次いで「知っているが相談したことはない」が 14.9%、「知っていて相談したことがある」が 3.3%となっています。



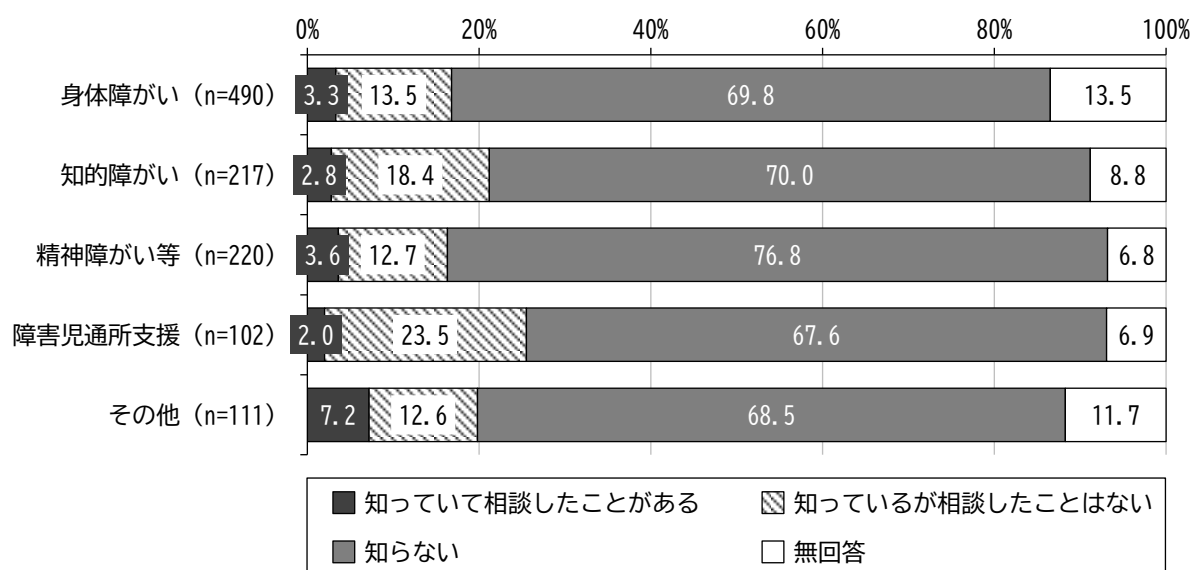
■基幹相談支援センター「えこ」の認知・利用状況（障がい種別）

障がい種別でみると、障害児通所支援を除いて、いずれの障がい種別においても、「知らない」が半数を超えています。障害児通所支援では、基幹相談支援センター「えこ」について「知っていて相談したことがある」が 41.2%と他の種別に比べて多くなっています。



■地域生活支援拠点等の認知・利用状況（障がい種別）

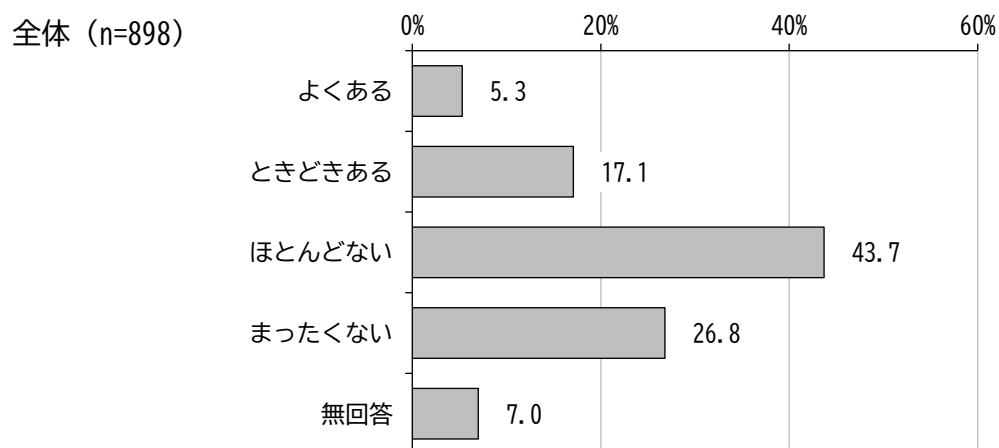
障がい種別でみると、いずれの障がい種別においても、地域生活支援拠点等を「知らない」が半数を超えています。



問 33 あなたは、ここ3年間において、障がいがあることで差別を感じたり、嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

ここ3年間で障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをしたことについては、「ほとんどない」が43.7%と最も多く、次いで「まったくない」が26.8%、「ときどきある」が17.1%となっています。

障がい種別でみると、障害児通所支援では「よくある」「ときどきある」が他の種別に比べて多くなっています。



■障がい種別

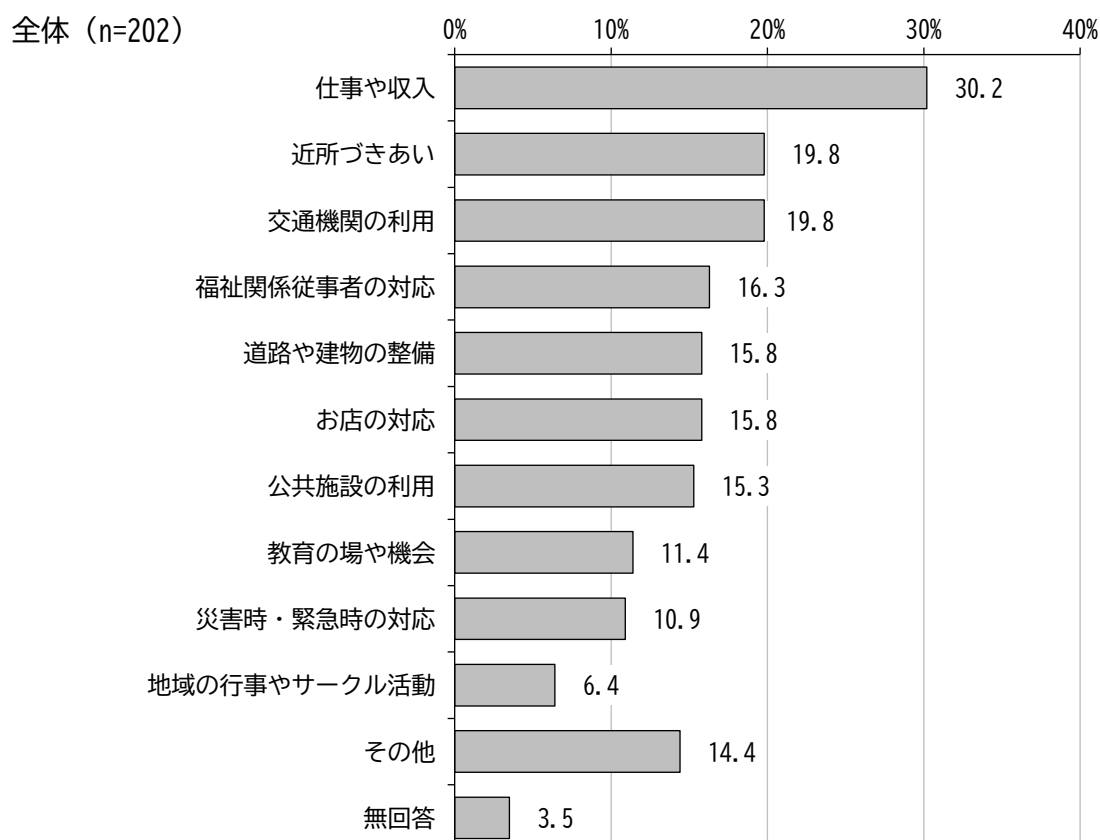
単位：%		よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	無回答
全体（n=898）		5.3	17.1	43.7	26.8	7.0
障がい種別	身体障がい（n=490）	4.5	13.9	45.7	27.6	8.4
	知的障がい（n=217）	5.5	19.8	43.3	22.6	8.8
	精神障がい等（n=220）	7.3	21.4	42.7	24.1	4.5
	障害児通所支援（n=102）	13.7	30.4	38.2	9.8	7.8
	その他（n=111）	11.7	18.9	38.7	24.3	6.3

【問 33 で「よくある」「ときどきある」を選択した人がお答えください。】

問 34 どのようなことで差別を感じたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなことで差別を感じたり嫌な思いをしたかについては、「仕事や収入」が 30.2%と最も多く、次いで「近所づきあい」「交通機関の利用」がそれぞれ 19.8%と同率で続いています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「道路や建物の整備」、知的障がいでは「交通機関の利用」、精神障がい等では「仕事や収入」、障害児通所支援では「教育の場や機会」が最も多くなっています。



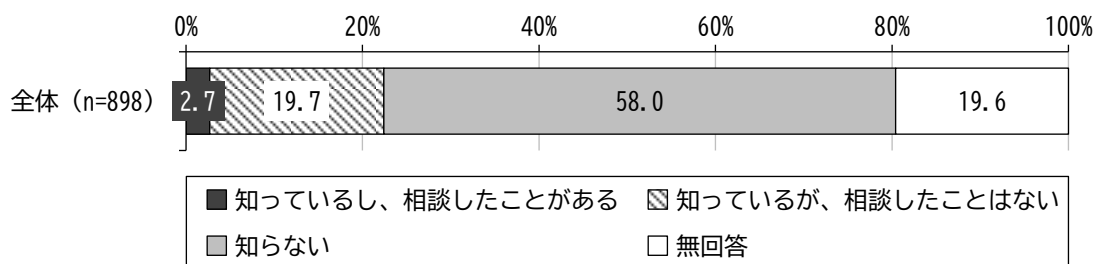
障がい種別

単位：%		教育の場や機	仕事や収入	地域の行事や活動	近所づきあい	道路や建物の整備	災害時・緊急時の対応	交通機関の利用	公共施設の利用	福祉関係従事者の対応	お店の対応	その他	無回答
全体 (n=202)		11.4	30.2	6.4	19.8	15.8	10.9	19.8	15.3	16.3	15.8	14.4	3.5
障がい種別	身体障がい (n=90)	5.6	28.9	10.0	20.0	31.1	12.2	23.3	17.8	14.4	16.7	15.6	5.6
	知的障がい (n=55)	20.0	25.5	0.0	10.9	5.5	12.7	27.3	21.8	20.0	21.8	5.5	3.6
	精神障がい等 (n=63)	6.3	34.9	7.9	27.0	6.3	12.7	12.7	12.7	20.6	12.7	22.2	1.6
	障害児通所支援 (n=45)	31.1	13.3	4.4	15.6	2.2	11.1	20.0	26.7	17.8	20.0	8.9	2.2
	その他 (n=34)	5.9	32.4	11.8	23.5	29.4	17.6	32.4	26.5	29.4	17.6	17.6	5.9

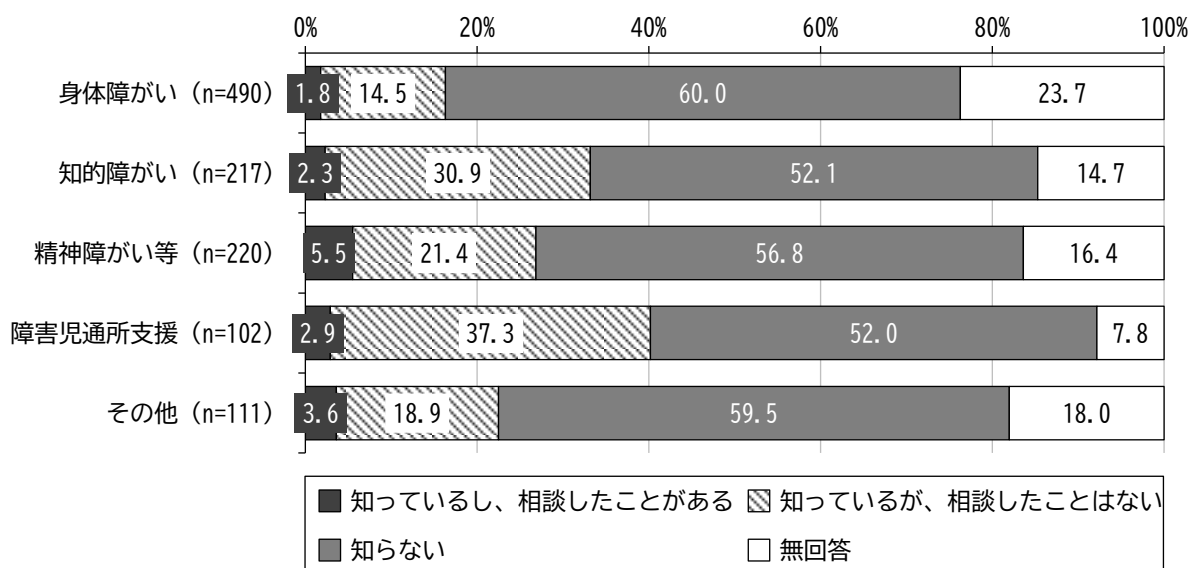
問 35 あなたが差別を受けたときや虐待があったときに、どこに相談するか知っていますか。相談したことがある人は該当する相談内容に○をつけてください。（それぞれ○は1つだけ）

差別や虐待があったときの相談先の認知・利用状況については、「知らない」が58.0%と最も多く、次いで「知っているが、相談したことはない」が19.7%、「知っているし、相談したことがある」が2.7%となっています。

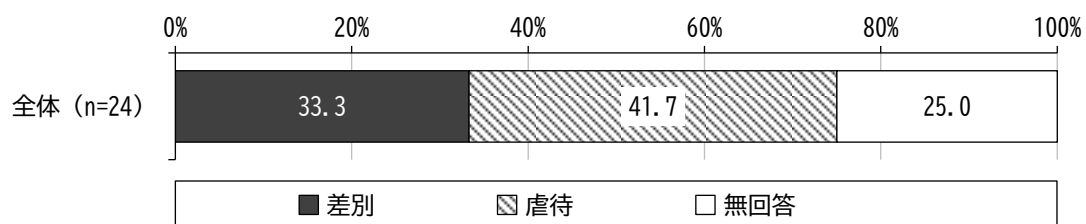
障がい種別でみると、いずれの障がい種別においても「知らない」が半数を超えており、最も多くなっています。



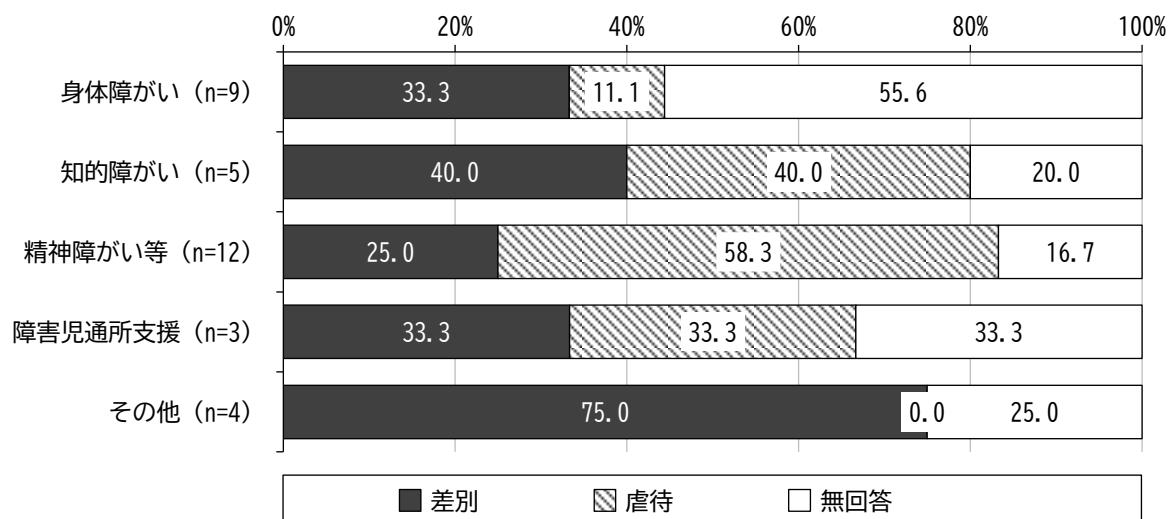
■障がい種別



相談の内容については、「虐待」が41.7%、「差別」が33.3%となっています。



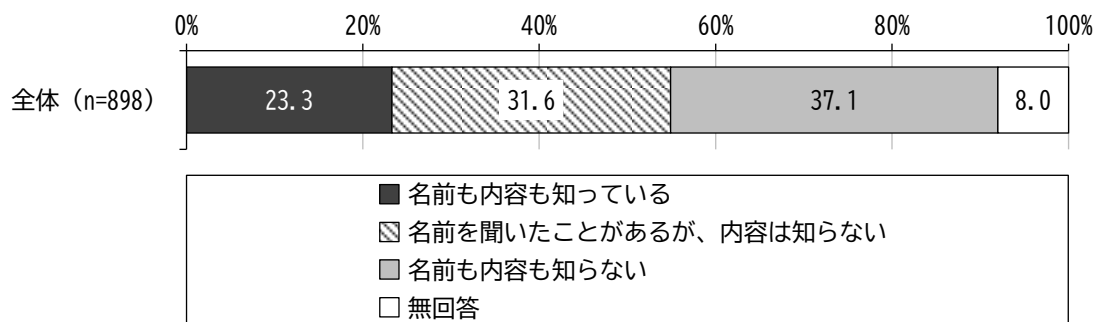
■障がい種別（参考）



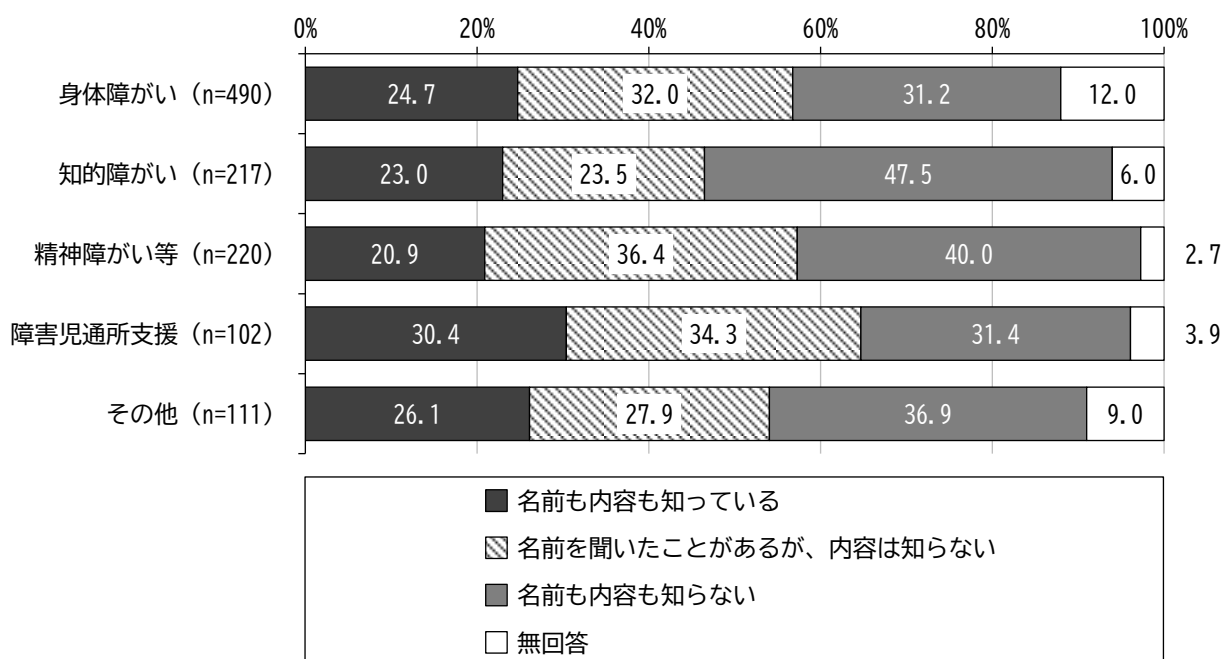
問 36 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

「成年後見制度」の認知度については、「名前も内容も知らない」が37.1%と最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.6%、「名前も内容も知っている」が23.3%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、障害児通所支援では「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」、知的障がい、精神障がい等では「名前も内容も知らない」が最も多くなっており、身体障がい、障害児通所支援に比べて知的障がい、精神障がい等における認知度が低くなっています。



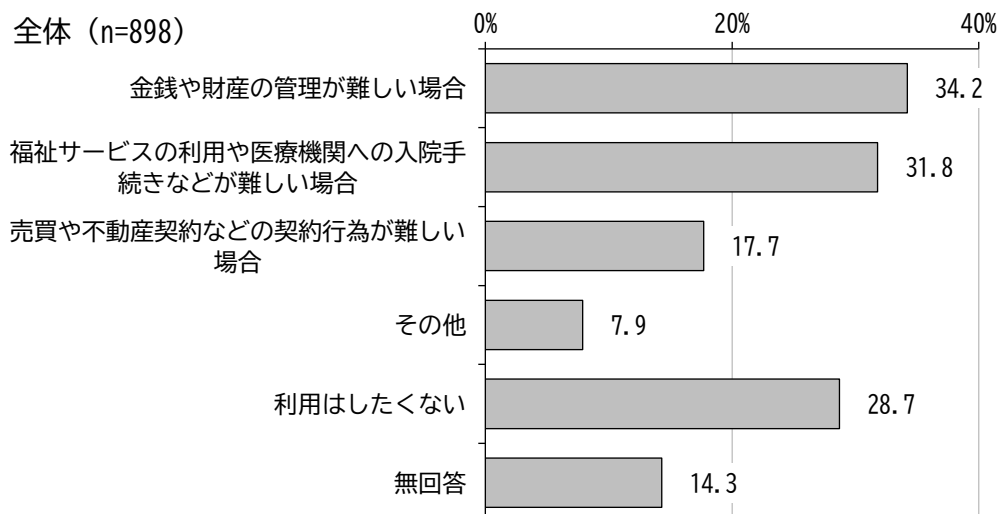
■障がい種別



問 37 あなたは、どのような状況になった場合、成年後見制度を利用したいですか。（あてはまるものすべてに○）

どのような状況になった場合に成年後見制度を利用したいかについては、「金銭や財産の管理が難しい場合」が 34.2%と最も多く、次いで「福祉サービスの利用や医療機関への入院手続きなどが難しい場合」が 31.8%、「利用はしたくない」が 28.7%となっています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「利用はしたくない」、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では「金銭や財産の管理が難しい場合」が最も多くなっています。また、次いで「福祉サービスの利用や医療機関への入院手続きなどが難しい場合」も多くなっています。



■障がい種別

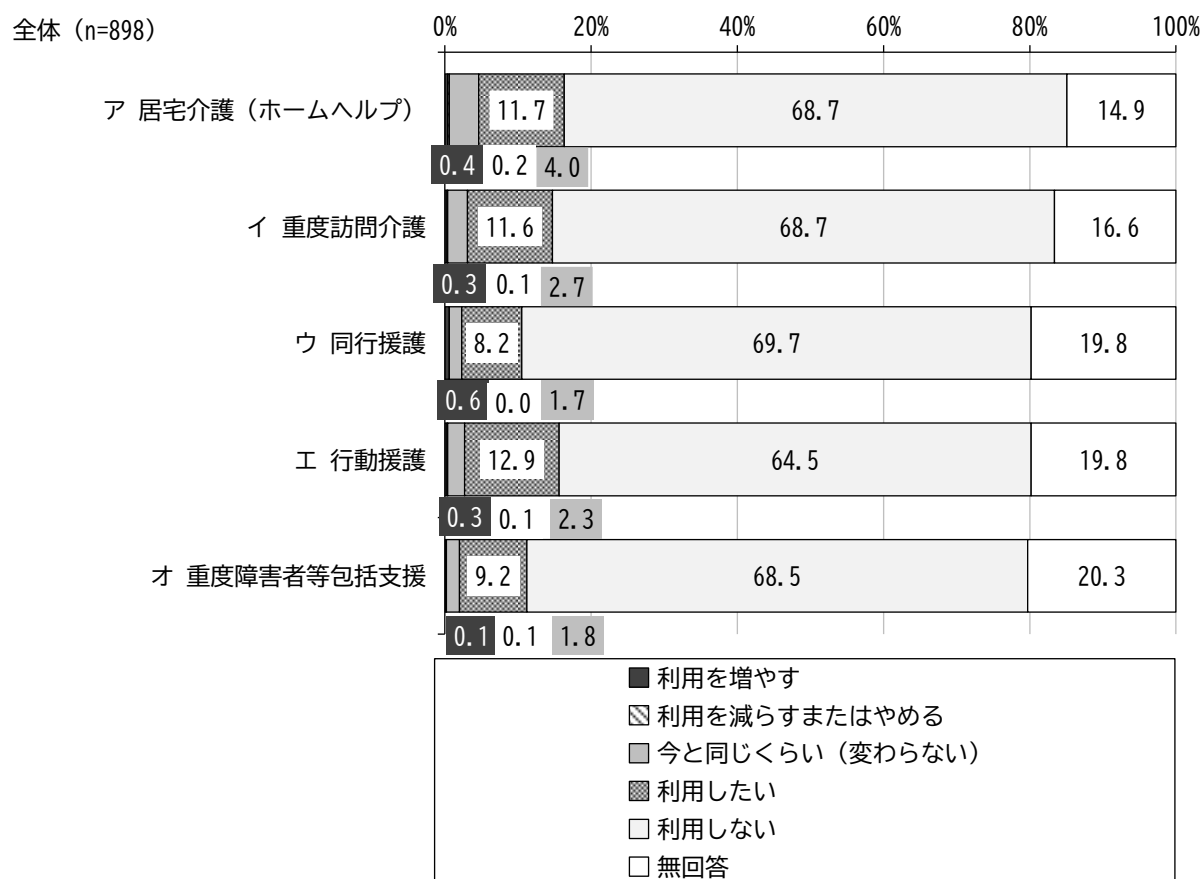
単位：%		金銭や財産の管理が難しい場合	売買や不動産契約などの契約行為が難しい場合	福祉サービスの利用や医療機関への入院手続きなどが難しい場合	その他	利用はしたくない	無回答
全体（n=898）		34.2	17.7	31.8	7.9	28.7	14.3
障がい種別	身体障がい（n=490）	25.5	13.5	28.0	6.9	32.7	18.6
	知的障がい（n=217）	39.2	15.2	36.9	17.1	20.3	11.1
	精神障がい等（n=220）	40.9	23.2	34.1	4.5	28.6	10.5
	障害児通所支援（n=102）	58.8	30.4	49.0	7.8	15.7	8.8
	その他（n=111）	25.2	10.8	33.3	14.4	26.1	14.4

5. 障害福祉サービスの利用についてお聞きします。

問 38 次の㉠～㉤の各サービスについて、「現在の利用」の状況に応じて、今後3年以内の利用希望についてお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

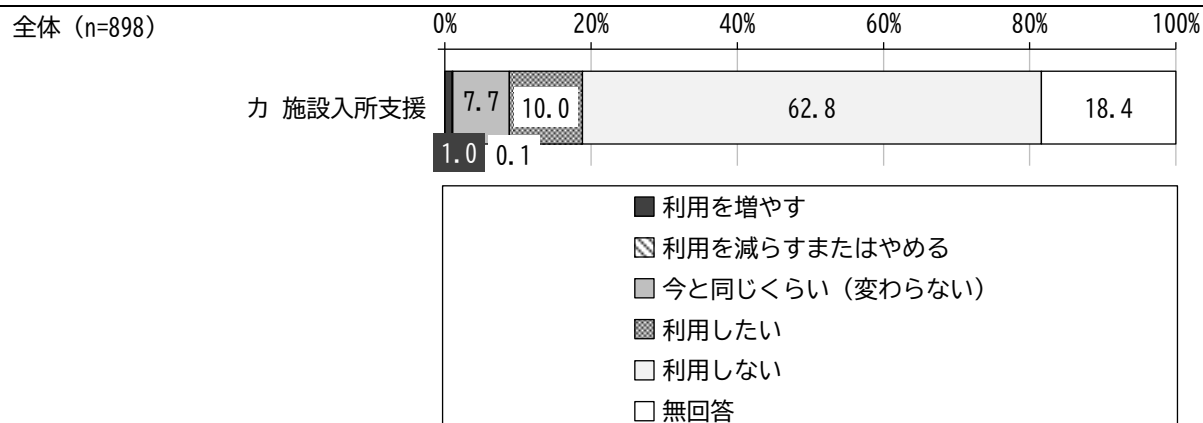
■訪問による支援

訪問による支援については、いずれも「利用しない」が60%を超えて最も高く、次いで「利用したい」が10%前後となっています。



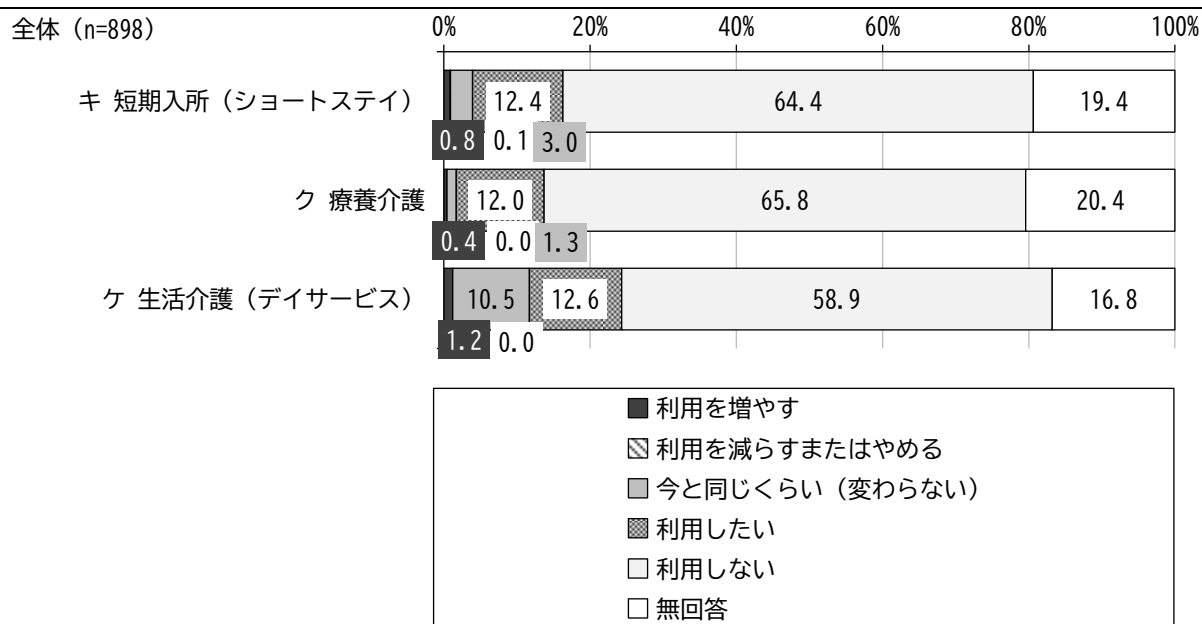
■入所者支援

入所者支援については、「利用しない」が62.8%と最も高く、次いで「利用したい」が10.0%、「今と同じくらい（変わらない）」が7.7%となっています。



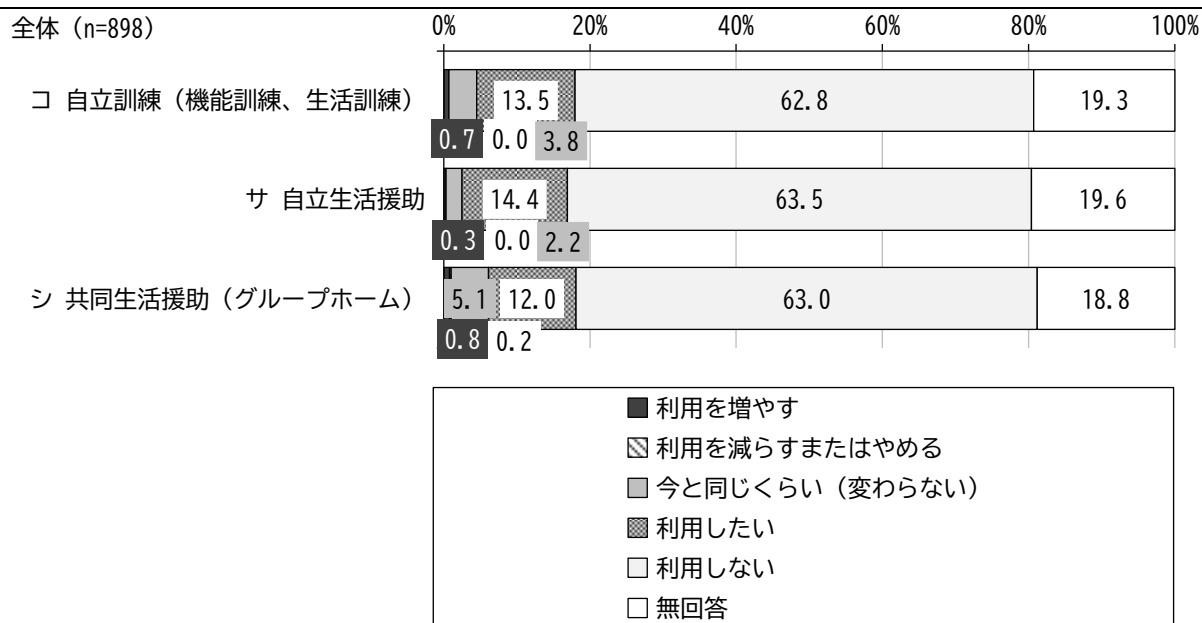
■昼間の生活の支援

昼間の生活の支援については、いずれも「利用しない」が半数を超えて最も高く、次いで「利用したい」が10%以上となっています。ケ 生活介護（デイサービス）では、「今と同じくらい（変わらない）」が10.5%と他のサービスに比べて高くなっています。



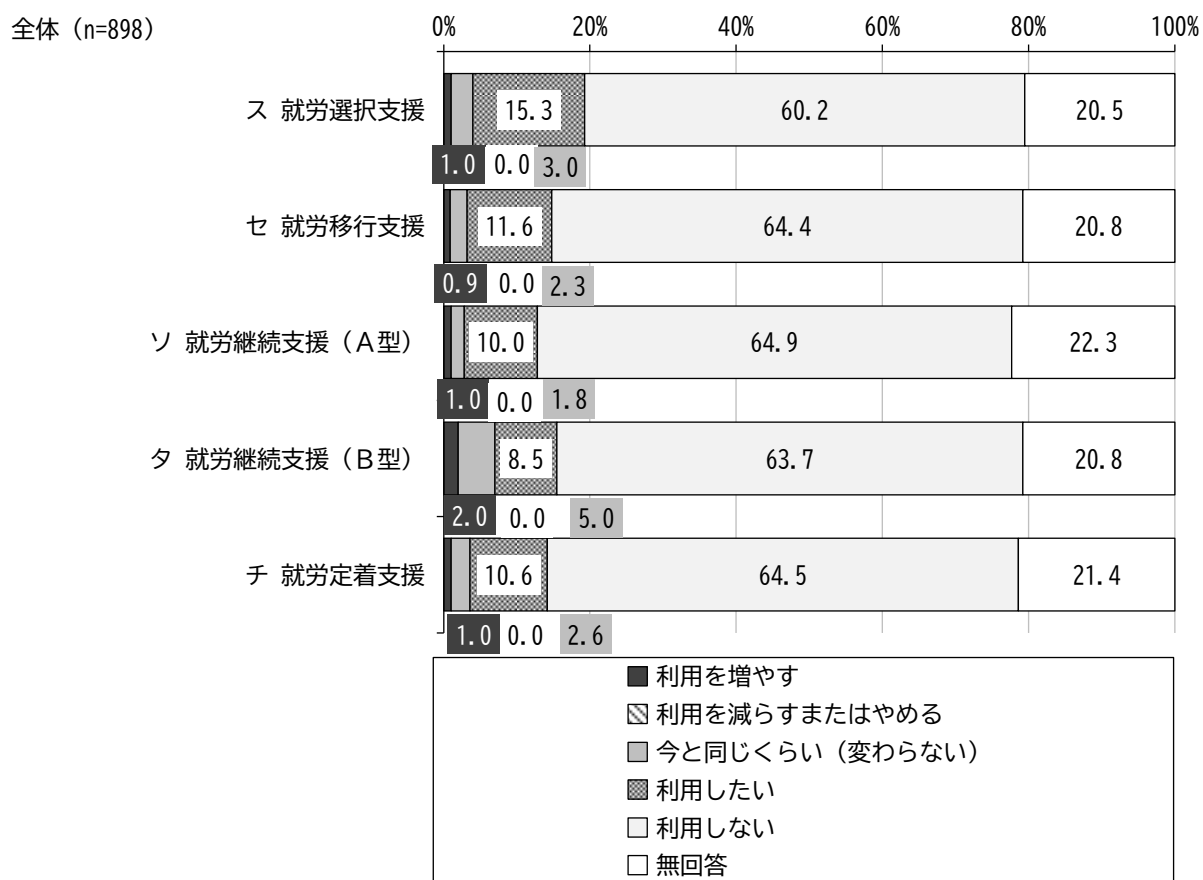
■自立した生活のための支援

自立した生活のための支援については、いずれも「利用しない」が60%を超えて最も高く、次いで「利用したい」が10%以上となっています。



■就労の支援

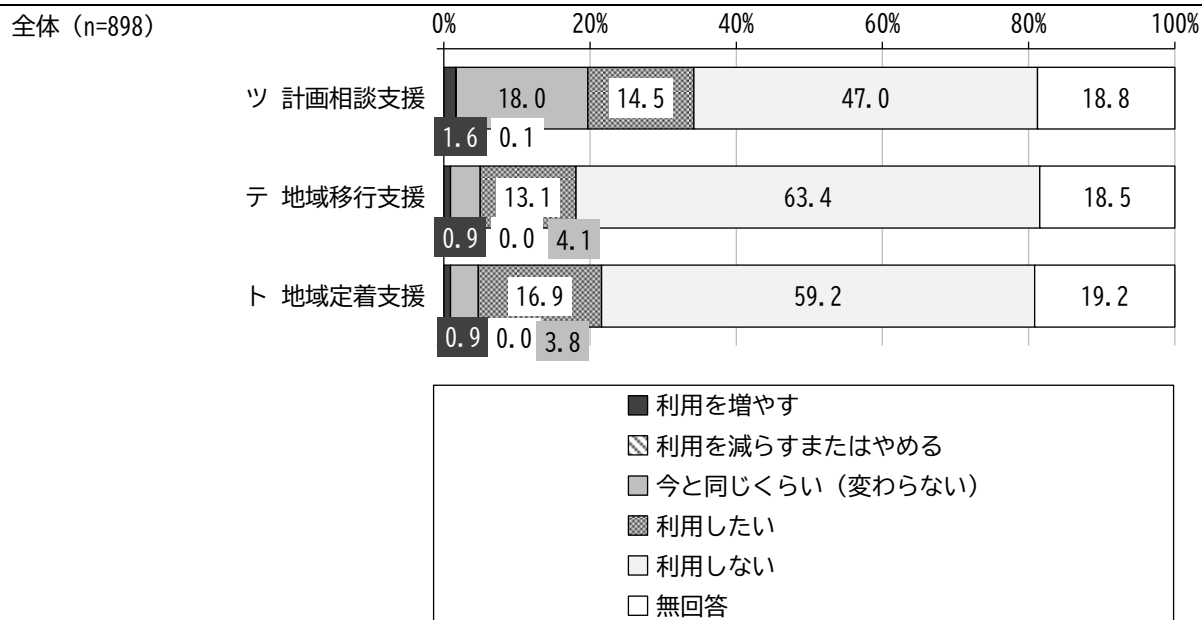
就労の支援については、いずれも「利用しない」が60%を超えて最も高くなっています。次いで、「利用したい」が【ス 就労選択支援】では15.3%、その他のサービスでは10%前後となっています。



■相談支援

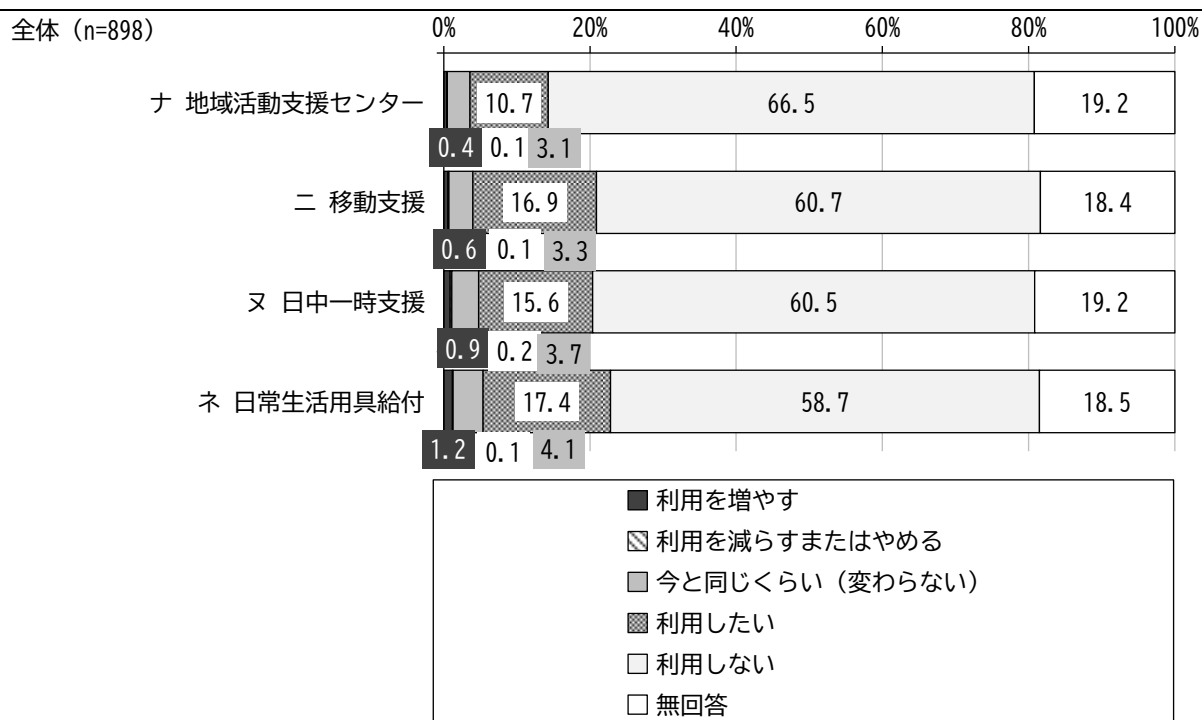
相談支援については、ツ 計画相談支援では「利用しない」が47.0%と最も高く、次いで「今と同じくらい（変わらない）」が18.0%、「利用したい」が14.5%となっています。

テ 地域移行支援、ト 地域定着支援では「利用しない」が60%を超えて最も高く、次いで「利用したい」が10%以上となっています。



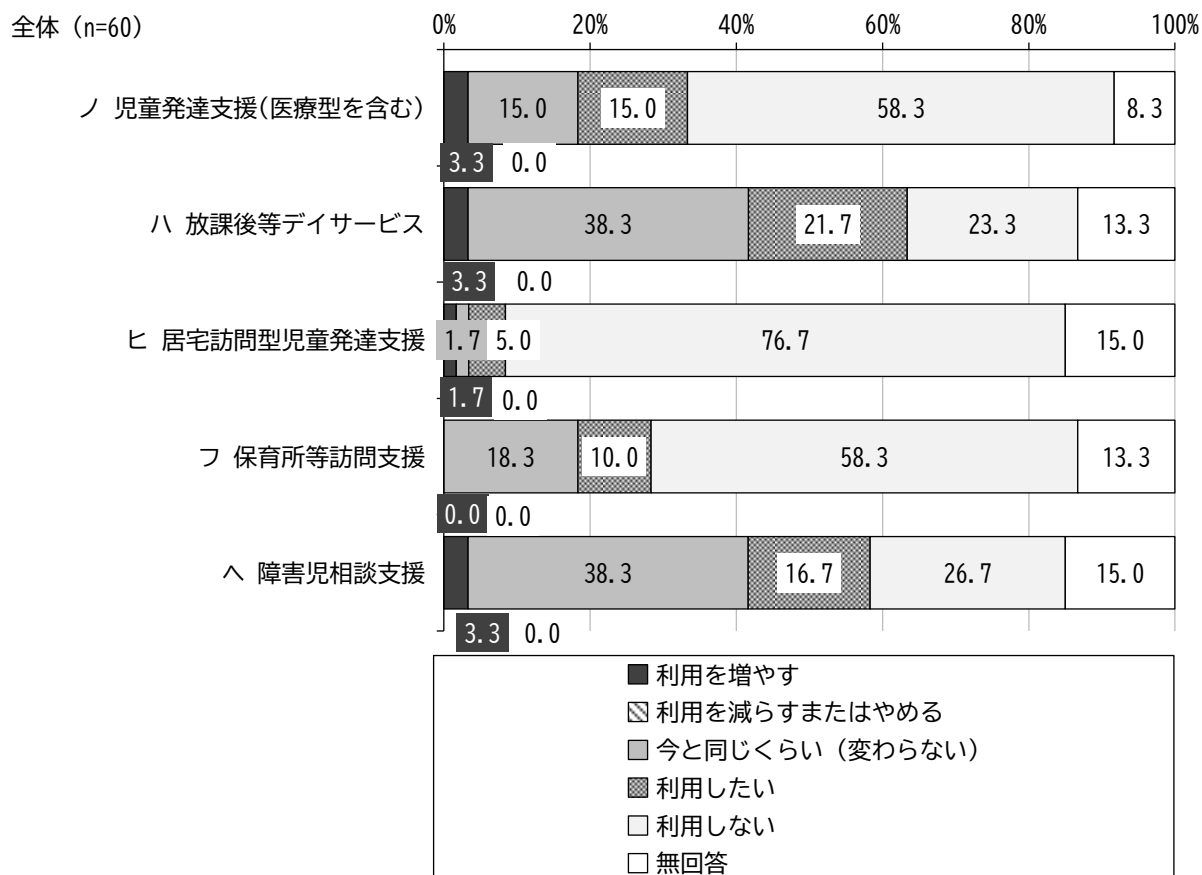
■地域生活支援事業

地域生活支援事業については、いずれも「利用しない」が半数を超えて最も高く、次いで「利用したい」が10%以上となっています。ナ 地域活動支援センターでは、「利用したい」が10.7%と他のサービスに比べてやや低くなっています。



■障害児福祉サービス

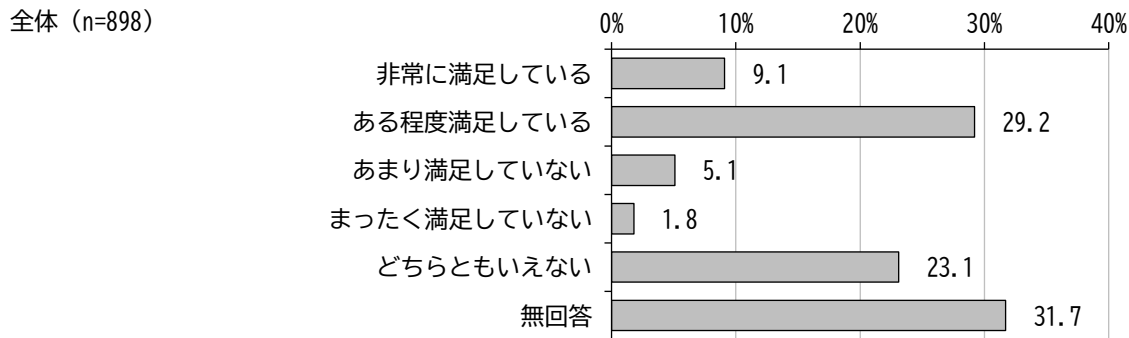
障害児福祉サービスについては、ハ 放課後等デイサービス、ヘ 障害児相談支援では「今と同じくらい（変わらない）」が最も高くともに 38.3%となっています。その他のサービスでは「利用しない」が最も高く、次いでノ 児童発達支援(医療型を含む)、フ 保育所等訪問支援では「今と同じくらい（変わらない）」がそれぞれ 15.0%、18.3%と続いています。



問 39 現在のサービス利用状況に満足していますか。(○は1つだけ)

現在のサービス利用状況への満足度については、「ある程度満足している」が 29.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 23.1%、「非常に満足している」が 9.1%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、障害児通所支援では「ある程度満足している」が最も多く、精神障がい等では「ある程度満足している」、「どちらともいえない」が同率で最も多くなっています。



■障がい種別

単位：%		非常に満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	どちらともいえない	無回答
全体 (n=898)		9.1	29.2	5.1	1.8	23.1	31.7
障がい種別	身体障がい (n=490)	5.9	25.7	3.7	1.2	25.1	38.4
	知的障がい (n=217)	14.7	44.2	5.5	0.9	13.4	21.2
	精神障がい等 (n=220)	12.7	25.5	6.8	3.2	25.5	26.4
	障害児通所支援 (n=102)	10.8	49.0	9.8	2.9	10.8	16.7
	その他 (n=111)	9.0	35.1	8.1	3.6	17.1	27.0

■回答者別

回答者別でみると、本人では「どちらともいえない」が最も多くなっています。本人の家族、家族以外の支援（介助）者では「ある程度満足している」が最も多くなっており、本人に比べて満足度は高めで推移しています。

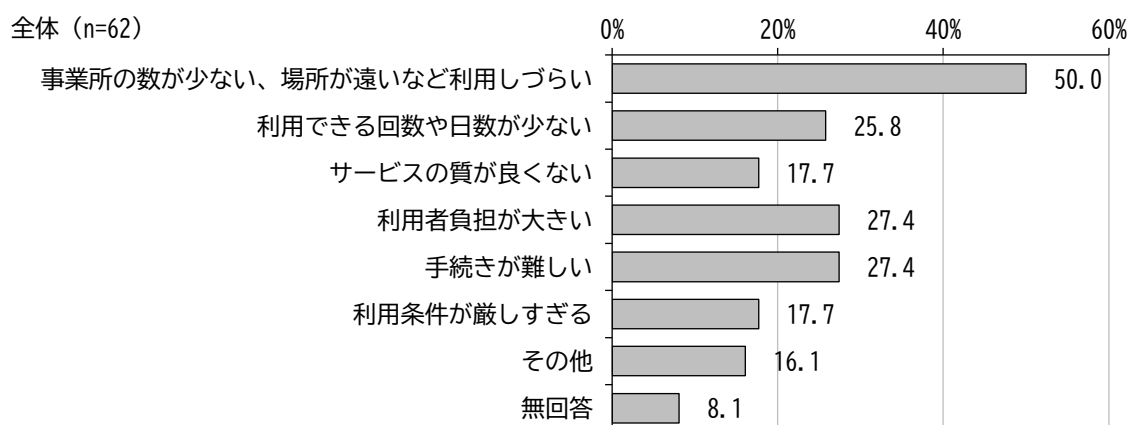
単位：％		て非 い常 るに 満足 し	しあ てる い程 度満 足	てあ いま ない 満足 し	しま てつ いた なく 満足	えど ない らと もい	無 回 答
全体（n=898）		9.1	29.2	5.1	1.8	23.1	31.7
回 答 者 別	本人（調査票の宛名の人） （n=522）	7.5	21.8	4.4	1.7	28.2	36.4
	本人の家族（n=213）	11.7	36.2	9.4	1.9	16.9	23.9
	家族以外の支援（介助）者 （n=65）	21.5	56.9	0.0	0.0	12.3	9.2

【問 39 で「あまり満足していない」「まったく満足していない」を選択した人がお答えください。】

問 40 具体的に不満に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

具体的に不満に感じていることについては、「事業所の数が少ない、場所が遠いなど利用しづらい」が 50.0%と最も多く、次いで「利用者負担が大きい」「手続きが難しい」がそれぞれ 27.4%と同率で続いています。

障がい種別でみると、身体障がいでは「利用者負担が大きい」、知的障がい、精神障がい等、障害児通所支援では「事業所の数が少ない、場所が遠いなど利用しづらい」が最も多くなっています。



■障がい種別

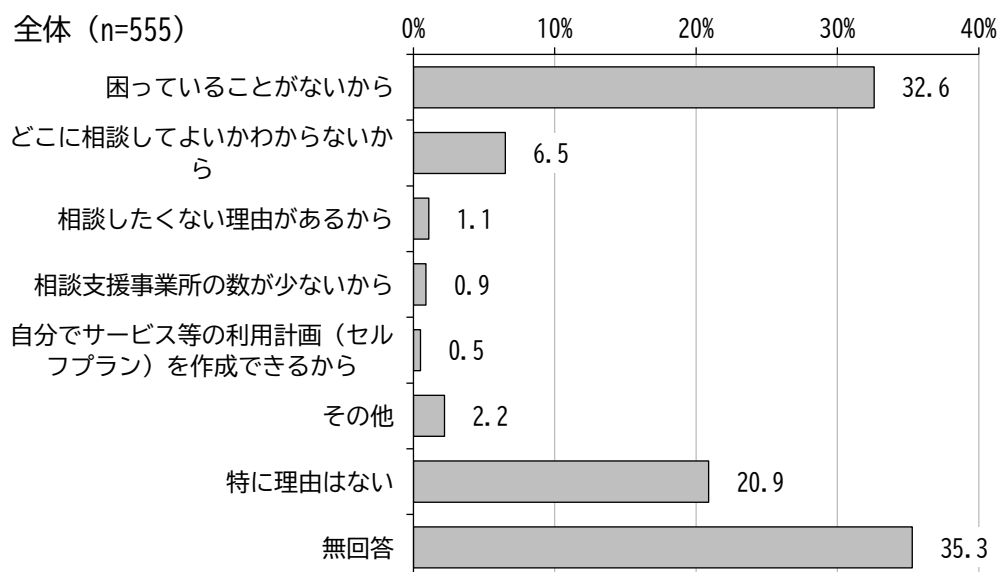
単位：%		事業所の数が少ない、場所が遠いなど利用しづらい	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質が良くない	利用者負担が大きい	手続きが難しい	利用条件が厳しすぎる	その他	無回答
全体 (n=62)		50.0	25.8	17.7	27.4	27.4	17.7	16.1	8.1
障がい種別	身体障がい (n=24)	29.2	25.0	16.7	33.3	29.2	12.5	12.5	16.7
	知的障がい (n=14)	78.6	14.3	14.3	14.3	28.6	7.1	28.6	0.0
	精神障がい等 (n=22)	54.5	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	22.7	4.5
	障害児通所支援 (n=13)	84.6	30.8	30.8	7.7	23.1	0.0	23.1	0.0
	その他 (n=13)	46.2	30.8	7.7	30.8	23.1	7.7	15.4	23.1

【問 38 の㉞（計画相談支援）または㊦（障害児相談支援）で「利用したい」「利用しない」を選択した人がお答えください。】

問 41 ㉞（計画相談支援）または㊦（障害児相談支援）を現在利用していない理由は何ですか。（○は1つだけ）

㉞（計画相談支援）または㊦（障害児相談支援）を現在利用していない理由については、「困っていることがないから」が 32.6%と最も多く、次いで「特に理由はない」が 20.9%、「どこに相談してよいかわからないから」が 6.5%となっています。

障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、障害児通所支援では「困っていることがないから」、精神障がいでは「特に理由はない」が最も多くなっています。



■障がい種別

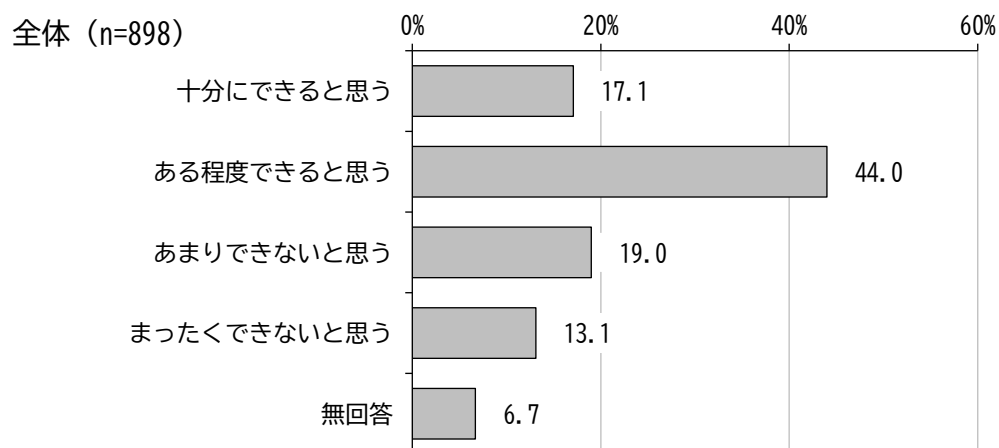
単位：%		困 っ て い る こ と が な い か	自 分 で サ ー ビ ス 等 の 利 用 計 画 （ セ ル フ プ ラ ン ） を 作 成 で き る か	相 談 支 援 事 業 所 の 数 が 少 な い か	ど こ に 相 談 し て よ い か わ ら な い か	相 談 し た く な い 理 由 が あ る か	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全体（n=555）		32.6	0.5	0.9	6.5	1.1	2.2	20.9	35.3
障 が い 種 別	身体障がい（n=320）	35.3	0.6	0.9	4.7	0.9	0.6	20.0	36.9
	知的障がい（n=87）	31.0	0.0	1.1	13.8	1.1	1.1	18.4	33.3
	精神障がい等（n=142）	25.4	0.0	0.7	9.2	2.1	4.2	26.1	32.4
	障害児通所支援（n=48）	25.0	2.1	6.3	14.6	2.1	8.3	8.3	33.3
	その他（n=51）	29.4	2.0	2.0	9.8	2.0	2.0	25.5	27.5

6. 災害時の避難等についてお聞きします。

問 42 あなたは、災害時に安全に避難できると感じますか。(○は1つだけ)

災害時に安全に避難できると感じるかについては、「ある程度できと思う」が 44.0%と最も多く、次いで「あまりできないと思う」が 19.0%、「十分にできと思う」が 17.1%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「ある程度できと思う」が最も多くなっています。また、知的障がいでは「まったくできないと思う」が身体障がいや精神障がい等、児通所支援に比べて多くなっています。



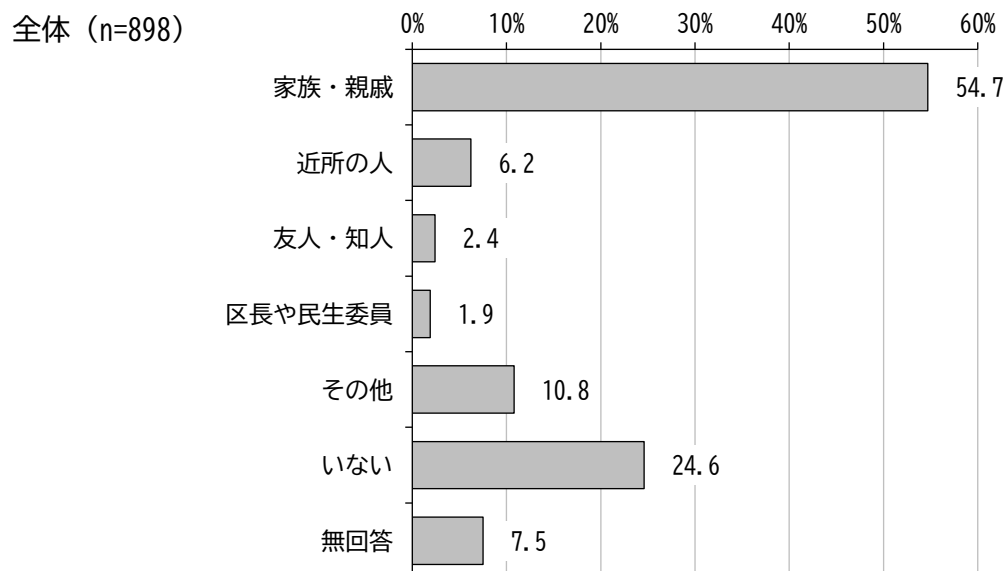
■障がい種別

単位：%		十分にでき 思うと	ある程度 でき 思う	あまり でき ない	まったく でき ない	無 回 答
全体 (n=898)		17.1	44.0	19.0	13.1	6.7
障 が い 種 別	身体障がい (n=490)	18.4	42.7	17.8	12.7	8.6
	知的障がい (n=217)	13.4	41.5	20.3	21.2	3.7
	精神障がい等 (n=220)	20.5	44.1	20.9	10.0	4.5
	障害児通所支援 (n=102)	12.7	44.1	24.5	14.7	3.9
	その他 (n=111)	8.1	40.5	17.1	23.4	10.8

問 43 避難する場合に頼まなくても支援に来てくれる事になっている人はいいますか。(あてはまるものすべてに○)

避難する場合に頼まなくても支援に来てくれる事になっている人については、「家族・親戚」が54.7%と最も多く、次いで「いない」が24.6%、「近所の人」が6.2%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「家族・親戚」が最も多くなっていますが、特に障害児通所支援で7割台と多くなっています。



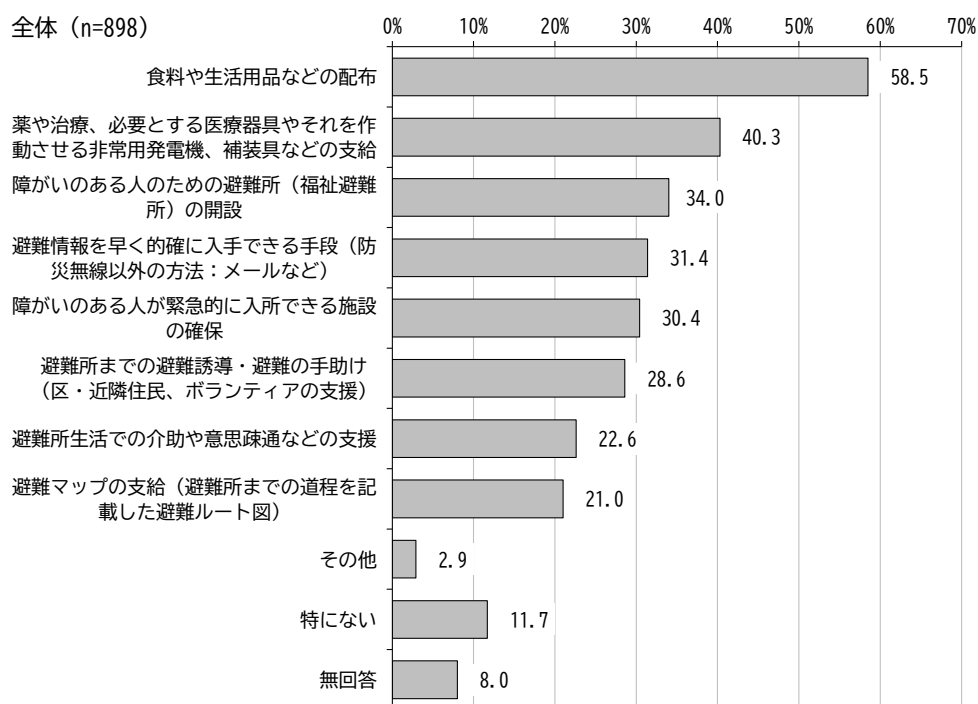
■障がい種別

単位：%		家族・親戚	友人・知人	近所の人	区長や民生委員	その他	いない	無回答
全体 (n=898)		54.7	2.4	6.2	1.9	10.8	24.6	7.5
障がい種別	身体障がい (n=490)	54.3	2.7	7.3	2.4	7.1	25.9	9.2
	知的障がい (n=217)	56.2	1.4	2.3	0.5	28.6	13.4	4.6
	精神障がい等 (n=220)	50.9	2.3	5.5	0.9	10.0	30.9	6.4
	障害児通所支援 (n=102)	75.5	2.0	2.0	1.0	8.8	12.7	3.9
	その他 (n=111)	47.7	1.8	5.4	0.9	21.6	17.1	10.8

問 44 台風や地震等の災害時にどのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害時に必要な支援については、「食料や生活用品などの配布」が 58.5%と最も多く、次いで「薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給」が 40.3%、「障がいのある人のための避難所（福祉避難所）の開設」が 34.0%となっています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「食料や生活用品などの配布」が最も多くなっています。次いで身体障がい、精神障がい等では「薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給」、知的障がい、障害児通所支援では「障がいのある人のための避難所（福祉避難所）の開設」が多くなっています。



■障がい種別

単位：%		手助け（区・近隣住民、ボランティアの支援）	避難所までの避難誘導・避難の手助け	避難情報を早急に入手できる手段（防災無線以外の方法：メールなど）	避難所生活での介助や意思疎通	食料や生活用品などの配布	機、補装具などを作動させる非常用医療器具	薬や治療、必要とする医療器具	障がいのある人のための避難所（福祉避難所）の開設	障がいのある施設が緊急的に入所できる人の確保	避難道程を記載した避難マップの支給（避難所までの道程を記載した避難ルート図）	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		28.6	31.4	22.6	58.5	40.3	34.0	30.4	21.0	2.9	11.7	8.0		
障がい種別	身体障がい（n=490）	24.9	29.4	20.6	56.5	43.9	33.1	30.0	19.2	2.4	11.0	9.8		
	知的障がい（n=217）	40.1	33.6	33.6	61.3	32.3	54.8	45.2	21.7	4.1	9.2	4.1		
	精神障がい等（n=220）	27.3	32.3	18.2	63.2	45.9	28.2	26.4	23.2	3.2	12.7	7.7		
	障害児通所支援（n=102）	42.2	35.3	36.3	64.7	37.3	50.0	40.2	33.3	1.0	7.8	4.9		
	その他（n=111）	26.1	27.0	31.5	57.7	45.9	45.0	46.8	18.0	9.0	6.3	9.0		

■居住地域別

居住地域別でみると、すべての地域で「食料や生活用品などの配布」が最も多く、次いで「避難情報を早急に入手できる手段」、「薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給」などが多くなっています。

単位：％			避難所までの避難誘導・避難の手助け（区・近隣住民、ボランティアの支援）	避難情報を早く的確に入手できる手段（防災無線以外の方法：メールなど）	避難生活での介助や意思疎通などの支援	食料や生活用品などの配布	薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給	障がいのある人のための避難所（福祉避難所）の開設	障がいのある人が緊急的に入所できる施設の確保	避難マップの支給（避難所までの道程を記載した避難ルート図）	その他	特にない	無回答
全体（n=898）			28.6	31.4	22.6	58.5	40.3	34.0	30.4	21.0	2.9	11.7	8.0
居住地域別	富津地区	富津（n=193）	31.6	35.2	22.3	59.1	43.0	32.1	28.5	22.8	2.1	11.4	8.8
		青堀（n=131）	29.0	29.0	26.7	58.8	35.9	34.4	31.3	22.9	2.3	12.2	8.4
		飯野（n=59）	22.0	33.9	10.2	61.0	32.2	27.1	22.0	23.7	6.8	15.3	3.4
	大佐和地区	大貫（n=106）	20.8	33.0	23.6	59.4	41.5	26.4	29.2	20.8	1.9	10.4	5.7
		吉野（n=35）	22.9	25.7	31.4	51.4	51.4	42.9	40.0	20.0	0.0	22.9	2.9
		佐貫（n=42）	35.7	21.4	21.4	52.4	35.7	28.6	23.8	23.8	0.0	21.4	4.8
	天羽地区	湊・天神山（n=105）	20.0	22.9	16.2	65.7	52.4	42.9	33.3	15.2	1.9	6.7	9.5
		竹岡・金谷（n=55）	27.3	32.7	14.5	47.3	30.9	23.6	14.5	16.4	1.8	10.9	20.0
		峰上（n=60）	25.0	30.0	25.0	55.0	33.3	28.3	33.3	18.3	3.3	10.0	13.3
	その他の市町村（n=82）		47.6	39.0	32.9	61.0	42.7	52.4	41.5	22.0	9.8	12.2	1.2

■障がいの程度・重度性別

障害の程度・重度性別でみると、○Aの1、○Aの2、Aの1、Aの2では「障がいのある人のための避難所(福祉避難所)の開設」や「障がいのある人が緊急的に入所できる施設の確保」が最も多くなっています。

単位：％			避難所までの避難誘導・避難の手助け(区・近隣住民、ボランティアの支援)	避難情報(防災無線)以外の確に入手できる手段(避難情報)	避難所生活での介助や意思疎通などの支援	食料や生活用品などの配布	薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給	障がいのある人のための避難所(福祉避難所)の開設	障がいのある人が緊急に入所できる施設の確保	避難マップの支給(避難所までの道程を記載した避難ルート図)	その他	特にない	無回答
全体 (n=898)			28.6	31.4	22.6	58.5	40.3	34.0	30.4	21.0	2.9	11.7	8.0
障がいの程度・重度性別	身体障害者手帳	1級 (n=162)	25.3	27.8	21.0	61.1	51.9	40.7	40.1	17.9	3.1	8.0	5.6
		2級 (n=81)	28.4	21.0	25.9	55.6	38.3	45.7	37.0	21.0	2.5	12.3	7.4
		3級 (n=60)	25.0	38.3	20.0	56.7	46.7	33.3	31.7	20.0	0.0	8.3	15.0
		4級 (n=127)	22.0	33.9	19.7	52.8	41.7	22.8	19.7	20.5	3.1	13.4	13.4
		5級 (n=16)	18.8	31.3	18.8	56.3	37.5	18.8	18.8	18.8	0.0	25.0	6.3
		6級 (n=25)	32.0	24.0	12.0	60.0	32.0	12.0	8.0	16.0	0.0	8.0	12.0
	療育手帳	○A (n=10)	20.0	40.0	40.0	70.0	30.0	60.0	60.0	0.0	10.0	0.0	0.0
		○Aの1 (n=33)	36.4	21.2	21.2	48.5	27.3	60.6	45.5	9.1	6.1	6.1	0.0
		○Aの2 (n=21)	38.1	42.9	47.6	61.9	38.1	76.2	71.4	23.8	0.0	9.5	0.0
		Aの1 (n=34)	29.4	20.6	41.2	58.8	29.4	64.7	50.0	11.8	17.6	5.9	5.9
		Aの2 (n=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3
		Bの1 (n=52)	42.3	32.7	34.6	65.4	32.7	51.9	44.2	28.8	0.0	7.7	7.7
		Bの2 (n=60)	51.7	46.7	31.7	65.0	33.3	41.7	33.3	30.0	0.0	16.7	1.7
	精神障害者保健福祉手帳	1級 (n=9)	33.3	22.2	11.1	77.8	55.6	55.6	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0
		2級 (n=51)	25.5	43.1	27.5	70.6	54.9	33.3	29.4	33.3	3.9	7.8	7.8
		3級 (n=30)	20.0	26.7	13.3	56.7	43.3	13.3	10.0	30.0	3.3	13.3	6.7

■医療的ケアの有無別

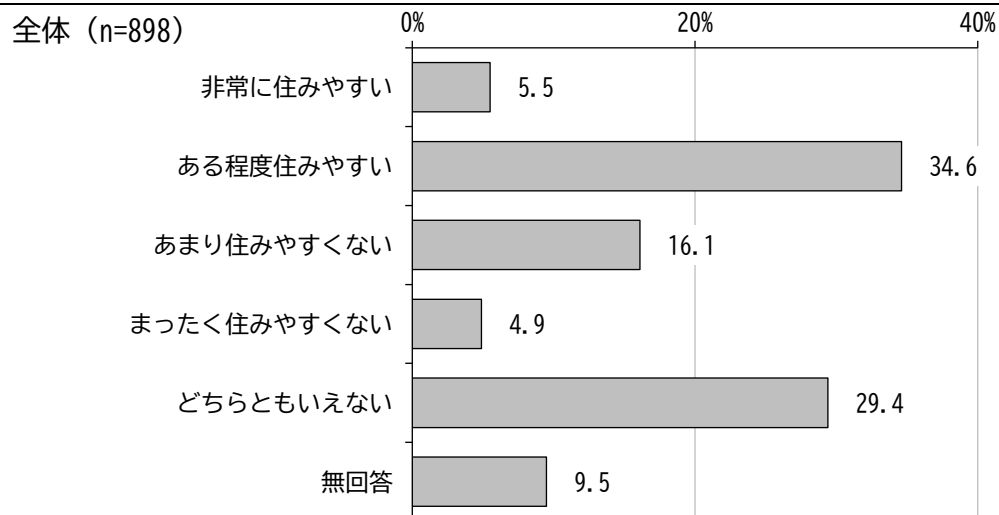
医療的ケアの有無別でみると、医療的ケアを受けている人では、「食料や生活用品などの配布」に次いで、「薬や治療、必要とする医療器具やそれを作動させる非常用発電機、補装具などの支給」が 49.6%と約半数となっており、ケアを受けていない人に比べて医療資機材・電源確保のニーズが高くなっています。

単位：％		避難所までの避難誘導・避難の 手助け（区・近隣住民・ボランティアの支援）	避難情報を早く的確に入手できる 手段（防災無線以外の方法：メー ルなど）	避難所生活での介助や意思疎通 などの支援	食料や生活用品などの配布	薬や治療、必要とする医療器具 やそれを作動させる非常用発電 機、補装具などの支給	障がいのある人のための避難所 （福祉避難所）の開設	障がいのある人が緊急的に入所 できる施設の確保	避難マップの支給（避難所まで の道程を記載した避難ルート 図）	その他	特 に な い	無 回 答
全体（n=898）		28.6	31.4	22.6	58.5	40.3	34.0	30.4	21.0	2.9	11.7	8.0
有 ケ 医 無 ア 療 別 の 的	受けている（n=423）	28.4	31.0	23.2	61.0	49.6	35.5	34.8	20.8	2.8	9.7	7.6
	受けていない（n=370）	30.5	32.2	23.0	57.8	33.0	33.0	25.4	22.2	3.5	13.5	7.0

7. 市の障がい福祉に対する取り組みについてお聞きします。

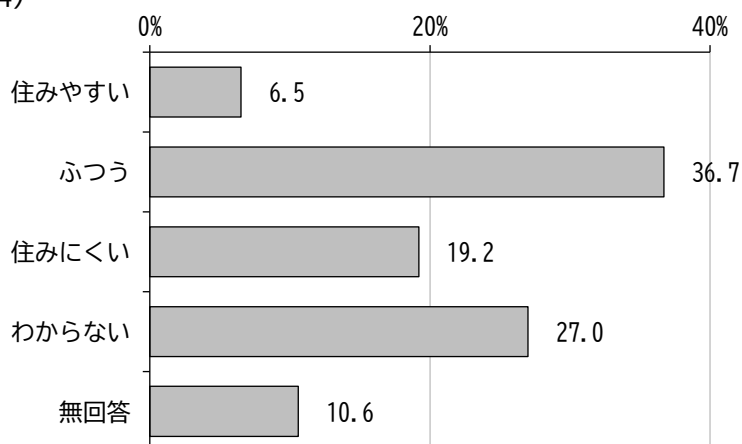
問 45 富津市は、障がいのある人にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

富津市が障がいのある人にとって住みやすいまちかについては、「ある程度住みやすい」が34.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.4%、「あまり住みやすくない」が16.1%となっています。



■前回調査

前回調査 (n=744)



■障がい種別

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「ある程度住みやすい」が最も多く、次いで「どちらともいえない」となっています。また、障害児通所支援は「ある程度住みやすい」が 45.1%と他の種別に比べて多くなっています。

単位：％		い 非 常 に 住 み や す	す あ る 程 度 住 み や	く あ ま り 住 み や す	す ま く た く 住 み や	な ど い ち ら と も い え	無 回 答
全体（n=898）		5.5	34.6	16.1	4.9	29.4	9.5
障 が い 種 別	身体障がい（n=490）	6.1	32.4	14.9	5.5	29.6	11.4
	知的障がい（n=217）	6.0	39.6	16.1	2.3	28.1	7.8
	精神障がい等（n=220）	5.9	35.0	16.8	6.8	29.1	6.4
	障害児通所支援（n=102）	4.9	45.1	19.6	3.9	21.6	4.9
	その他（n=111）	6.3	26.1	18.0	13.5	25.2	10.8

■居住地域別

居住地域別でみると、富津、青堀、飯野、大貫、佐貫、湊・天神山、峰上では「ある程度住みやすい」、吉野、竹岡・金谷、その他の市町村では「どちらともいえない」が最も多くなっています。

単位：％			非常に住みやすい	ある程度住みやすい	あまり住みやすくはない	まったく住みやすいくない	どちらともいえない	無回答
全体（n=898）			5.5	34.6	16.1	4.9	29.4	9.5
居住地域別	富津地区	富津（n=193）	5.7	34.7	15.5	4.1	31.1	8.8
		青堀（n=131）	6.1	37.4	17.6	4.6	25.2	9.2
		飯野（n=59）	5.1	39.0	18.6	6.8	22.0	8.5
	大佐和地区	大貫（n=106）	8.5	36.8	15.1	4.7	28.3	6.6
		吉野（n=35）	0.0	20.0	25.7	5.7	45.7	2.9
		佐貫（n=42）	2.4	35.7	21.4	2.4	31.0	7.1
	天羽地区	湊・天神山（n=105）	6.7	39.0	18.1	3.8	25.7	6.7
		竹岡・金谷（n=55）	5.5	21.8	18.2	7.3	23.6	23.6
		峰上（n=60）	5.0	31.7	15.0	8.3	28.3	11.7
	その他の市町村（n=82）		2.4	36.6	3.7	4.9	41.5	11.0

■障がい種別等

障がい種別等でみると、指定難病の特定医療費受給者証を持っているでは「あまり住みやすい」、高次脳機能障害があるでは「まったく住みやすい」、強度行動障害があるでは「どちらともいえない」、その他の区分では「ある程度住みやすい」が最も多くなっています。

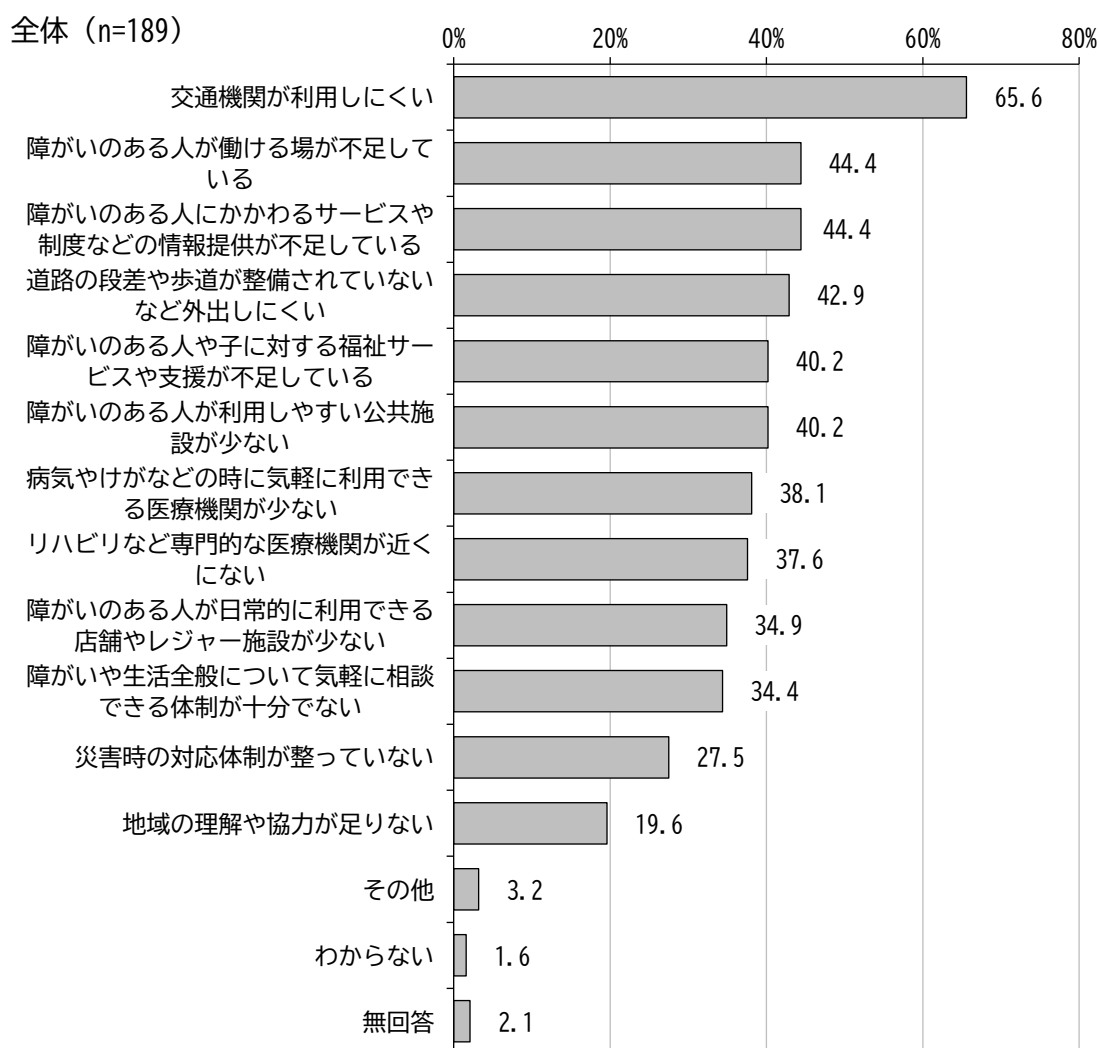
単位：％		い 非 常 に 住 み や す	す あ い る 程 度 住 み や	く あ な い 住 み や す	す ま く た く 住 み や	な ど い ち ら と も い え	無 回 答
全体（n=898）		5.5	34.6	16.1	4.9	29.4	9.5
障 が い 種 別 等	身体障害者手帳を持っている（n=490）	6.1	32.4	14.9	5.5	29.6	11.4
	療育手帳を持っている（n=217）	6.0	39.6	16.1	2.3	28.1	7.8
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=94）	8.5	30.9	19.1	6.4	29.8	5.3
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=191）	3.7	35.1	18.3	6.8	30.4	5.8
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=49）	8.2	18.4	28.6	14.3	16.3	14.3
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=55）	5.5	45.5	14.5	3.6	23.6	7.3
	発達障害がある（n=70）	5.7	45.7	22.9	4.3	18.6	2.9
	高次脳機能障害がある（n=21）	4.8	9.5	23.8	33.3	23.8	4.8
	重症心身障害の認定を受けている（n=31）	6.5	48.4	16.1	12.9	12.9	3.2
	強度行動障害がある（n=22）	4.5	22.7	4.5	0.0	54.5	13.6

【問 45 で「あまり住みやすくない」「まったく住みやすくない」を選択した人がお答えください。】

問 46 住みにくいと思う理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

住みにくいと思う理由については、「交通機関が利用しにくい」が 65.6%と最も多く、次いで「障がいのある人が働ける場が不足している」「障がいのある人にかかわるサービスや制度などの情報提供が不足している」がそれぞれ 44.4%と同率で続いています。

障がい種別でみると、すべての障がい種別で「交通機関が利用しにくい」が最も多くなっていますが、次いで身体障がいでは、「道路の段差や歩道が整備されていないなど外出しにくい」、知的障がい、精神障がい等では「障がいのある人が働ける場が不足している」、障害児通所支援では「障がいのある人が日常的に利用できる店舗やレジャー施設が少ない」が多くなっています。



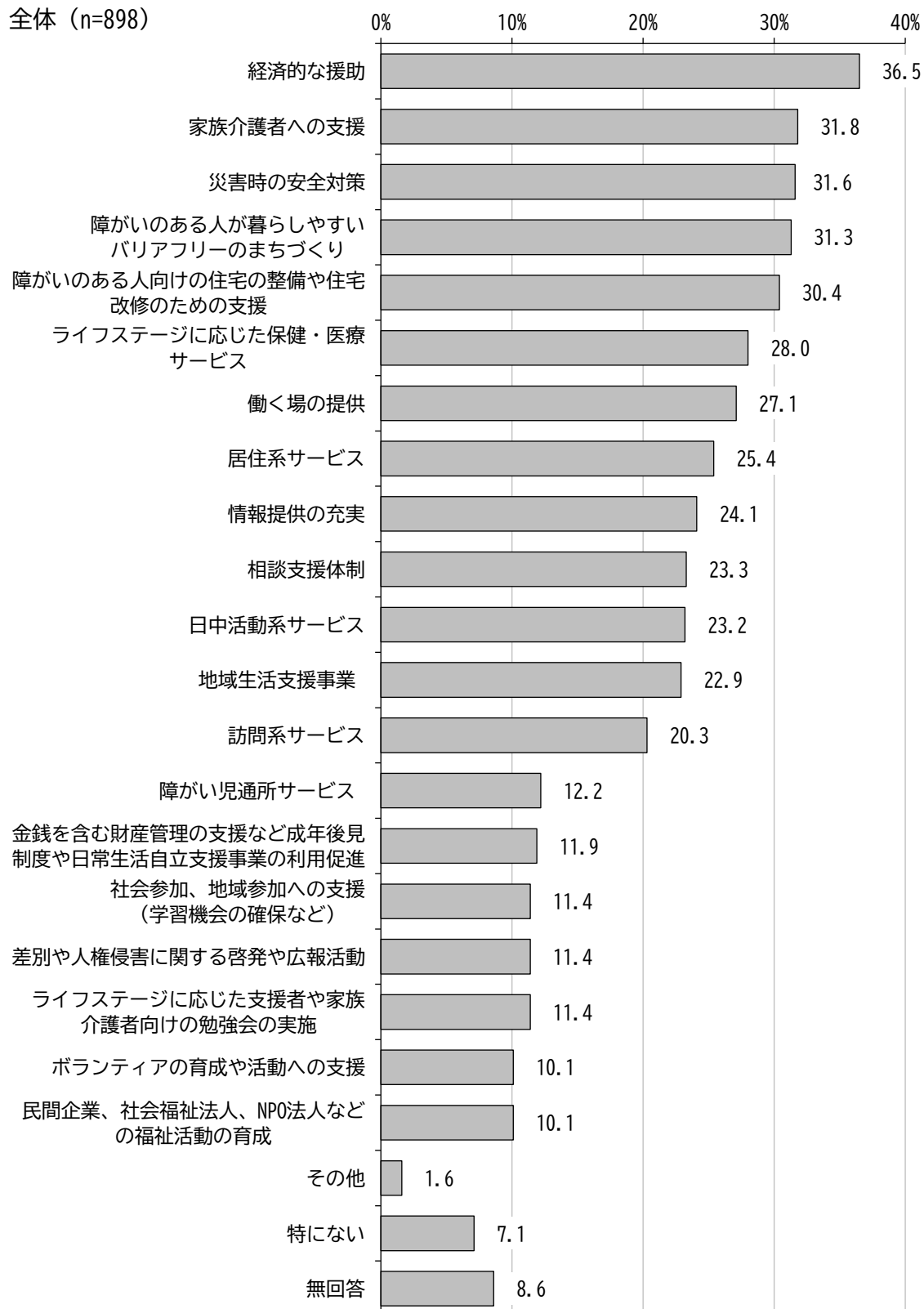
■障がい種別

単位：％		足る障がいのある人や支援に 対する	障がいのある人が働ける場 が不足している	障がいのある人にかかわる サービスが不足している	障がいのない生活全般につ いて	障がいのない生活全般につ いて	障がいのない生活全般につ いて	障がいのない生活全般につ いて	障がいのない生活全般につ いて
全体（n=189）		40.2	44.4	44.4	34.4	40.2	34.9	65.6	42.9
障がい種別	身体障がい（n=100）	36.0	39.0	43.0	33.0	44.0	37.0	67.0	56.0
	知的障がい（n=40）	45.0	47.5	42.5	32.5	40.0	42.5	62.5	25.0
	精神障がい等（n=52）	51.9	59.6	50.0	40.4	40.4	34.6	75.0	36.5
	障害児通所支援（n=24）	33.3	37.5	33.3	25.0	41.7	50.0	79.2	25.0
	その他（n=35）	37.1	40.0	45.7	34.3	31.4	25.7	62.9	42.9

単位：％		機リハが近くな い専門的な医療	ない利用や けがななどの 医療機関に が気少	い地域の理 解や協力が 足りな	い災害時の 対応体制が 整って	その他	わからない	無回答
全体（n=189）		37.6	38.1	19.6	27.5	3.2	1.6	2.1
障がい種別	身体障がい（n=100）	39.0	38.0	15.0	30.0	3.0	2.0	3.0
	知的障がい（n=40）	35.0	40.0	22.5	27.5	0.0	0.0	0.0
	精神障がい等（n=52）	38.5	50.0	26.9	28.8	5.8	1.9	1.9
	障害児通所支援（n=24）	37.5	33.3	37.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他（n=35）	45.7	34.3	20.0	34.3	2.9	2.9	2.9

問 47 今後、市が障がい福祉の施策として、特に力を入れていくべきことは何だとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、市が特に力を入れていくべき障がい福祉の施策については、「経済的な援助」が 36.5%と最も多く、次いで「家族介護者への支援」が 31.8%、「災害時の安全対策」が 31.6%となっています。



■障がい種別

障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい等は「経済的な援助」、知的障がいは「居住系サービス」、障害児通所支援は「働く場の提供」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	医療サービス	障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり	働く場の提供	社会参加、地域参加への支援（学習機会の確保など）	相談支援体制	経済的な援助
全体（n=898）		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
障がい種別	身体障がい（n=490）	21.2	19.4	7.8	20.0	20.0	29.4	33.7	34.9	20.4	7.8	17.6	35.5
	知的障がい（n=217）	14.3	28.6	19.4	45.6	28.1	27.2	29.0	29.5	30.4	12.9	28.1	28.1
	精神障がい等（n=220）	25.0	26.4	13.2	24.1	26.4	31.8	29.5	29.5	38.2	14.1	30.0	44.5
	障害児通所支援（n=102）	20.6	36.3	44.1	37.3	39.2	31.4	31.4	36.3	49.0	26.5	39.2	40.2
	その他（n=111）	25.2	28.8	13.5	29.7	33.3	30.6	35.1	35.1	32.4	11.7	27.0	43.2

単位：％		広報活動	差別や人権侵害に関する啓発や支援	ボランティアの育成や活動への支援	成年後見制度や日常生活自立支援など	金銭を含む財産管理の支援など	NPO法人などの福祉活動の育成	民間企業、社会福祉法人、情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	施設や家族介護者向けの勉強会の実施	ライフステージに応じた支援の実施	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6			
障がい種別	身体障がい（n=490）	7.1	8.2	8.0	6.3	19.8	31.2	30.6	8.0	0.6	6.9	10.4			
	知的障がい（n=217）	17.5	10.6	17.1	14.3	24.9	33.6	37.8	16.6	4.1	7.8	5.5			
	精神障がい等（n=220）	15.0	13.6	15.5	11.8	30.5	30.9	31.8	15.0	0.5	5.0	7.3			
	障害児通所支援（n=102）	26.5	14.7	25.5	18.6	39.2	39.2	47.1	26.5	2.9	2.9	4.9			
	その他（n=111）	13.5	14.4	17.1	12.6	22.5	34.2	41.4	10.8	6.3	3.6	8.1			

■年齢別

年齢別でみると、0～17 歳では「障がい児通所サービス」、18～39 歳では「働く場の提供」、40～64 歳、65～74 歳では「経済的な援助」、75 歳以上では「家族介護者への支援」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	医療サービス	障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり	働く場の提供	社会参加、地域参加への支援（学習機会の確保など）	相談支援体制	経済的な援助
全体（n=898）		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
年齢別	0～17歳（n=56）	10.7	35.7	66.1	32.1	33.9	19.6	25.0	28.6	50.0	32.1	39.3	42.9
	18～39歳（n=148）	14.2	29.1	12.2	36.5	26.4	31.1	27.7	27.0	42.6	11.5	29.1	37.2
	40～64歳（n=335）	18.2	20.6	9.0	26.0	19.1	31.3	35.8	34.3	31.3	10.4	22.1	38.5
	65～74歳（n=206）	24.3	21.4	8.3	19.4	22.3	26.2	28.2	34.5	16.5	10.7	21.8	37.9
	75歳以上（n=125）	28.8	20.0	4.8	15.2	27.2	23.2	24.8	23.2	4.0	3.2	16.0	23.2

単位：％		差別や人権侵害に関する啓発や広報活動	ボランティアの育成や活動への支援	成年後見制度や日常生活自立支援など	金銭を含む財産管理の支援など	NPO法人などの福祉活動の育成	民間企業、社会福祉法人、情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	施設や家族介護者向けの勉強会の実施者	ライフステージに応じた支援の実施者	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6		
年齢別	0～17歳（n=56）	17.9	10.7	21.4	17.9	32.1	30.4	46.4	28.6	7.1	7.1	1.8		
	18～39歳（n=148）	18.9	7.4	17.6	10.1	29.7	32.4	37.8	17.6	0.7	6.8	3.4		
	40～64歳（n=335）	11.0	11.6	12.5	10.7	23.3	30.7	29.9	9.0	2.1	8.1	7.2		
	65～74歳（n=206）	12.1	10.7	8.7	8.3	22.8	32.0	26.2	9.2	0.5	6.3	11.7		
	75歳以上（n=125）	0.8	7.2	4.0	4.8	16.0	32.8	34.4	7.2	0.8	7.2	15.2		

■障がい種別等

障がい種別等でみると、療育手帳を持っているでは「居住系サービス」、障害児通所支援受給者証を持っているでは「障がい児通所サービス」、発達障害があるでは「働く場の提供」、重症心身障害の認定を受けているでは「障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援」「家族介護者への支援」、強度行動障害があるでは「災害時の安全対策」、その他の区分では「経済的な援助」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	ライフステージに応じた保健・医療サービス	障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリー	働く場の提供	（学習機会、地域参加への支援）	相談支援体制	経済的な援助
全体（n=898）		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
障がい種別等	身体障害者手帳を持っている（n=490）	21.2	19.4	7.8	20.0	20.0	29.4	33.7	34.9	20.4	7.8	17.6	35.5
	療育手帳を持っている（n=217）	14.3	28.6	19.4	45.6	28.1	27.2	29.0	29.5	30.4	12.9	28.1	28.1
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=94）	24.5	27.7	7.4	21.3	25.5	25.5	29.8	31.9	43.6	16.0	35.1	48.9
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=191）	26.2	27.7	15.2	25.7	28.8	35.1	30.9	31.4	38.2	14.1	29.8	47.1
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=49）	24.5	22.4	8.2	22.4	34.7	32.7	26.5	30.6	26.5	4.1	26.5	44.9
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=55）	25.5	40.0	63.6	34.5	36.4	30.9	34.5	36.4	41.8	36.4	45.5	43.6
	発達障害がある（n=70）	15.7	31.4	41.4	41.4	40.0	30.0	30.0	34.3	54.3	25.7	41.4	41.4
	高次脳機能障害がある（n=21）	38.1	42.9	14.3	33.3	38.1	28.6	52.4	33.3	47.6	9.5	38.1	61.9
	重症心身障害の認定を受けている（n=31）	22.6	32.3	9.7	32.3	32.3	22.6	58.1	48.4	32.3	12.9	32.3	48.4
	強度行動障害がある（n=22）	31.8	31.8	22.7	31.8	31.8	40.9	22.7	27.3	36.4	22.7	27.3	27.3

単位：％		差別・人権侵害に関する啓発や活動	ボランティアの育成や活動への支援	成年後見制度や財産管理の活用など	金銭を含む日常生活の自立支援など	成人障害者の福祉活動の育成	民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動の育成	情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	施設や家族介護者向けに応じた支援の実施	その他	特になし	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6		
障がい種別等	身体障害者手帳を持っている（n=490）	7.1	8.2	8.0	6.3	19.8	31.2	30.6	8.0	0.6	6.9	10.4		
	療育手帳を持っている（n=217）	17.5	10.6	17.1	14.3	24.9	33.6	37.8	16.6	4.1	7.8	5.5		
	精神障害者保健福祉手帳を持っている（n=94）	16.0	13.8	13.8	10.6	34.0	31.9	37.2	16.0	1.1	6.4	6.4		
	自立支援医療費支給認定受給者証（精神通院）を持っている（n=191）	16.2	14.7	17.8	13.1	30.9	32.5	31.9	15.7	0.5	4.7	5.8		
	指定難病の特定医療費受給者証を持っている（n=49）	8.2	6.1	12.2	8.2	20.4	30.6	38.8	4.1	0.0	2.0	12.2		
	障害児通所支援受給者証を持っている（n=55）	27.3	14.5	29.1	20.0	40.0	41.8	50.9	32.7	3.6	1.8	7.3		
	発達障害がある（n=70）	27.1	12.9	24.3	17.1	40.0	38.6	47.1	27.1	1.4	2.9	2.9		
	高次脳機能障害がある（n=21）	9.5	4.8	28.6	23.8	28.6	33.3	42.9	14.3	0.0	0.0	4.8		
	重症心身障害の認定を受けている（n=31）	12.9	19.4	16.1	9.7	16.1	35.5	58.1	9.7	6.5	3.2	0.0		
	強度行動障害がある（n=22）	27.3	27.3	22.7	22.7	31.8	45.5	40.9	22.7	22.7	9.1	9.1		

■医療的ケアの有無別

医療的ケアを受けている人では「経済的な援助」、受けていない人では「災害時の安全対策」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	ライフステージに応じた保健・医療サービス	障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり	働く場の提供	社会参加、地域参加への支援（学習機会の確保など）	相談支援体制	経済的な援助
全体（n=898）		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
有ケ医 無ア療 別の的	受けている（n=423）	21.0	22.0	10.6	24.1	23.4	32.6	31.0	34.8	23.6	8.7	23.2	40.2
	受けていない（n=370）	20.3	24.6	14.6	26.5	23.0	24.6	30.0	29.5	32.4	14.1	25.4	33.5

単位：％		差別や人権侵害に関する啓発や広報活動	ボランティアの育成や活動への支援	成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用促進	金銭を含む財産管理の支援など	NPO法人などの福祉活動の育成	民間企業、社会福祉法人、情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	ライフステージに応じた支援者や家族介護者向けの勉強会の実施	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6
有ケ医 無ア療 別の的	受けている（n=423）	10.2	10.2	11.1	9.0	9.0	24.3	31.4	32.4	11.6	2.4	4.7	7.8
	受けていない（n=370）	14.3	11.9	12.7	10.0	10.0	25.1	33.8	32.4	13.2	0.8	9.7	7.6

■主な介助者別

主な介助者別でみると、父母・祖父母・兄弟・姉妹では「家族介護者への支援」、配偶者またはパートナーでは「障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり」、子どもでは「障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援」「家族介護者への支援」、ホームヘルパーや施設の職員では「居住系サービス」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	医療サービス ライフステージに応じた保健・	障がいのある人向けの住宅の整備や住宅改修のための支援	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり	働く場の提供	社会参加、地域参加への支援 (学習機会の確保など)	相談支援体制	経済的な援助
全体 (n=898)		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
主な介助者別	父母・祖父母・兄弟・姉妹 (n=218)	17.0	28.9	22.5	33.5	28.9	26.6	30.7	27.1	41.7	14.2	32.1	38.5
	配偶者またはパートナー (n=172)	21.5	25.6	10.5	16.3	29.1	25.6	29.1	37.2	16.9	9.9	23.3	34.9
	子ども (n=30)	30.0	13.3	3.3	16.7	10.0	20.0	43.3	36.7	13.3	3.3	10.0	33.3
	ホームヘルパーや施設の職員 (n=122)	12.3	19.7	10.7	45.9	18.0	35.2	33.6	39.3	13.9	9.0	16.4	21.3
	その他の人 (n=13)	46.2	30.8	23.1	15.4	23.1	30.8	30.8	46.2	30.8	15.4	46.2	38.5
	支援を受けていない (n=265)	22.6	19.6	8.3	16.6	19.6	30.2	27.2	26.4	29.4	11.7	21.9	43.0

単位：％		差別や人権侵害に関する啓発や広報活動	ボランティアの育成や活動への支援	成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用促進	金銭を含む財産管理の支援など	NPO法人などの福祉活動の育成	民間企業、社会福祉法人、NPO法人などの福祉活動の育成	情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	施設や家族介護者向けに応じた支援の実施	ライフステージに合った支援の実施	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6			
主な介助者別	父母・祖父母・兄弟・姉妹（n=218）	17.0	10.6	18.3	14.2	29.4	32.6	47.2	16.5	1.8	5.0	4.1			
	配偶者またはパートナー（n=172）	10.5	9.9	9.9	8.1	22.1	34.9	36.6	10.5	0.0	8.7	5.8			
	子ども（n=30）	3.3	10.0	6.7	6.7	20.0	26.7	43.3	6.7	3.3	0.0	13.3			
	ホームヘルパーや施設の職員（n=122）	11.5	9.0	9.8	8.2	13.9	23.0	15.6	11.5	7.4	3.3	10.7			
	その他の人（n=13）	23.1	7.7	23.1	15.4	15.4	30.8	30.8	23.1	0.0	7.7	15.4			
	支援は受けていない（n=265）	8.3	11.3	9.4	7.5	26.0	32.8	22.6	9.1	0.0	10.6	8.7			

■日中の過ごし方別

日中の過ごし方別でみると、〔特別支援学校（小中高等部）に通っている〕〔一般の小中学校、高校に通っている〕〔幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている〕では「障がい児通所サービス（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）」、〔会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている〕〔自宅で過ごしている〕では「経済的な援助」、〔福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）〕〔入所している施設や病院等で過ごしている〕では「居住系サービス（施設入所、グループホームなど）」、〔専業主婦（主夫）をしている〕では「災害時の安全対策」、〔病院などのデイケアに通っている〕では「地域生活支援事業（日中一時支援や移動支援など）」「障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり」、〔リハビリテーションを受けている〕では「障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり」「災害時の安全対策」、〔その他〕では「経済的な援助」「家族介護者への支援」が最も多くなっています。

単位：％		訪問系サービス	日中活動系サービス	障がい児通所サービス	居住系サービス	地域生活支援事業	ライフステージに応じた保健・医療サービス	住宅改修のための住宅の整備や	障がいのある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり	働く場の提供	社会参加、地域参加への支援（学習機会の確保など）	相談支援体制	経済的な援助
全体（n=898）		20.3	23.2	12.2	25.4	22.9	28.0	30.4	31.3	27.1	11.4	23.3	36.5
日中の過ごし方別	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている（n=232）	22.0	21.6	12.5	19.8	21.6	28.4	31.5	30.2	36.2	12.1	22.4	43.1
	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている（n=5）	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	専業主婦（主夫）をしている（n=75）	32.0	32.0	12.0	21.3	30.7	25.3	30.7	40.0	22.7	13.3	20.0	37.3
	福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）（n=108）	19.4	39.8	14.8	50.0	30.6	25.0	32.4	32.4	34.3	16.7	30.6	35.2
	病院などのデイケアに通っている（n=14）	21.4	21.4	0.0	14.3	35.7	21.4	7.1	35.7	7.1	7.1	7.1	21.4
	リハビリテーションを受けている（n=19）	42.1	31.6	0.0	21.1	26.3	36.8	26.3	47.4	21.1	5.3	36.8	31.6
	自宅で過ごしている（n=247）	20.2	17.4	4.5	17.4	19.4	30.0	32.8	30.4	21.5	7.3	21.5	38.9
	入所している施設や病院等で過ごしている（n=68）	13.2	13.2	7.4	48.5	10.3	39.7	41.2	38.2	7.4	4.4	13.2	13.2
	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている（n=3）	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	特別支援学校（小中高等部）に通っている（n=20）	15.0	65.0	80.0	65.0	45.0	25.0	30.0	25.0	75.0	30.0	50.0	60.0
	一般の小中学校、高校に通っている（n=23）	8.7	21.7	56.5	21.7	17.4	17.4	21.7	34.8	39.1	39.1	43.5	34.8
	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている（n=11）	9.1	27.3	63.6	9.1	36.4	18.2	18.2	9.1	36.4	36.4	27.3	36.4
	その他（n=39）	15.4	12.8	7.7	17.9	28.2	20.5	17.9	28.2	23.1	5.1	23.1	35.9

単位：％		活動差別や人権侵害に関する啓発や広報	ボランティアの育成や活動への支援	金銭を含む財産管理の支援など成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用促進	民間企業、福祉活動の育成、NPO法人などの福祉活動の育成	情報提供の充実	災害時の安全対策	家族介護者への支援	ライフステージに応じた支援者や家族介護者向けの勉強会の実施	その他	特にない	無回答
全体（n=898）		11.4	10.1	11.9	10.1	24.1	31.6	31.8	11.4	1.6	7.1	8.6
日中の過ごし方別	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている（n=232）	13.8	12.1	12.5	10.8	28.4	30.2	28.0	12.9	0.0	9.5	8.2
	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている（n=5）	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦（主夫）をしている（n=75）	14.7	18.7	13.3	9.3	25.3	44.0	34.7	14.7	0.0	8.0	6.7
	福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）（n=108）	18.5	13.0	23.1	15.7	26.9	32.4	36.1	16.7	2.8	3.7	2.8
	病院などのデイケアに通っている（n=14）	7.1	0.0	7.1	0.0	21.4	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3
	リハビリテーションを受けている（n=19）	0.0	0.0	15.8	5.3	26.3	47.4	42.1	0.0	0.0	10.5	15.8
	自宅で過ごしている（n=247）	7.3	7.7	7.7	10.1	21.9	32.0	35.6	6.9	0.8	5.3	9.3
	入所している施設や病院等で過ごしている（n=68）	5.9	7.4	4.4	5.9	7.4	17.6	19.1	8.8	8.8	2.9	11.8
	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている（n=3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	特別支援学校（小中高等部）に通っている（n=20）	25.0	15.0	35.0	35.0	40.0	50.0	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	一般の小中学校、高校に通っている（n=23）	17.4	8.7	21.7	8.7	26.1	26.1	26.1	34.8	8.7	13.0	0.0
	幼稚園、保育所、障がい児通所施設などに通っている（n=11）	18.2	9.1	9.1	18.2	45.5	18.2	36.4	27.3	0.0	18.2	9.1
	その他（n=39）	7.7	2.6	7.7	2.6	23.1	33.3	35.9	2.6	2.6	7.7	7.7